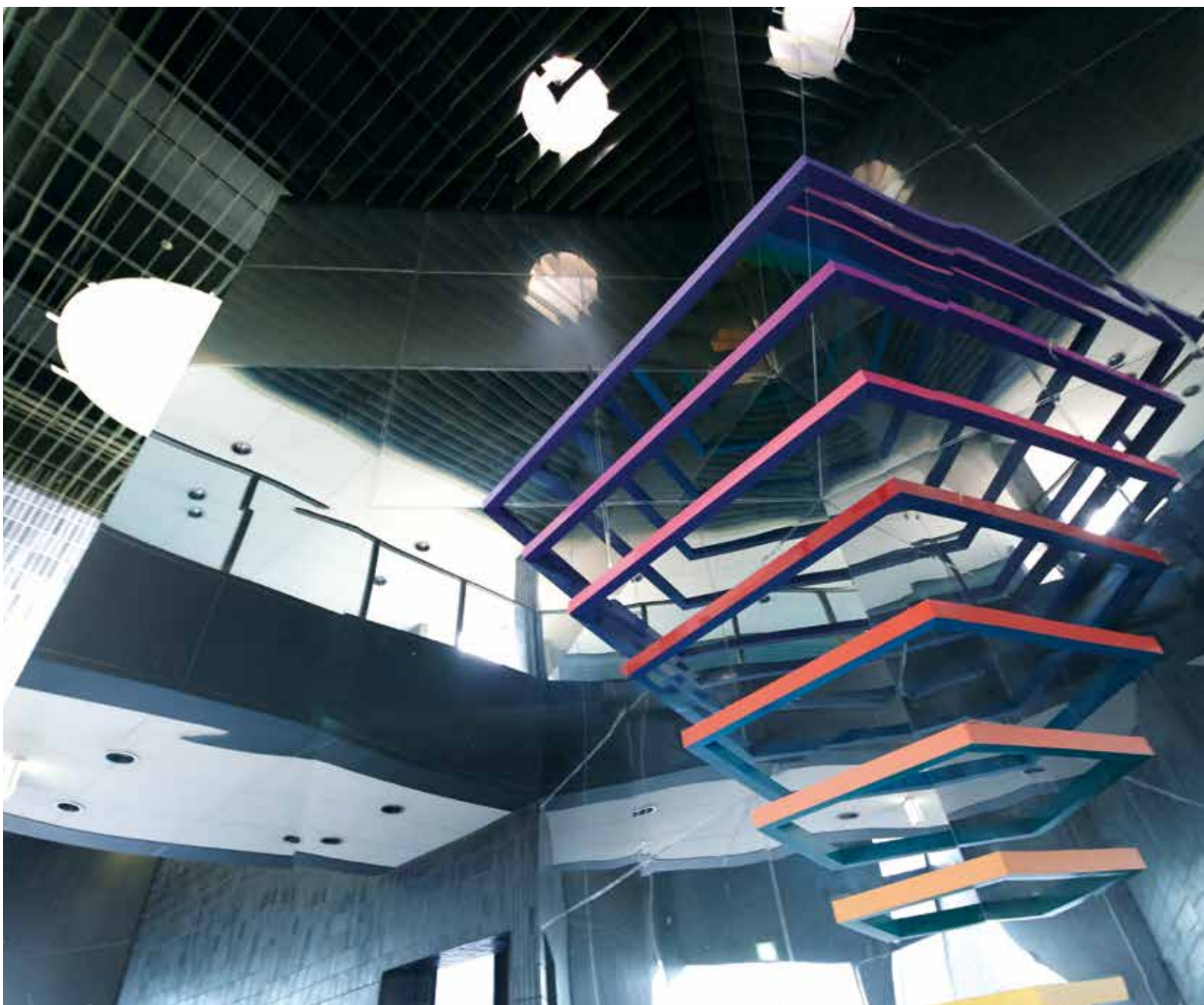


アニュアルレビュー 2025

Annual Review



アニュアルレビュー2025

Annual Review

CONTENTS

	発刊に寄せて 岩永 雅也	3
	特集(2025年度の主な出来事)	5
	学生に向けた教育	7
	社会に向けた教育	13
	放送大学における研究	18
	国際交流への取組	33
	教員による社会貢献	35
	学習センター・学生の活動	41
	データで見る放送大学	45

【企画】2025年度放送大学学内広報委員会
委員長:生活と福祉／関根 紀子教授
副委員長:人間と文化／杉森 哲也教授
心理と教育／波田野 茂幸教授 社会と産業／桑田 学准教授
情報／森本 容介教授 自然と環境／隈部 正博教授
茨城学習センター／小野寺 淳所長 総務部／竹花 浩幸部長
学習センター支援室／佐藤 宏光室長
事務局:総務部広報課

【編集】2026年度放送大学学内広報委員会
委員長:生活と福祉／関根 紀子教授
副委員長:自然と環境／隈部 正博教授
心理と教育／波田野 茂幸教授 社会と産業／桑田 学教授
人間と文化／滝浦 真人教授 情報／伏見 清香教授
沖縄学習センター／和田 浩二所長 総務部／竹花 浩幸部長
学習センター支援室／小野 耕志室長
事務局:総務部広報課



2025(令和7)年度放送大学学位記授与式

2026年3月20日(金・祝)、2025(令和7)年度放送大学学位記授与式を、東京都新宿区ベルサール高田馬場において挙行了。2025年度の学部卒業生は5,812名、大学院修士課程修了生は193名、大学院博士後期課程修了生は7名であった。

卒業証書・学位記授与(教養学部卒業生総代上野寛子さん、修士課程修了生総代河野直弘さん、博士後期課程修了生総代後藤妃佐絵さんが壇上で受領)の後、岩永学長による式辞、清水真人文部科学大臣政務官、近藤玲子総務省大臣官房審議官、須藤國夫放送大学同窓会連合会会長からの祝辞に続き、教養学部卒業生総代風間睦子さん、修士課程修了生総代依田尚志さん、博士後期課程修了生総代坂本元さんによる謝辞があった。その後学長表彰が行われ、教養学部全コースを卒業した133名の「放送大学名誉学生」(代表遠藤浩二さん)が表彰された。続いて、優れた教育活動を行った専任教員に与えられる「優秀授業賞」を野崎歓教授と宮本陽一郎特任教授が、「教育功績賞」を岩崎久美子教授が受賞した。

また、高橋理事長より放送大学チャレンジ募金の感謝状が贈呈された。



2025年 —ポストコロナの放送大学—

放送大学長 岩永 雅也



躍進する通信制高等教育

2020年春から23年春にかけて続いたコロナ禍により、日本社会はさまざまな分野で大きなシステムの変更・変質を余儀なくされました。特に、物理的、空間的な人の移動を伴う情報の交換やコミュニケーションは可能な限り電子的なりモート手段にとって代わられることとなり、社会の様相も大きく変わりました。大学教育もその例外ではなく、ほとんどの通学制大学で対面授業に代えて遠隔（リモート）授業（オンデマンドを含む）が行われるようになりましたが、当然のことながら、遠隔授業は緊急避難的な「代替手段」と見られていました。しかし、教える側、学ぶ側の双方からその時期の遠隔授業への肯定的な事後評価が多く出されたことで、コロナ禍終息後もその一部は正規の授業形態として残ることになりました。遠隔授業の有効性があらためて社会に認知された証だとも言えるでしょう。その授業形態の変容は日本の大学教育の質的転換につながるという見解も出てきました*。

* 田口真奈ほか著『越境する通信制大学—学びのゲームチェンジャー』東信堂（2025）

そうした背景のもと、2025年度には新たに5校の通信制大学が開講しました。当初、強力なライバル出現で、放送大学の入学希望者は激減すると思われましたが、実際にはかえって増加しました。要は、通信制での学びを選択する進学希望者（特に若年者）が日本全体として増えているということです。本学で

も最近では10代・20代の入学者が増えています。これが今後も続く傾向なのか、それともちょっとした一時的なブームで終わるのか、安易な予断は許されませんが、遠隔高等教育への社会的信頼度が増していることは確かです。

次世代教育研究開発センターとIR室

2024年4月、本学園に設置された次世代教育研究開発センター（NERC）は、2025年度に入って教職員による研究開発プログラムへの支援を本格化しました。年度内に進められた研究開発プログラムは、「放送大学の教育実践・蓄積を進化させた遠隔高等教育標準（OUJモデル）の開発」、「生成AIを活用したスキル測定問題の作成支援方法の研究」、「心理学実験実習に係るオンライン教材の研究開発」、「質保証された単位認定のための試験手法の研究」、「リカレント教育等の拡充のためのプラットフォームの整備」など、全24テーマに及びます。いずれもNERCの設置理念である「放送大学での実装をめざす教育システムと教育方法の研究開発」に相応しい研究であり、現在すでに



次世代教育研究開発センター



特設ウェブサイトトップバナー

そのいくつかはすぐにでも実装可能なレベルの成果をあげています。

一方、同時期に学園に設置されたIR（Institutional Research）室も、2025年度に入って本格的な活動を展開しています。設置目的である放送大学に関わるデータの収集とその体系的管理は計画的に進めてきましたが、それに加え、2025年夏には学生の学習実態や意識そして本学教育への評価等を総合的に尋ねる「総合学生調査2025」を実施して、その結果の分析から多くの興味ある示唆を得ることができました。これまで十分にくみ上げることができていなかった学生の学習の実態や意識を知る重要な手立てとして、今後も毎年度特集テーマを変えながら、同様の調査を継続して実施していく予定です。

海外展開への第一歩

放送大学では、これまで正規の学生として受け入れることができていなかった海外在住邦人の方々の潜在的ニーズ、つまり日本語で高等教育を受けさらには学士や修士等の学位を取得したいという希望に応えるためのシステムを、これまで数年間を費やして構築してきました。海外展開を進めるにあたっては、広域ネット配信に係る著作権処理、印刷教材の送付と通関、等々の問題が山積していましたが、それらを一つ一つ解消してようやく2026年4月より、海外から科目履修生および修士科目生を受け入れることができるようになりました。その本格実施を前に、すでに2025年度後期から先行して学生受け入れの試行を行っています。その受講後の評価についてはまだまとまっておきませんが、側聞するところでは、「単位認定試験までWebで受けられるのは助かる」、「日本語での高等教育機会がなかったので助かる」といった評価が多く見られるようです。2026年第1学期には、世界の46カ国と極地（南極）から257名の海外在住学生が出願しました。これからの展開にも大いに期待がもてるところです。

【特集】2025年度の主な出来事

機能拠点の新設 ～学習センター未来の芽～

副学長 山室 恭子

全都道府県に所在する50の学習センターは、学生の学びを支える最前線である。そのありようが、近年、大きく変容しつつある。ひとことでくれば対面からWebへ。単位認定試験が自宅でのWeb受験となり、面接授業の他にオンライン授業やライブWeb授業といった選択肢が増え、もはや一度も学習センターに足を運ばずとも卒業可能となり、コロナ禍後の在宅志向もあって、来所する学生は減少しつつある。

新しい時代には、新しい学生サポートの形が必要となる。Web上でしかつながれない、いわば「顔の见えない」学生たちに、どのようにサポートの手を伸ばせば良いか。各学習センターで、さまざまなトライアルが始まっている。

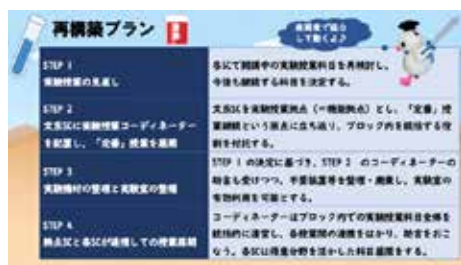
そうしたトライアルを応援し、その成果を全センターで共有しようと立ち上げたのが機能拠点制度である。先進的なトライアルを希望する学習センターが手を挙げ、審査を経て採択されれば、プロジェクト遂行のための職員が一定期間配置される。3年なり5年なりの期間でプロジェクトを実施し、成功すれば、そのノウハウを全センター

で共有しようという仕掛けである。

この機能拠点制度を立ち上げるにあたり、まず、制度を支える組織をつくった。学習センターのことは学習センターで決めるべし。自立性を支える「学習センター運営委員会」を新設し、7つの地域ブロックから代表委員を選出。半年任期のサイクルで回して、なるべく多くの学習センターが全体の運営に参加できる制度設計とした。

つぎに、制度を運用する財源を確保した。折しも全国の学習センターの職員再配置計画が動いたので、その計画に組み込む形で、経営合理化により生み出された余剰分を新規プロジェクトにチャレンジする機能拠点に配分する原資として用意した。組織と資金が整って、2025年11月に初年度の公募開始。12件の応募があり、学習センター運営委員会にて熟議の末、7件の採択に至った。初年度、ユニークなプランが出そろった。たとえば実験授業の拠点。物理や化学の実験授業を統括する実験授業コーディネータを配置し、南関東ブロック一体として組織的・効率的に

実験授業の展開をはかるプランである。ひとつのセンターでできる事業の規模は限られる。けれどアイデアの芽を出せば、それを若葉に育てるくらいの資金が獲得できる。すくすく育ったら、他のセンターにも株分けできる。そうやって、全センターのコラボレーションを実現し、学習センターの未来を花開かせようというプランである。ご期待いただきたい。



附属図書館企画展示

えほんむしえらみ

『『画本虫撰』』『小泉八雲コレクション』『西欧から見た中世日本』

附属図書館長 仁科 エミ

大学附属図書館は教育研究の基盤を構築するとともに、人類の文化的遺産である貴重書を次世代に継承する役割をも担っている。放送大学附属図書館では、ニュートンの『プリンキピア』初版本や『百科全書』初版、シーボルト著『日本』の初版本ほか海外で出版された16世紀から開国までの日本に関する書物や、西洋で作られた日本地図・古写真、ちりめん本など、ユニークで貴重なコレクションを収集所蔵している。

そうした貴重書の中には、2025年度に放送されたテレビ番組とゆかりの深い書物がいくつもある。そこでそれらの画像をウェ

ブサイトで公開するとともに、図書館1階ロビーで企画展示を行った。

第一弾は、NHK大河ドラマ「べらぼう～蕨重栄華乃夢噺」の主人公・蕨屋重三郎が出版した『画本虫撰』（えほんむしえらみ、1788年刊）という絵入狂歌本である。秋の虫や蜂、芋虫、蝶、蜥蜴などを題材に、恋の駆け引きや日常の滑稽などを皮肉を利かせて詠んだ狂歌と、喜多川歌麿が描いた精緻で美しい虫・植物の絵とが組み合わせられている。雲母摺（きらずり）、金銀など当時最先端の技法と贅を尽くした本書は江戸文化の精華であり、番組のタイトルバックに登場し、ドラマの中でも重要

な役割を果たした。展示は本館が所蔵する復刻版とし、原本の見学会を別途開催した。見学会では多くの参加者に、電子画像や復刻版では伝達しえない原本ならではのテクスチャ、時代を経た書籍のもつ独特の味わいをご堪能いただいた。年度後半に放送されたNHK連続テレビ小説「ばけぱけ」の主人公にちなみ、「小泉八雲コレクション」の展示も行った。八雲が執筆したちりめん本（縮緬のような風合いの和紙に木版多色刷挿絵と欧文による昔噺や日本紹介文を活版で印刷）の『日本昔噺』シリーズ五点、八雲が妻・節（せつ）から聞いた幽霊譚を元を書き下し

た短編集『Kwaidan』（怪談、1904年刊）の節のサイン入り初版本などを紹介した。2026年からは、大航海時代に西欧で描かれた日本地図（複製）を中心に、当時の西欧諸国が日本をどのように認知し描いたのか、その変遷を紹介する企画展示「西欧から見た中世日本」を行っている。地図を随時入れ替えつつ、西欧から見た安土桃山時代（NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」の時代）の日本の姿を紹介していく。これからも本学が所蔵する貴重書を積極的に公開していきたいと考えている。



放送大学附属図書館1階展示スペース



『画本虫撰』の精緻美麗な一頁

次世代教育研究開発センター(NERC)2025年度活動報告

次世代教育研究開発センター長
芝崎 順司

放送大学学園次世代教育研究開発センター(NERC)は、放送大学の多様な教授形態と教育実践を基盤として、メディアを活用した次世代教育の研究開発を推進する研究拠点である。教育コンテンツの企画・制作・評価と研究開発を一体的に進めるとともに、国内外の研究機関との連携を通じて、遠隔高等教育の高度化と新たな可能性の探究に取り組んでいる。教育実践、教材制作、学習データ分析を統合した研究開発を大学全体の教育基盤の中で推進している点に特徴があり、一部の研究課題では、教員と職員が協働する教職連携の研究も行われている。NERCは、放送大学における教育研究の高度化を支える横断的研究拠点としての役割を担っている。

設置2年目となる2025年度は、「学習研究部門」と「経営戦略部門」の二部門体制の下、学習研究部門17課題、経営戦略部門7課題、計24件の研究開発課題を推進した。学習研究部門では、「評価・分析」「手法・教材開発」「学修支援・交流」の三

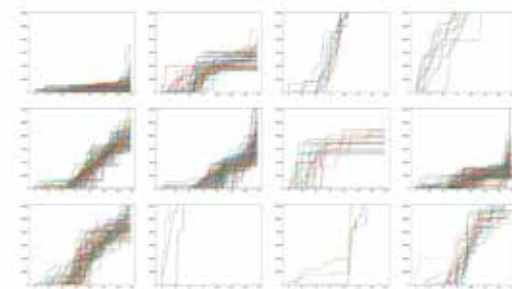
ユニットが連携し、教育実践と研究を結びつけた取組を展開した。評価・分析ユニットでは、学習履歴分析などの継続研究に加え、実験参加者プールの構築や放送授業配信ログ分析の基盤整備を進めた。手法・教材開発ユニットでは、生成AIを活用した問題作成支援や電子書籍プラットフォームに関する研究を進めるとともに、オンライン試験における不正行為の分析、オンライン教材の開発、授業の同時字幕化に向けた制作フローの検証など、教育実装を見据えた研究開発に取り組んだ。学修支援・交流ユニットでは、バーチャルラーニングコモンズ(VLC)やマイクロレデンシャルに関する研究に加え、GDN(Groningen Declaration Network)原則に基づく学習認証エコシステムの設計や、オンライン学習グループによる集合知形成の実践研究を進めた。

経営戦略部門では、大学の将来戦略と連動した研究開発を推進した。タイプAでは、障害学生支援体制の整備、高校連携による先取り学習の可能性の検討、知的

障害者の学習方法と学修成果評価に関する研究など、多様な学習者ニーズに対応する取組を実施した。タイプBでは、AIを活用したリカレント教育プラットフォームの整備やリメディアル教育の推進、遠隔高等教育標準の構築を目指すOUJモデル研究を継続するとともに、IR(Institutional Research)の機能強化を視野に入れた情報利活用の高度化に関する研究を進めた。

これらの研究については、2025年9月29日に中間報告会を、2026年3月16日および23日に成果報告会を実施した。これらの報告を通じて、各研究領域において実証的成果や実装に向けた知見の蓄積が着実に進んでおり、本センターの研究活動が多方面にわたり成果を上げつつあることが確認された。

当センターは今後も、研究成果を有機的に連携させ、放送大学の教育実践に根ざした遠隔教育の高度化を推進するとともに、本学および国内外の高等教育に資する知見の創出と社会への還元を目指す。



放送授業の学習ペースのクラスタリング



バーチャルラーニングコモンズ(VLC)上における卒業研究発表会の様子

学生に向けた教育

放送授業（テレビ・ラジオによる授業）

放送授業は、BSテレビ（231ch、232ch）またはBSラジオ（531ch）で受ける授業である。科目によってテレビ科目とラジオ科目に分かれており、BS放送やケーブルテレビなどを通じて、全国で放送されている。なお、学生専用サイト（システムWAKABA）では、全ての科目をインターネット上で配信しており、時間と場所を選ばずにパソコンやスマートフォンなどで視聴可能である。1コマ45分の授業が15コマで構成された2単位科目である。

2025年度は、学部288科目、大学院50科目の合計338科目を開設している。制作された放送授業は、原則として4年から6年間開講し放送するため、全開設科目の5分の1前後が毎年入れ替わる。2025年度の新規開設科目は、学部39科目（テレビ25科目、ラジオ14科目）、大学院10科目（ラジオ10科目）の合計49科目である。

2025年度 開設科目数			
	テレビ科目	ラジオ科目	計
学 部	169	119	288
大学院	5	45	50
計	174	164	338

2025年度新規開設科目（基盤科目）

▶基盤科目	科目名	メディア
	問題解決の進め方（'25）	テレビ
	遠隔学習のためのパソコン活用（'25）	テレビ

▶基盤科目（外国語）		
	シン・ビートルズde英文法（'25）	ラジオ
	韓国語Ⅰ（'25）	テレビ
	韓国語Ⅱ（'25）	ラジオ
	初歩のスペイン語（'25）	ラジオ

2025年度新規開設科目（コース科目）

▶生活と福祉		
導入科目	生活経済学（'25）	ラジオ
	疾病の回復を促進する薬（'25）	テレビ
	疾病の成立と回復促進（'25）	テレビ
専門科目	睡眠と健康（'25）	ラジオ
	食の安全（'25）	テレビ
	人間・環境情報とDX（'25）	テレビ
	リハビリテーション（'25）	ラジオ

▶心理と教育		
導入科目	教育の社会学（'25）	テレビ
専門科目	特別支援教育総論（'25）	ラジオ
	知的障害教育総論（'25）	ラジオ
	学習・言語心理学（'25）	テレビ

▶社会と産業		
導入科目	社会学概論（'25）	テレビ
	社会経済の基礎（'25）	ラジオ
専門科目	国際法（'25）	ラジオ
	西洋政治思想の文脈（'25）	ラジオ
	日本政治外交史（'25）	テレビ
	マーケティング（'25）	テレビ
	NPO・NGOの世界（'25）	ラジオ
	企業経営の国際展開（'25）	ラジオ
	これからの住まいと建築（'25）	テレビ

▶人間と文化		
専門科目	博物館情報・メディア論（'25）	テレビ
	博物館展示論（'25）	テレビ
	映画芸術への招待（'25）	テレビ
	博物館資料保存論（'25）	テレビ

▶情報		
導入科目	初歩からの情報科学（'25）	テレビ
専門科目	生活を支えるコンピュータ技術（'25）	テレビ
	Webのしくみと応用（'25）	テレビ
	映像コンテンツの制作技術（'25）	テレビ

▶自然と環境		
導入科目	生物環境の科学（'25）	テレビ
専門科目	数学の歴史（'25）	テレビ
総合科目	ジオストーリー（'25）	テレビ

▶看護師資格取得に資する科目		
	老年看護学（'25）	ラジオ
	精神看護学（'25）	テレビ

大学院 2025年度新規開設科目

▶生活健康科学		
	スポーツ社会学（'25）	ラジオ
	看護・保健系調査方法論（'25）	ラジオ
	生活リスク論（'25）	ラジオ

▶人間発達科学		
	グローバル時代の教育文化（'25）	ラジオ
	成人の発達と学習（'25）	ラジオ
	社会心理学特論（'25）	ラジオ

▶臨床心理学		
	臨床心理面接特論Ⅰ（'25）	ラジオ
	臨床心理面接特論Ⅱ（'25）	ラジオ

▶情報学		
	ソフトウェア工学（'25）	ラジオ
	計算と自然（'25）	ラジオ

面接授業

面接授業は、学習センターなどで教員から直接指導を受ける授業である。1科目1単位で、90分の授業7コマ、45分の授業1コマ、計8コマで構成されている。

学友と共に学んだり、教員と交流を深めたりできる貴重な機会となっており、全国の学習センターとサテライトスペースで、年間約

2,700クラスが開講されている。また、教室の中だけでなく、学習センター以外の場所で演習・実習等を行う授業も開講している。

2025年度は、2,449クラス（1学期1,222クラス、2学期1,227クラス）を開講した。



授業紹介

山形 学習センター

専門科目：人間と文化コース

アメリカ：過去と現在

講 師 伊藤 豊（山形大学学術研究院（人文社会科学部担当）教授）

開講日 2025年5月31日（土）、6月1日（日）

アメリカの歴史と現状を多角的な視点から考察し、現代アメリカをより深く理解することを目標に学びました。授業の合間には意見交換の機会も設け、学生同士のディスカッションを通して理解をさらに深めることができました。受講した学生からは、「動画や楽曲が効果的に使われていて理解しやすかった」と好評でした。

導入科目：心理と教育コース

地域社会の多文化共生を考える

講 師 内海 由美子（山形大学学術研究院（学士課程基盤教育院）教授）

開講日 2025年10月25日（土）、26日（日）

日本人の人口が減る中で在留外国人が増える今、誰もが安心して暮らすことができる地域を作るために、多文化共生の在り方を学びました。

2日目は実際に留学生と対話し、ワークショップ形式を取り入れながら授業を行いました。受講者からは、「多文化共生のためにできることを具体的に知ることができた。」「実際に外国の方と交流することで、講義で学んだ内容を実践できとても有意義だった」と大変好評でした。



（注）「テレビ※」は放送授業ですが、テレビによる放送は行わず、インターネット配信限定で視聴する科目です。

オンライン授業

オンライン授業は、インターネットに接続されたパソコンなどを使い講義を視聴し、学習活動や成績評価の課題（選択式問題、レポート、ディスカッション等）に取り組む授業である。1単位（8コマ）の科目と、2単位（15コマ）の科目があり、1コマあたり、講義が45分程度と学習活動が45分程度を合わせた90分程度である。成績評価は課題により行うため、通信指導や単位認

定試験はなく（一部科目は単位認定試験を実施）、自宅や職場などインターネット環境があれば、場所や時間に縛られることなく自分のペースで学ぶことができる。2025年度1学期は、2024年度に制作された教養学部10科目と大学院修士課程5科目を新規開講した。また、2026年度開講の教養学部10科目と大学院修士課程5科目が新規制作された。

2025年度教養学部 新規開設科目			
コース		科目名	単位数
基盤科目		少子化時代の子育て―法と政策（'25）	1
心理と教育	導入科目	教育政策のデザイン（'25）	2
	専門科目	現代のキャリアコンサルティング（'25）	1
社会と産業	専門科目	社会科学で綴る伝記（'25）	1
	専門科目	サプライチェーン・マネジメント（'25）	2
人間と文化	専門科目	「日本語らしさ」とは何か（'25）	2
	専門科目	博物館資料論（'25）	2
情報	導入科目	表計算プログラミングの活用（'25）	1
	導入科目	ゲーム理論入門（'25）	1
自然と環境	専門科目	地球と環境の探究（'25）	2

2025年度大学院修士課程 新規開設科目		
プログラム	科目名	単位数
人間発達科学	論文作成のための教育研究（'25）	1
人文学	アカデミック・スキルズ（'25）	1
	人文学の現在（'25）	1
情報学	プログラミング応用（'25）	1
自然環境科学	自然や環境の諸問題（'25）	1

オンライン授業科目数推移															
	2017		2018	2019		2020	2021	2022		2023		2024		2025	
	1学期	2学期	1学期	1学期	2学期	1学期	1学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
制作科目数 (コマ数)	12 (159)		10 (136)	14 (129)		12 (109)	9 (114)	9 (100)		10 (126)		15 (155)		15 (156)	
運用科目数	20	26	38	48	50	61	72	75	78	82	82	88	88	94	94

ライブWeb授業

ライブWeb授業は、自宅などのパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業である。1単位（8コマ）の科目と、2単位（15コマ）の科目があり、1コマは90分である（全コマのうち1コマのみ45分の場合もある）。講義資料の配付、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等はすべて専用のシステム（LMS）上で行い、決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題（レポート等）を提出する。

また授業によっては学生同士のグループワークを行うこともあり、講義資料や講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合がある。学生が自宅から全国のライブWeb授業を受講することができることも魅力のひとつで、2025年度は171科目（1学期75科目、2学期96科目）を開講した。

科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）

放送大学
エキスパート

「科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）」は、本学が2006年から実施している学習プログラム（履修証明プログラム）で、学校教育法第105条「履修証明制度」[🔗](#)に対応している。本学が指定する特定の授業科目群17プランに沿って専門分野を体系的に学び申請することで、修了者には法に基づく認証状と証明書のほか、希望者には携帯できる認証カードが交付される。履歴書への記載や、博物館などボランティア活動に役立つ。2026年3月31日までの累計認証取得件数は37,415件である。

🔍 学校教育法第105条
「履修証明制度」とは…

社会人などを対象とした、2007年に始まった新しい履修・学習の証明制度。大学などが開設した一定のまとまりある学習プログラム（履修証明プログラム）の修了者に対して、大学などが法に基づく「履修証明書」（certificate）を交付できる制度（詳細は文部科学省のホームページを参照：https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/）である。

寄附科目

本学では、様々な機関からの支援を受け、社会の要請に応じた寄附科目を開設している。2025年度には、1科目の寄附科目を放送した。

2025年度認証プランと認証状取得者数（2026年3月31日現在）※開始時よりの累計数		
認証プラン名	認証状の名称	認証状取得者数
健康福祉指導プラン	健康福祉運動指導者	3,205
福祉コーディネータプラン	福祉コーディネータ	3,335
社会生活企画プラン	社会生活プランナー	1,679
心理学基礎プラン	心理学基礎	5,266
臨床心理学基礎プラン	臨床心理学基礎	3,197
異文化コミュニケーションプラン	異文化理解支援	1,598
宇宙・地球科学プラン	宇宙・地球科学	1,001
環境科学プラン	環境科学の基礎	950
芸術系博物館プラン	芸術系博物館活動支援	1,626
歴史系博物館プラン	歴史系博物館活動支援	1,889
自然系博物館プラン	自然系博物館活動支援	909
工学基礎プラン	工学基礎	535
地域貢献リーダー人材育成プラン	地域貢献リーダー人材	830
日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド（基礎力）養成プラン	日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド（基礎力）養成	417
学校地域連携コーディネータープラン	学校地域連携コーディネーター	365
データサイエンスリテラシープラン	データサイエンス・リテラシー	777
データサイエンスアドバンスプラン	データサイエンス応用基礎	504
社会探究プラン※①	現代社会の探究	730
次世代育成支援プラン※①	次世代育成支援	1,353
生命科学プラン※①	生命人間科学	973
社会数学プラン※①	数学と社会	547
食と健康アドバイザープラン※②	食と健康アドバイザー	986
人にやさしいメディアデザインプラン※②	人にやさしいメディアのデザイン	225
データサイエンスプラン※②	データサイエンス	192
市民活動支援プラン※③	市民政策論	794
日本の文化・社会探究プラン※③	日本の文化と社会	783
計算機科学基礎プラン※③	計算機科学の基礎	501
実践経営学プラン※④	経営の理解	647
ものづくり MOT プラン※④	ものづくりと MOT（技術経営）を学ぶ	397
コミュニティ学習支援プラン※④	地域生涯学習支援	342
アジア研究プラン※④	アジア研究	522
エネルギー・環境研究プラン※④	エネルギー環境政策論	340
		37,415

※①がつくプランは、2021年3月31日をもって廃止しましたが、経過措置として2026年3月31日まで申請が可能です。
※②がつくプランは、2022年3月31日をもって廃止しましたが、経過措置として2027年3月31日まで申請が可能です。
※③がつくプランは、2023年3月31日をもって廃止しましたが、経過措置として2028年3月31日まで申請が可能です。
※④がつくプランは、2019年3月31日をもって廃止し、経過措置が2024年3月31日で終了しました。

2025年度開設寄附科目		
科目名	寄附団体名	メディア
著作権法（'22）	日本音楽著作権協会（JASRAC）	ラジオ

キャリアアップ支援【資格取得】

教 員

本学では、現職教員が教育職員検定により、上位や他教科等の教員免許状を取得しようとする際に必要な科目の一部又は全部を履修することができる。

- ▶上位・他教科・隣接校種の教員免許状
- ▶特別支援学校教諭免許状（知的障害者教育領域・肢体不自由者教育領域）
- ▶養護教諭の上位の免許状
- ▶栄養教諭免許状
- ▶学校図書館司書教諭資格



看護師

准看護師として5年*以上の就業経験を有し、看護師学校養成所2年課程（通信制）に入学して、68単位以上を修得して卒業すると、看護師国家試験を受験することができる。その際、放送大学で修得した単位を各養成所の判断により、総修得単位の2分の1を超えない範囲で当該養成所において修得したものとして認定を受けることができる。

※2026年4月入学生から就業経験が7年から5年に変更

また、放送大学大学院では、看護師の特定行為研修科目のうち、共通科目（講義・演習部分）をオンライン授業として全国の看護師に科目を提供している。なお、2026年3月現在、本学は指定研修機関33機関の協力施設となっている。

- ▶看護師国家試験受験資格
- ▶看護師の特定行為研修制度対応科目



心理学

本学で人気のある心理学は、科目が豊富で、生活や仕事に役立つ知識を得られるだけでなく、資格取得を目指すことも可能である。

日本心理学会が認定する「認定心理士」は、心理学に関する標準的な基礎知識と基礎技術を正規の課程において修得していることを認定する資格である。心理職を目指す人には大切な第一歩であり、本学ではこれまでに16,300人以上が資格申請を行っている。

また、臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて心理的な問題を取り扱う「臨床心理士」は、内閣府の認可する公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定し、公立学校スクールカウンセラーの資格要件になるなど、公的にも認められている。本学大学院は、受験資格を得るために同協会が指定する大学院（2種）で、修士全科生として臨床心理学プログラムを修了し、修了後合計1年以上の心理臨床実務経験を積んだ後に受験可能になる。2025年度の本学での臨床心理士資格審査の合格率は、63.6%であった。

「公認心理師」は2015年に成立した「公認心理師法」に基づく、心理職初の国家資格である。本学では、2019年度より学部段階における公認心理師カリキュラムを開設した。なお、対応科目のうち「心理演習」と「心理実習」の2科目を受講するためには選考試験に合格する必要がある（受講者定員は全体で30名。2026年度「心理演習」「心理実習」受講のための選考試験の出願倍率は15.2倍）。

※本学では大学院段階のカリキュラムには対応していない。

- ▶認定心理士
- ▶臨床心理士受験資格
- ▶公認心理師受験資格（学部段階）

本学で修得した単位は、その他以下の資格取得等のために活用することができる。

- ▶学芸員資格
- ▶社会教育主事任用資格
- ▶社会教育士
- ▶社会福祉主事任用資格
- ▶介護教員講習会の対応科目



障がいのある学生への修学支援

本学では、障がいのある方に障がいの特性等に応じた様々な修学支援を行っている。

視覚障がい等により印刷教材を読むことが困難な方への支援として、希望者には印刷教材のテキストデータを提供している。また、国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスへの上記テキストデータの提供を行っており、2023年度からは同テキストデジデータ、2024年度からはマルチメディアデジデータの提供も開始した。

一方、聴覚障がい等がある学生への支援としては、テレビ授業

科目、オンライン授業科目や特別講義における字幕挿入を行っている。また、インターネット配信では、一部のラジオ科目でも字幕視聴が可能になっている。

さらに単位認定試験では、Web単位認定試験において、障がいがあることによりWeb画面操作が困難である方、読み上げ機能を使用する方等に試験時間の延長を認めた他、Web受験ができない方については、これまでと同様に学習センターに来所していただき、音声問題や点字問題による出題や、別室や希望座席での受験を認める等の配慮も実施した。

学生の研究成果の公開

本学（学部）では、学生が指導教員から直接、指導を受ける機会を提供するため、卒業研究を開設しており、毎年多くの学生が履修している。そこで2007年度から、卒業研究の履修を将来希望する学生への情報提供として、卒業研究のテーマ一覧と、研究成果である卒業研究報告書の公開を、キャンパスネットワークホームページで開始した。2025年度も2024年度履修者の中から、各コースで選ばれた卒業研究報告者について、システムWAKABAで公開した。

大学院については、在学生や今後の入学者への情報提供のほか、修士課程の教育研究内容が具体的に見える資料として利用されることを目的とし、修士論文を基にした学生論文集「OpenForum（放送大学大学院教育研究成果報告）」を2005年度から2021年3月刊行の第17号まで冊子体で刊行した。

2020年度修了生からは、各プログラムで選ばれた修士論文について、システムWAKABAでの公開を開始している。

一方、従来「OpenForum」が担っていた学外への発信機能を引き継ぎ、さらに強化することを目的として、2022年3月には教員有志によるオンラインジャーナル「放送大学文化科学研究（The OUJ Journal of Arts and Sciences）」を創刊し、ホームページ（<https://oujjas.com>）での公開を開始した。オンライン化によって在学生に限らず誰からも閲覧可能となっただけでなく、同時に行われたページ制限の緩和によって掲載論文の内容はより充実したものとなっている。また、創刊に当たっては新たに設置された博士後期課程の在籍者・修了者にも門戸を開いたが、2026年2月刊行の第5巻には博士課程研究論文2件を含む計24件の論文が掲載され、従来の学生論文集の枠を超える高度な内容を持つに至っている。



放送大学
マスコットキャラクター
まなびー®



社会に向けた教育

生涯学習支援番組

本学は、人生100年時代における社会人の多様な学び直しのニーズに応え、実践的な知の基礎や職業的能力の向上に資する内容によって「学び直し」のきっかけを提供する、生涯学習支援番組を2018年から放送している。

2025年度は、新規24番組を含む、529番組の生涯学習支援番組を放送した。

2025年度の新規放送番組

16番目の授業	ダイナミックな地球 アメリカ西部でプレートテクトニクスを読み解こう 現代の内部監査 ～「グローバル内部監査基準」とその概要～
BSキャンパスex特集	古文書を訪ねる旅～熊谷家文書と安芸国三入庄～前編
	古文書を訪ねる旅～熊谷家文書と安芸国三入庄～後編
	イネの新たな時代～日本の農学の国際貢献と生産拡大へのチャレンジ～
	古文書を訪ねる旅～新潟県立歴史博物館所蔵「越後文書宝翰集」～前編
	古文書を訪ねる旅～新潟県立歴史博物館所蔵「越後文書宝翰集」～後編
スペシャル講演	健康とスピリチュアリティ 第1回「スピリチュアリティとは何か」
	健康とスピリチュアリティ 第2回「スピリチュアリティのさまざまな形」
	世界のアニメーション史と技術
	『おくのほそ道』一芭蕉が最後に遺した古典ー
	学ぶって楽しい! ～知的障害者と高等教育～
放送大学クラシックス	ジェンダー平等と日本の教育
	光が生み出す安全で快適な生活～視覚特性を生かした動的視環境計画～
	海洋生態系と微生物～そのおもしろさを語り続けて～
	シンメトリーと物理学('93)
	外国語への招待 トルコ語('97)
数理・データサイエンス・AI講座	外国語への招待 アラビア語('00)
	ジャポニズム('96)
	蝶 ～この美しき生命の神秘～('96)
	稲作の起源を探る('00)
	私の俳句人生 ～17文字に寄せる思い～ 第二回 金子兜太 ('99)
	デジタルリテラシーの近未来 第1回「ロボット・AIと社会 ～働き方と暮らしの変革～」
	デジタルリテラシーの近未来 第2回「AI・デジタルリテラシーと教育 ～未来を創る学び～」



▶BSキャンパスex特集 世界のアニメーション史と技術

アニメーションはどのように発展してきたのか。この「動くはずのない絵が動き出す」という革新的技術は100年以上も前に誕生。今なお独自の発展を続けている。新しい技術を次々と実用化し巨大産業へと進化してゆくアメリカのアニメーション。一方、世界各地では個性豊かなアートアニメーションが生まれ表現方法を開拓している。この番組では「技術」や「表現」に注目してアニメーション発展の歴史を探访する。



▶数理・データサイエンス・AI講座 デジタルリテラシーの近未来 第1回/第2回

近年、生成AIの爆発的な普及により、私たちの働き方や学び方、そして暮らしは大きく変わつつある。番組では二回にわたって、この転換期に求められるデジタルリテラシーが今後どのように進化していくのかを多角的に考察する。

キャリアアップ支援認証制度

体系的に編成された講座を修了した方に対して、放送大学が独自の認証状を発行する「キャリアアップ支援認証制度」を実施している。本制度は、様々なニーズに応え受講者のキャリア

アップに資する講座を柔軟な仕組みで提供するものであり、本学学生でなくても受講できる。また、修了者には、認証状の他、デジタルバッジを発行する。

インターネット配信公開講座

本学のキャリアアップ支援認証制度に係る有料講座及び一部の生涯学習支援番組からなる無料講座をインターネットで配信する「インターネット配信公開講座」を2020年度に開始した。2025年度においてはキャリアアップ支援認証制度対象の99講座(有料)、無料配信の48講座を配信した。



単位互換の取り組み

本学は、「他大学との単位互換の推進により、わが国の大学教育の改善に資すること」を設置目的の一つに掲げている。本学と単位互換協定を締結している大学及び短期大学は413大学あり、日本国内の全大学・短期大学の約38%にのぼる。さらに16大学院、17校の高等専門学校とも単位互換協定を締結しており(2026年3月31日現在)、大学等から受け入れる学生数は年間で約4,000名(延べ約7,000科目)に達する。

平成30年11月26日の第119回中央教育審議会総会で取りまとめられた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」において「複数の大学等の人的・物的リソースを効率的に共有することで、一つの大学では成し得ない多様な教育プログラムを提供することができるよう、単位互換等の制度運用の改善を行うことも必要」と記載されたことを受け、国から単位互換制

度の運用に係る基本的な考え方が示された。本学では、基本的な考え方に則り単位互換を推進することによって、多様で柔軟な教育プログラムの編成(文理横断・学修の幅を広げる教育等)や大学の多様な「強み」の強化など、わが国の大学等の教育課程の充実に寄与している。

2025年度には、新たに9校の大学等と単位互換協定を締結し、協定締結校は合計446校となった。

2025年度に締結した単位互換協定締結校

高知工科大学大学院	高野山大学
東邦大学	長岡大学
創価女子短期大学	杉野服飾大学
仁愛大学	奥羽大学
金城学院大学	

専門学校・高等学校との連携協力

本学では、専門学校との連携協力として、専門学校に在学しながら本学にも入学し、本学の科目を併修する制度を実施している。時間と場所を問わずに学ぶことのできる本学の特徴を活かし、専門学校での学習と組み合わせて学べ、本学卒業により学士(教養)の学位を取得することが可能である。

2025年度には、新たに10校の専門学校と連携協力の覚書を

締結し、連携協力校は合計82校となった。

また、高等学校との連携として、高校生が放送大学で修得した単位を、高等学校長の判断でその高等学校の卒業に必要な単位として認定することができるほか、高等学校卒業後に本学に入学した場合、過去に修得した単位をそのまま、本学の卒業に必要な単位として通算している。

2025年度に締結した連携協力校(専門学校)

JCHO大阪病院附属看護専門学校	東京みらいAI&IT専門学校	大宮みらいAI&IT専門学校	沖縄みらいAI&IT専門学校
東京ITプログラミング&会計専門学校仙台北校	北海道医学技術専門学校	天草市立本渡看護専門学校	
旭川厚生看護専門学校	JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校	佐久総合病院看護専門学校	

一般向け講演会

本学で培われた教育・研究成果が広く社会に提供されることで、大学と社会相互のさらなる発展が期待される。本学は、主に全国の学習センターを通じて、一般市民を対象とした公開講演会等を開催し、その知識を社会に還元している。以下にその活動の一部を紹介する。

2025年度公開講演会					
所属	講師	テーマ	主催、共催等	方式	開催年月日
生活と福祉	朝倉 富子	食と健康～高齢社会の食と味覚～	新潟SC	対面とWeb併用	2025年10月5日
	川島 聡	障害のある人に対する差別を禁止する法律の考え方	兵庫SC,コミスタこうべ	対面	2025年6月3日
	山内 豊明	『医療者がアタマの中で進めていること』～臨床推論・アセスメント～	山口SC	対面	2026年2月7日
心理と教育	岩永 雅也	学びで世界が変わる～生涯学習社会と放送大学～	青森SC	対面	2025年4月13日
		学びで変わる自分も世界も～生涯学習と放送大学～	岡山SC	対面	2025年9月20日
		「知は力」について考える－生涯学習と放送大学－	愛媛SC	対面	2025年11月22日
	向田 久美子	子供がわかる、好きになる『子育て心理学入門』	さいたま市立大宮図書館,広報課	対面	2025年12月13日
		日本人の自尊感情	奈良SC	対面	2025年7月26日
	櫻井 直輝	教育振興基本計画と教育政策・行政	高知SC	対面	2025年6月7日
社会と産業	李 鳴	法律をもっと身近に～日常に役立つやさしい法律の基礎知識～	東京文京SC,広報課	対面とWeb併用	2026年2月21日
人間と文化	大橋 理枝	多文化共生のためのコミュニケーション	茨城SC	対面	2025年10月18日
		多文化共生のためのコミュニケーション	東京渋谷SC,世田谷区	対面	2026年1月15日
	滝浦 真人	“ありのままを言えない日本語”は一体何を言っているのだろうか？	東京渋谷SC,広報課	対面とWeb併用	2025年7月26日
	鶴見 英成	博物館学・別館～私たちを取り巻くミュージアムについて改めて考える～	東京文京SC,広報課	対面とWeb併用	2026年1月31日
	船岡 美穂子	モチーフで読み解く西洋美術	広島SC	対面	2025年6月22日
情報	青木 久美子	あの頃と、いま。メディアが変えた日常～テレビ・電話・スマホの50年～	東京文京SC,広報課	対面とWeb併用	2025年8月2日
	中谷 多哉子	ソフトウェアを開発する前に学ぶこと！ ～あらためて開発とは？や、品質向上を考えてみよう～	東京渋谷SC,広報課	対面とWeb併用	2026年2月7日
自然と環境	谷口 義明	天才たちは星空に何を見たか ～宮沢賢治とフィンセント・ファン・ゴッホ～	東京文京SC,広報課	対面とWeb併用	2025年8月23日
	茨城SC 小野寺 淳	水戸道中膝栗毛－古道歩きのお勧め－	茨城SC	対面	2026年3月14日
神奈川SC	大谷 英雄	私のこれまでの研究史～燃焼研究からリスクマネジメントまで～	放送大学神奈川サークル協議会	対面	2026年3月15日
新潟SC	大原 謙一	宇宙は無重力？～最弱で最強の力＝重力～	新潟SC	対面	2025年9月28日
長野SC	大塚 勉	信州の生活の場は活断層が作った	長野SC	対面	2025年9月13日
三重SC	梅川 逸人	食品副産物中の健康に役立つ成分	三重県生涯学習センター	対面	2025年7月30日
鳥取SC	渡邊 文雄	くずもちを知れば、もっと美味しくなる	鳥取SC	対面	2026年1月31日
		クロレラってなに？歴史と栄養をひも解く	鳥取SC	対面	2026年2月7日
		ナタデココを知れば、もっと美味しくなる	鳥取SC	対面	2025年4月27日
		鮭を知れば、もっと美味しくなる	鳥取SC	対面	2025年8月2日
広島SC	吉村 幸則	ミルクはどうやってできるの？	広島SC	対面	2025年7月27日
		家畜の健康を守る仕組み－免疫について－	広島SC	対面	2025年12月27日
		ミルクはどうやってできるの？	広島SC	対面	2025年8月2日
		家畜の健康を守る仕組み－免疫について－	広島SC	対面	2025年12月13日
山口SC	杉浦 崇夫	転倒予防のためのトレーニング講座(全6回)	山口SC	対面	2025年10月12日,19日
		転倒予防のためのトレーニング講座(全6回)	山口SC	対面	2025年11月4日,11日,18日,25日,12月2日,9日
		転倒予防のためのトレーニング講座(全6回)	山口SC	対面	2025年11月7日,14日,21日,28日,12月5日,12日
愛媛SC	吉田 正広	「バースの女房」の社会史 －四国遍路研究とかかわり続けたイギリス史(5)－ ロンドンのポプラー地区「子どもたちの記念碑」の記憶 －四国遍路研究とかかわり続けたイギリス史(6)－	愛媛SC	対面	2025年9月6日
				対面	2026年3月14日
				対面	2025年11月12日
高知SC	益本 俊郎	「高知の魚を食べるという選択－持続可能な未来のために」	高知SC	対面	2025年11月12日
熊本SC	谷 時雄	『生命科学が解き明かすRNAの知られざる世界』 －生命の誕生から新しい創業まで－	熊本SC	対面	2025年4月6日
鹿児島SC	高津 孝	気象と水墨画	鹿児島SC	対面	2025年8月24日
沖縄SC	和田 浩二	食品とおいしさについて考えてみよう！	沖縄SC	対面	2025年8月23日

オープンコースウェア(OCW)

OCWは「大学等で正規に提供された講義とその関連情報をインターネット上で無償公開する活動」であり、1999年米国マサチューセッツ工科大学(MIT)から始まったものである。学びたい人すべてがいつでも学べる「開かれた大学教育」を目指して設置された本学は、OCWの理念に賛同し、2010年にインターネットに

2025年度オープンコースウェア科目(全15回分を公開)	
テレビ授業科目	
科目名	講師
遠隔学習のためのパソコン活用('25)	秋光 淳生／仁科 エミ
ドイツ語Ⅰ('23)	井出 万秀
中国語Ⅰ('23)	宮本 徹
情報学へのとびら('22)	加藤 浩／大西 仁
日本語リテラシー('21)	滝浦 真人
韓国語Ⅰ('25)	新井 保裕
英語で「道」を語る('21)	大橋 理枝／斎藤 兆史
疾病の成立と回復促進('25)	岡田 忍／佐伯 由香
地域・在宅看護論('23)	永田 智子／小野 若菜子
人体の構造と機能('22)	坂井 建雄／岡田 隆夫
地域福祉の課題と展望('22)	斉藤 弥生／小松 理佐子
子どもの人権をどうまものか('21)	山縣 文治
コミュニティがつなぐ安全・安心('20)	林 春男
災害看護学・国際看護学('20)	神崎 初美／西上 あゆみ
コミュニティと教育('24)	仲田 康一／大木 真徳
知覚・認知心理学('23)	石口 彰
教育調査の基礎('20)	藤田 武志／西島 央
マーケティング('25)	安藤 和代／石井 裕明
会計学('24)	川村 義則
ファイナンス入門('23)	齋藤 正章／阿部 圭司
現代の内部監査('22)	齋藤 正章／蟹江 章
エネルギーと社会('19)	迫田 章義／堤 敦司
日本語学入門('20)	滝浦 真人
中国と東部ユーラシアの歴史('20)	佐川 英治／杉山 清彦
生活を支えるコンピュータ技術('25)	葉田 善章
映像コンテンツの制作技術('25)	近藤 智嗣
情報社会と国際ボランティア活動('24)	山田 恒夫
データベース('23)	辻 靖彦／芝崎 順司
教育のためのICT活用('22)	中川 一史／苑 復傑
情報セキュリティ概論('22)	山田 恒夫／辰己 丈夫
身近なネットワークサービス('20)	葉田 善章
コンピュータとソフトウェア('18)	辰己 丈夫／中谷 多哉子
物理の世界('24)	岸根 順一郎／清水 明
宮沢賢治と宇宙('24)	大森 聡一／谷口 義明
初歩からの物理('22)	岸根 順一郎／松井 哲男
入門微分積分('22)	石崎 克也
量子物理学('21)	松井 哲男／岸根 順一郎
場と時間空間の物理('20)	松井 哲男／岸根 順一郎

よる配信を開始した。
現在、本学で開講する放送授業(テレビ及びラジオ)のほとんどの科目において、1番組または全15番組を本学学生以外の方にもインターネットにて公開している。また、一部の特別講義・生涯学習支援番組も公開している。

テレビ授業科目	
科目名	講師
生命分子と細胞の科学('19)	二河 成男
宇宙の誕生と進化('19)	大森 聡一／谷口 義明
太陽と太陽系の科学('18)	大森 聡一／谷口 義明
初歩からの化学('18)	安池 智一／鈴木 啓介
学校臨床心理学特論('21)	中島 正雄／倉光 修
ラジオ授業科目	
科目名	講師
心理と教育へのいざない('24)	苑 復傑／向田 久美子／佐藤 仁美
ドイツ語Ⅱ('23)	井出 万秀
市民自治の知識と実践('21)	山岡 龍一／岡崎 晴輝
社会と産業の倫理('21)	松原 隆一郎／山岡 龍一
韓国語Ⅱ('25)	新井 保裕
公衆衛生('24)	田城 孝雄／横山 和仁
看護管理と医療安全('24)	飯島 佐知子／田中 幸子
地域生活を支える社会福祉と法('24)	平部 康子／木村 茂喜
グリーンサポートと死生学('24)	石丸 昌彦／山崎 浩司
貧困の諸相('23)	駒村 康平／渡辺 久里子
リスクコミュニケーションの探究('23)	奈良 由美子
社会福祉実践とは何か('22)	横山 登志子
リスク社会の家族変動('20)	田間 泰子
ライフステージと社会保障('20)	丸谷 浩介
健康への力の探究('19)	戸ヶ里 泰典／中山 和弘
特別支援教育総論('25)	笹森 洋樹／佐藤 慎二
知的障害教育総論('25)	佐藤 慎二／高倉 誠一
教育の行政・政治・経営('23)	青木 栄一／川上 泰彦
現代教育入門('21)	岩永 雅也／岩崎 久美子
思春期・青年期の心理臨床('19)	大山 泰宏
NPO・NGOの世界('25)	大橋 正明／利根川 佳子
経営学入門('24)	原田 順子／松井 美樹
都市と地域の社会学('24)	北川 由紀彦／玉野 和志
現代国際社会と有機農業('23)	中西 徹
政治学入門('22)	山岡 龍一／待鳥 聡史
西アジアの歴史('24)	林 佳世子
哲学・思想を今考える('23)	魚住 孝至
樋口一葉の世界('23)	島内 裕子
西洋哲学の根源('22)	納富 信留

2025年度オープンコースウェア科目（全15回分を公開）

ラジオ授業科目	
科目名	講師
韓国朝鮮の歴史と文化（'21）	須川 英徳／三ツ井 崇
日本の近世（'20）	杉森 哲也
自然言語処理（'23）	黒橋 禎夫
AIシステムと人・社会との関係（'20）	山口 高平／中谷 多哉子
現代を生きるための化学（'22）	橋本 健朗
エントロピーからはじめる熱力学（'20）	安池 智一／秋山 良
統計学（'19）	藤井 良宜
線型代数学（'17）	隈部 正博
看護・保健系調査方法論（'25）	戸ヶ里 泰典／米倉 佑貴
生活リスク論（'25）	奈良 由美子

2025年度インターネット無償公開特別講義・生涯学習支援番組

テレビ特別講義・生涯学習支援番組	
講義題目名	主な講師
手本をはなれて ～”想画”を生んだ奥出雲の地から～	佐々 有生／青木 宗一
『おくのほそ道』の真髄 ～芭蕉自筆本に基づく新研究～	魚住 孝至
笑いの哲学～コントで分析～	森下 伸也
年縞が語る地球環境史	安田 喜憲
共に生きる社会を目指して ～「医療的ケア児」をどう支えるのか～	高橋 昭彦
微生物が作る究極の薬を求めて	大村 智
大村智博士が語るノーベル賞への歩み	
分子の履歴を読み解く ～地球環境の指標・アイソトポマー～	吉田 尚弘
レゲット教授が見た日本 ～ノーベル賞科学者による異文化交流～	アンソニー・レゲット／ 松井 哲男／佐藤 文隆／ 福山 寛
身心一体科学からの健康寿命延伸 ～日本文化を先端科学につなぐ～	跡見 順子
現代の内部監査 ～「グローバル内部監査基準」とその概要～ ～日本文化を先端科学につなぐ～	齋藤 正章

ラジオ授業科目	
科目名	講師
福祉政策と人権（'22）	金川 めぐみ
臨床心理学研究法特論（'23）	石原 宏／川部 哲也
日本文化と思想の展開－内と外と（'22）	魚住 孝至
朝鮮の歴史と社会－近世近代（'20）	須川 英徳／三ツ井 崇
ソフトウェア工学（'25）	中谷 多哉子／中島 震
計算と自然（'25）	萩谷 昌己
要求工学（'24）	中谷 多哉子／大西 淳
音楽・情報・脳（'23）	仁科 エミ／河合 徳枝
現代物理の展望（'19）	岸根 順一郎／松井 哲男
計算論（'16）	隈部 正博

ラジオ特別講義	
講義題目名	主な講師
通信教育で人生が変わった ～女優・作家 中江有里～	中江 有里
健康社会学的「働き方改革」のすすめ	河合 薫
脳脊髄液減少症と児童・生徒	篠永 正道
病・人・社会（1） ～統合失調症が教えること～	白石 弘巳
病・人・社会（2） ～人を支援する人が受け取るもの～	白石 弘巳
天文学を魅力的に伝えたい	縣 秀彦

放送大学における研究

次世代教育研究開発センターにおける研究

次世代教育研究開発センター（以下センター）は、本学園及び我が国の高等教育の充実・発展に寄与することを目的として、2024年4月に設置された。センターは、放送大学の教授形態の多様性と特性を踏まえた、先駆的な教育手法や教育内容の企画・制作・評価を通じて、次世代を見据えた遠隔高等教育の研究開発を行

うとともに、放送大学学園の経営戦略の観点からの研究開発等を行う。また、センターは、内外の研究機関と技術的、人的なネットワークを形成し、次世代を見据えた遠隔高等教育を研究開発する。2025年度には、次の研究開発課題を実施した。

次世代教育研究開発センター 研究開発課題一覧			
		研究開発課題名	研究代表者
学 習 研 究 部 門	評価・分析ユニット	データ基礎整備	森本 容介 教授
		学習履歴データの分析と学生支援システムの提供	森本 容介 教授
		放送教育・デジタル教材の調査研究	小林 祐紀 准教授
		実験参加者プール構築による教育・研究統合基盤の開発： 放送大学における遠隔高等教育モデル（OUJモデル）の進展に向けて	森 津太子 教授
		放送授業のネット配信ログ分析のためのインタラクティブWebサイトの構築	秋光 淳生 准教授
	手法・教材開発ユニット	質保証された単位認定のための試験手法の研究	加藤 浩 教授
		生成AIを活用したスキル測定問題の作成支援方法の研究	平岡 斉士 准教授
		教材制作DXプロジェクト	加藤 浩 教授
		電子書籍プラットフォームを核とする生涯学習デジタルエコシステムと流通方略の研究	山田 恒夫 教授
		オンライン試験における不正行為の行動パターン調査	加藤 浩 教授
		心理学実験実習に係るオンライン教材の研究開発： 放送大学モデル（OUJモデル）の構築を目指して	高橋 秀明 教授
		新規開講同時字幕化実現に向けた授業コンテンツ制作フローの刷新と トライアルによる実効性検証	開原 修 専門職
		学修支援・交流ユニット	
		遠隔教育におけるバーチャルラーニングコモンズ（VLC）の有効性の研究	青木 久美子 教授
		ライブWeb授業におけるジオロジーのバーチャル野外+リモート機器実習の開発	大森 聡一 教授
		マイクロレデンシャル共通枠組みによるグローバル大学連携	青木 久美子 教授
		GDN（Groningen Declaration Network）原則に基づくオープンな 学習認証エコシステム設計のためのガイドラインの策定	青木 久美子 教授
		集合知形成をめざすオンライン学習グループ形成の実践的研究	宮本 陽一郎 特任教授
経 営 戦 略 部 門	タイプA 研究開発テーマ公募型	放送大学の障害学生支援体制の整備と強化	川島 聡 教授
		高等学校との連携における先取り学習の拡充可能性についての研究	加藤 和弘 副学長
		放送大学コンテンツを活かした知的障害者の学習方法及び 学修成果の評価に関する実践的研究	里見 朋香 理事
		個別最適化された学習支援のための映像学習の履歴分析とAIを活用した レコメンド機能の開発と評価	芝崎 順司 教授
	タイプB 研究開発チーム募集型	リカレント教育等の拡充のためのプラットフォームの整備	芝崎 順司 教授
		放送大学の実践・蓄積を進化させた遠隔高等教育標準（OUJモデル）の開発	森 津太子 教授
		学術的、専門的観点からの教育、研究、学生支援、大学経営等に関する情報の 効果的な利活用や調査研究の高度化及び質の向上	加藤 和弘 副学長

放送大学研究年報

『放送大学研究年報』は本学の専任教員等が日頃の研究成果を
発表する場である。

2025年度放送大学研究年報(第43号)著者及び論題	
著者	論題
橋本 鉦市	CPD研究の課題と視点 ー国内関連論文のスコーピングレビューの試みー
広瀬洋子、仁科エミ、開原修	放送大学における「見えるラジオ」実現への歩みとその教育的可能性 ー字幕・静止画付与によるインターネット配信ラジオ授業の展開ー
丸山 広人	シングルセッション・セラピーの動向とスクールカウンセリング
山田知子	救護法における貧困妊産婦の位置 ーなぜ対象となったのかー
北原知典、波田野茂幸、伊藤匡、桑原知子	放送大学における公認心理師教育の意義について ー心理演習・心理実習の現状ー
小二田章	放送大学附属図書館蔵『通鑑紀事本末』卷十三について
中村知世	不要論・主婦教育・脱主婦教育からみる家庭科教育の歴史
石井祥子、奈良由美子、鈴木康弘、稲村哲也、森本佳奈、高橋博文、S.パトルガ、S.オトゴンツェツェグ、D.エンクタイワン、S.ナランゲレル、B.ナラマンダハ、T.ゾリグ、G.ビルグン、M.ハタンゾリグト、A.イクバヤル	モンゴルにおけるレジリエンス向上の実践・現地定着 ー市民主導の防災および遠隔教育の展開ー
近藤智嗣、海老池早紀、山田実嶺	放送大学における生成AI駆動学習環境の構想
Kutlay Yagmur	Promoting Diversity Policies in Higher Education: Aims of Inclusive Education Programs in the Netherlands

外部資金による研究

本学では、専任教員等が数多くのテーマのもと積極的に研究を行
い、その成果を世に送り出している。研究の支援・推進のため
に、放送大学教育振興会等他機関からの助成基金を積極的に
得て研究を進めている。2025年度に放送大学教育振興会・日
本学術振興会等の助成で実施した研究テーマは以下の通りで
ある。

放送大学教育振興会助成による研究：教育の普及・振興及び当該教育を担う人材育成事業			
所属	職名	氏名	研究課題名
情報	教授	青木 久美子	大学等における放送、インターネット等を利用した教育を担う人材育成を活性化する デジタルクレデンシャルレジストリの構築事業
情報	教授	森本 容介	初級プログラミング教育向けデジタル教材の開発と実践

放送大学教育振興会助成による研究：「次世代教育研究開発センター」における研究等事業			
所属	職名	氏名	研究課題名
次世代教育研究開発センター	センター長	芝崎 順司	次世代教育研究開発センターにおける研究開発の推進事業

日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（氏名は代表者）（研究種目・研究終了予定日順）				
所属	職名	代表者氏名	研究種目	研究課題名
社会と産業	教授	井上 由里子	基盤研究(C)	標識法と消費者行動：《需要者の認識》の関わる諸概念への実証的アプローチ
奈良学習センター	特任教授	野村 鮎子	基盤研究(C)	明清における悼亡詩の展開
自然と環境	教授	岸根 順一郎	学術変革領域研究(A)	カイラルキメラ準粒子の探索
心理と教育	教授	橋本 鉦市	基盤研究(B)	専門的職業の継続的職能開発(CPD)に関する国際的・職種横断的研究

日本学術振興会の科学研究費助成事業による研究（氏名は代表者）（研究種目・研究終了予定日順）				
所属	職名	代表者氏名	研究種目	研究課題名
自然と環境	教授	岸根 順一郎	基盤研究(B)	物質のカイラル構造振動が誘起する動的量子現象の解明
生活と福祉	教授	山内 豊明	基盤研究(B)	臨床看護アセスメント教育モデルの構築と人工知能による深層学習に向けた探索的研究
人間と文化	准教授	船岡 美穂子	基盤研究(C)	近世フランス動物画のジャンル横断的研究ー狩猟、博物誌、寓話、象徴ー
心理と教育	准教授	高梨 利恵子	基盤研究(C)	発達障害を背景に持つ慢性疼痛への認知行動療法
埼玉学習センター	特任教授	川又 伸彦	基盤研究(C)	ドイツ憲法異議の史的展開
心理と教育	教授	岩崎 久美子	基盤研究(C)	社会的包摂に向けた成人の「学び直し」の実効化に関する基礎的研究
生活と福祉	教授	川原 靖弘	基盤研究(C)	筋力回復リハビリテーションにおけるかけ声効果に最適な音声予測手法
自然と環境	教授	安池 智一	基盤研究(C)	プラズモンナノキャピティと分子の強結合による化学反応制御
情報	准教授	葉田 善章	基盤研究(C)	生涯学習における教育データ分析基盤を活用した教育改善に関する研究
情報	教授	青木 久美子	基盤研究(C)	オンライン遠隔教育における学習環境としてのバーチャルラーニングコモンズの研究
心理と教育	准教授	櫻井 直輝	基盤研究(C)	現代日本の学校統廃合政策の展開と政策アイディアに関する研究
生活と福祉	教授	川島 聡	基盤研究(C)	障害法における自律と包摂との相克
愛媛学習センター	特任教授	吉田 正広	基盤研究(C)	ロンドンのイースト・エンドにおける第一次世界大戦の戦死者追悼と地域社会
生活と福祉	教授	戸ヶ里 泰典	基盤研究(B)	看護学におけるエンパワメントおよび首尾一貫感覚の理論整備と標準化に関する総合研究
京都学習センター	特任教授	玉田 芳史	基盤研究(B)	脱民主化の政治：アジア地域研究からの接近
情報	教授	加藤 浩	基盤研究(B)	遠隔教育における学習者の表出の機能解明と表出促進システムによる学習改善の研究
心理と教育	教授	橋本 鉦市	基盤研究(B)	教育機関と産業界・地域・市民社会を架橋する境界領域(EBF)に関する実証的研究
	客員教授	稲村 哲也	基盤研究(B)	山岳高所における環境・動物・人の相互作用のダイナミズムー中央アンデスを中心に
情報	准教授	平岡 斉士	基盤研究(C)	行動変容をうながす漫画教材とノベルゲーム教材のストーリー作成支援ツールの開発
情報	教授	仁科 エミ	基盤研究(C)	オンライン学習における生理的負荷の計測と背景音環境造成効果の検証
情報	教授	浅井 紀久夫	基盤研究(C)	技能伝承のための分散協調訓練での人間拡張による触力感覚を伴った手指動作の再現
徳島学習センター	特任教授	橋爪 正樹	基盤研究(C)	ダイ間配線の出荷後電気検査をも可能にする組込み型検査回路に関する研究
自然と環境	教授	石崎 克也	基盤研究(C)	差分方程式の解の与える微分超越性への影響について
心理と教育	特任教授	進藤 聡彦	基盤研究(C)	社会科における知識の構造化を促進する教授方略としての知識操作
情報	教授	辻 靖彦	基盤研究(C)	教員と学生の大規模実態調査に基づくブレンド型授業の質保証のためのガイドライン策定
心理と教育	教授	苑 復傑	基盤研究(C)	脱グローバル化局面における中国の高等教育ー政策転換の構造と大学の葛藤ー
生活と福祉	教授	奈良 由美子	挑戦的研究(萌芽)	政治家に必要な科学リテラシー・コミュニケーション能力の同定とその開発支援ツール
新潟学習センター	特任教授	大原 謙一	基盤研究(C)	Hilbert-Huang変換を用いた重力波の非モデル化探索
	客員教授	稲村 哲也	挑戦的研究(開拓)	遊牧・山岳・先住民地域におけるリモート教育のモデル構築に関する実践的研究
生活と福祉	教授	戸ヶ里 泰典	挑戦的研究(萌芽)	感染症陽性者の生活・人生と社会的なあり方の意義に基づく新たなモデル構築の試み

その他外部資金助成による研究（本学の教員が代表のもののみ）

その他外部資金助成による研究（本学の教員が代表のもののみ）					
所属	職名	氏名	助成元	資金名・事業名等	研究課題名
山梨SC	特任教授	村松 俊夫	公益財団法人 北野生涯教育振興会	生涯教育研究助成金	生涯教育における「STEAMS(スティームス教育)」理念浸透の ための啓発活動 ー 触知体験型教育遊具を用いて ー
自然と環境	教授	大森 聡一	公益財団法人 北野生涯教育振興会	生涯教育研究助成金	ジオロジーの遠隔教育におけるバーチャル野外 +リモート機器実習の開発
生活と福祉	教授	戸ヶ里 泰典	公益財団法人 ユニベール財団	2024年度研究助成	LGBTQ+でHIV陽性である人のストレス対処力とメンタルヘルス ：当事者参加型リサーチによる全国調査

研究成果の発表・普及【書籍等出版物】

本学の専任教員・学習センター所長は、研究の成果を発表し共有・普及する
 ために、印刷教材以外にも、多数の書籍編集・執筆、及び辞書・辞典などの編
 纂を行っている。これらの書籍は、より専門的かつ先進的な内容を含んでお
 り、各教員が日々取り組んでいる独自の研究テーマや研究活動の成果である。

2025年度研究成果の発表・普及【書籍等出版物】				
所 属	氏 名	書籍名、辞書・辞典名、共著者	出版社	出版年月
生活と福祉	朝倉 富子	塩味と減塩：TMC4を介した塩味受容機構 / 成川真隆,笠原洋一,朝倉富子 [『腎と透析』99巻5号pp.657-661]	東京医学社	2025年11月
	川島 聡	アクティブラーニング国際人権法—学び、考える日本の実践(小坂田裕子・齋藤民徒・谷口洋幸・棟居徳子編) / [『障害者の権利』41-53頁]	法律文化社	2025年9月
		障害法の原理・体系・基本問題・関連領域：講座障害法第1巻（日本障害法学会編） / [『障害法体系の転換—排除型から包摂型へ』 48- 69 頁]	生活書院	2025年11月
	奈良 由美子	合理的配慮と憲法—日韓欧米各国における差別の緩和・解消の試み（根田恵多・杉山有沙・山本健人・横大道聡編） / [『国際人権法上の合理的配慮—日本法上の合理的配慮との比較を交えて』 151-171 頁]	ナカニシヤ出版	2025年12月
心理と教育		大学生が狙われる 50 の危険—まさか！に備える最新安全ガイド / 三菱総合研究所, 全国大学生生活協同組合連合会, 日本コープ共済生活協同組合連合会, 奈良由美子	青春出版社	2026年2月
	小林 祐紀	最新 教育課題解説ハンドブック / 小林祐紀 [学習者用デジタル教科書]	ぎょうせい	2025年10月
	橋本 朋広	スピリチュアルケアすべての臨床の核 / 滝口俊子, 大村哲夫, 松田真理子 [第 4 章 心理臨床におけるスピリチュアリティと祈り (pp. 125-152)]	創元社	2025年11月
	村松 健司	施設で暮らす子どもの生活と育ちを支えるケアワーカー 子どものケアとセルフケアのために / 村松健司, 坪井裕子	福村出版	2025年9月
社会と産業		心理学検定公式問題集 2026 年度版	実務教育出版社	2025年10月
	森 津太子	別冊 バイアスの心理学 増補改訂版 (Newton 別冊) / 池田まさみ, 森津太子, 高比良, 美詠子, 宮本康司	ニュートンプレス	2025年4月
		社会・集団・家族心理学（公認心理師スタンダードテキストシリーズ） / 北村英哉 [第2章：対人認知]	ミネルヴァ書房	2026年2月
	川出 良枝	戦後日本と政治学史：古典をめぐる十の対話 / 熊谷英人 [『座談『政治的なるもの』の運命』]	白水社	2025年4月
人間と文化	北川 由紀彦	「青木秀男『寄せ場労働者の生と死』」 貧困研究会編『貧困研究ブックガイド——日本の貧困を考えるための 65 冊』 / 北川由紀彦 [1 項目 (B40・158-161 頁)]	明石書店	2025年12月
		余裕なき社会を生きる——不幸の現代的形態 / 小山雄一郎, 北川由紀彦, 三田泰雅, 小山弘美, (監修：森岡清志) [本人担当章：第 5 章「階層の再生産」 61-71 頁, 第 7 章「自己責任論にどう向き合うか」 82-91 頁, 第 12 章「隠されていた社会問題を可視化する」137-146 頁]	ミネルヴァ書房	2026年3月
	桑田 学	環境思想入門 = Introduction to environmental philosophy / 橋本努 [第 12 章 気候工学, 第 19 章 脱成長, 第 24 章 人新世]	勁草書房	2025年7月
	白鳥 潤一郎	オーラル・ヒストリー入門 / 佐藤信編 [第 8 章外交官に聞く[247-275 頁]]	筑摩書房	2025年10月
人間と文化	大村 敬一	社会性の起原と進化＜始論＞：種と性を越えた比較研究のために / 大村敬一 [「社会性のオントロジー：イヌイトの共食が拓く人類の社会性の起原と進化をめぐる問い」 (pp. 353-377)]	京都大学学術出版会	2025年4月
	河原 温	物語のある中世ヨーロッパ解剖図鑑 / かみゆ歴史編集部	エクスナレッジ	2025年4月
		聖人崇敬の歴史 / 池上俊一, 河原温 [第 2 部第 10 章、あとがき]	名古屋大学出版会	2025年5月
		福祉の世界史 / 金澤周作, 帆苅浩之, 松沢裕作, 三浦徹編 [第 2 部第 1 章：西ヨーロッパ（魂）と〈身体〉の救済に向けて (pp.72-86)]	有斐閣	2025年12月
人間と文化	野崎 敏	サン＝テグジュペリ『夜間飛行・人間の大地』翻訳 / Saint-Exupéry Antoine de, 野崎敏	岩波文庫	2025年5月
		翻訳はおわない / 野崎敏	ちくま文庫	2025年5月
		『100 分 de 名著 サン＝テグジュペリ「人間の大地」』 / 野崎敏	NHK 出版	2025年7月
		多和田葉子『太陽諸島』解説 / 野崎敏	講談社文庫	2025年10月
人間と文化		『井伏鱒二ベスト・エッセイ』編集 / 野崎敏	ちくま文庫	2025年10月
		原宏之『ネルヴァルの新生』解説 / 野崎敏 [「作品の高みをめざして——『オーレリア』への挑戦」]	書肆水月	2026年1月
	船岡 美穂子	フランス語圏を知るための 61 章（エリア・スタディーズ） / 岩崎えり奈, 小島真智子 [第 59 章「18 世紀フランス美術の国際的波及—一生きる歓びへの憧憬と文化政策」]	明石書店	2026年3月
	宮本 陽一郎	Dark modernity : East-West perspectives 宮本, 陽一郎, Rodenberg, Hans-Peter (Kinds of Noir: Transnational Realism in Postwar America, Europe an Japan)	Peter Lang, Array	2025年10月
宮城 SC		ギャツビー 100 年：F・スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』を読む / 杉野健太郎, 浅川友幸, 浅羽麗, 上岡伸雄, 諏訪部浩一, 竹内康浩, 野間正二, 藤生真梨藻, 宮本陽一郎 [1925——ギャツビーの年]	三修社	2025年12月
	八鍬 友広	よくわかる日本法制史 / 岩谷十郎, 松岡潤一郎, 高田久実編 [民衆と思想]	ミネルヴァ書房	2025年5月
	植松 友彦	イラストで学ぶ 情報理論の考え方 改訂第 2 版 (KS 情報科学専門書) / 植松友彦	講談社	2025年12月
	玉田 芳史	現代東南アジア政治 / 岡本正明, 中西嘉宏, 大庭三枝 [第 3 章政治体制の変動 (34-47)]	法律文化社	2026年1月
広島 SC	吉村 幸則	家禽の辞典 / 本田和久, 吉村幸則ら	朝倉書店	2025年6月
	石川 千佳子	南九州という磁場 / 石川千佳子	忘羊社	2025年11月

2025年度研究成果の発表・普及【放送大学印刷教材】

所 属	氏 名	書籍名、共著者	出版社	出版年月
生活と福祉	糸川 昌成	精神疾患とその治療 / 石丸昌彦,糸川昌成	放送大学教育振興会	2026年3月
	橋本 鉈市	専門的職業と継続的職能開発	放送大学教育振興会	2026年3月
	橋本 朋広	ライフサイクルの心理臨床 / 大山泰宏, 佐藤仁美 [第 9 章 ライフサイクルとイニシエーション (pp. 136-150)]	放送大学教育振興会	2026年3月
	丸山 広人	ライフサイクルの心理臨床 [第6章 学びの変貌、第 8 章 大人になること]	放送大学教育振興会	2026年3月
社会と産業	村松 健司	ライフサイクルの心理臨床 / 大山泰宏, 佐藤仁美 [第 5 章 子と親の相互性と世代性]	放送大学教育振興会	2026年3月
	森 津太子	社会・集団・家族心理学（改訂）	放送大学教育振興会	2026年3月
	桑田 学	環境と社会思想	放送大学教育振興会	2026年3月
	白鳥 潤一郎	現代の国際政治 新訂 / 白鳥潤一郎, 鈴木一人編 [まえがき /1 国際政治の構図 /2 国際政治の歩み①「帝国主義」の時代 /3 国際政治の歩み②冷戦と脱植民地化 /4 国際政治の歩み③冷戦後の変容 /7 外交 /12 エネルギーと環境 /15 現代の国際政治をいかに捉えるか、の執筆を担当]	放送大学教育振興会	2026年3月
社会と産業		平和と安全保障 / 秋山信将編 [13 経済と安全保障 [230-243 頁] /14 国内政治と安全保障 [244-260 頁]]	放送大学教育振興会	2026年3月
		政治学入門 新訂 / 待鳥聡史編 [8 近代日本の政治 [129-144 頁] /9 現代日本の外交・安全保障 [145-163 頁]]	放送大学教育振興会	2026年3月
	松井 美樹	オペレーションズ・マネジメント / 松井美樹, 富田純一[1 章「オペレーションズ・マネジメント入門」 /4 章「プロセス設計の帰庫」 /5 章「プロセスの分析と改善」 /7 章「品質マネジメントシステム」]	放送大学教育振興会	2026年3月
人間と文化	杉森 哲也	近世の日本と世界	放送大学教育振興会	2026年3月
	船岡 美穂子	西洋美術史学の歴史と方法	放送大学教育振興会	2026年3月
情報	鈴木 一史	プログラムとアルゴリズムの基礎	放送大学教育振興会	2026年3月
自然と環境	飯田 圭	電気と磁気の物理 / 岸根順一郎, 飯田圭	放送大学教育振興会	2026年3月
	大森 聡一	ジオストーリー / 大森聡一, 宮下敦	放送大学教育振興会	2026年3月

研究成果の発表・普及【論文】

本学の専任教員及び学習センター所長は、各分野・領域における新たな発見を生み出している。2025年度に発表された学術研究論文のうち、審査を受け学術雑誌等で公開された論文を紹介する。

2025年度研究成果の発表・普及【論文】				
所 属	氏 名	論文名、共著者	発表媒体等	発表(出版)年月
生活と福祉	朝倉 富子	Contribution of Chloride to Salty Taste in Gustatory Sensation (Miku Nakagai,Momo Murata,Yoichi Kasahara,Yoshikazu Saito,Yukako Hayashi,Tomiko Asakura,Masataka Narukawa)	ACS Food Science & Technology	2025年4月
		TMC4 localizes to multiple taste cell types in the mouse taste papillae (Momo Murata,Yoshikazu Saito,Yoichi Kasahara,Wataru Fujii,Takumi Misaka,Tomiko Asakura,Masataka Narukawa)	FEBS Open Bio	2025年11月
糸川 昌成		Structural differences between human and mouse neurons and their implementation in generative Als (Rino Saiga,Kaede Shiga,Yo Maruta,Chie Inomoto,Hiroshi Kajiwara,Naoya Nakamura,Yu Kakimoto,Yoshiro Yamamoto,Masahiro Yasutake,Masayuki Uesugi,Akihisa Takeuchi,Kentaro Uesugi,Yasuko Terada,Yoshio Suzuki,Viktor Nikitin,Vincent De Andrade,Francesco De Carlo,Yuichi Yamashita,Masanari Itokawa,Soichiro Ide,Kazutaka Ikeda,Ryuta Mizutani)	Scientific Reports	2025年7月
		Schizophrenia with hypozincemia: Clinical features and symptom severity. (Koichi Tabata,Kazuya Toriumi,Kazuhiro Suzuki,Hidetoshi Takagi,Isabella Supardi Parida,Kazuhiro Niizato,Kenichi Oshima,Atsushi Imai,Yukihiro Nagase,Ryota Hashimoto,Syudo Yamasaki,Atsushi Nishida,Masanari Itokawa,Hidehiko Takahashi,Mitsuhiro Miyashita,Makoto Arai)	Schizophrenia research	2025年10月
		Pyramidal soma size in the anterior cingulate cortex is small in schizophrenia and correlates with hallucination score. (Ryuta Mizutani,Rino Saiga,Yoshiro Yamamoto,Chie Inomoto,Hiroshi Kajiwara,Yu Kakimoto,Yuki Sada,Masahiro Yasutake,Masayuki Uesugi,Akihisa Takeuchi,Kentaro Uesugi,Yasuko Terada,Yoshio Suzuki,Viktor Nikitin,Francesco De Carlo,Youta Torii,Itaru Kushima,Norio Ozaki,Shuji Iritani,Ken-Ichi Oshima,Masanari Itokawa)	Psychiatry research	2025年11月
		Distinct microRNA profiles in neuron-derived extracellular vesicles between recent-onset and chronic-phase schizophrenia. (Yasufumi Tomita,Kazuya Toriumi,Mitsuhiro Miyashita,Kazuhiro Suzuki,Hideya Kawaji,Masanari Itokawa,Makoto Arai)	Schizophrenia (Heidelberg, Germany)	2025年11月
川原 靖弘		Pentosidine modification of neuronal proteins induces dendritic spine enlargement in vitro. (Azuna Ozawa,Kazuya Toriumi,Tadayuki Shimada,Akinori Endo,Takuya Tomita,Seiichi Munesue,Yasufumi Tomita,Hidetoshi Takagi,Isabella Supardi Parida,Mitsuhiro Miyashita,Reiko Inagi,Masanari Itokawa,Yasuhiko Yamamoto,Yasushi Saeki,Makoto Arai)	Biochemical and biophysical research communications	2025年12月
		Structural alteration of neurons in schizophrenia and its relation with auditory hallucination. (Ryuta Mizutani,Rino Saiga,Yoshiro Yamamoto,Chie Inomoto,Hiroshi Kajiwara,Yu Kakimoto,Masahiro Yasutake,Masayuki Uesugi,Akihisa Takeuchi,Kentaro Uesugi,Yasuko Terada,Yoshio Suzuki,Viktor Nikitin,Francesco De Carlo,Youta Torii,Itaru Kushima,Norio Ozaki,Shuji Iritani,Makoto Arai,Ken-Ichi Oshima,Masanari Itokawa)	European psychiatry : the journal of the Association of European Psychiatrists	2026年2月
		後期高齢者の生活機能と利用する健康・医療情報源との関係 / 荻原牧子,川原靖弘	老年社会科学	2025年4月
		Effective Social Support to Enable Older Adults Living Alone in Japan to Continue Living at Home (NaoeM.,KawaharaY.)	Environ. Res. Public Health	2025年7月
関根 紀子		Effects of generic medical communication training on physiotherapy students' ability to communicate in movement-based clinical scenarios: a cross-sectional study (Yukiko Yanase,Saki Hiragi,Yasuhiro Kawahara)	BMC Medical Education	2026年1月
		Short-Term Neuromuscular Electrical Stimulation for Muscle Atrophy and Weakness: A Randomized Controlled Trial (Ayuna Hasegawa,Noriko Ichinoseki-Sekine)	Exercise, Sport and Movement	2025年12月
戸ヶ里 泰典		HIVパブリックスティグマ尺度日本語版の開発とスティグマモデルのHIV/AIDS領域への適用可能性 / 戸ヶ里泰典,井上洋士,阿部桜子	日本エイズ学会誌	2025年8月
		Health literacy in people living with Parkinson's disease in relation to self-management and health-related quality of life (Keisuke KAWAMURA,Taisuke TOGARI)	Japanese Journal of Health and Human Ecology	2025年9月
奈良 由美子	山内 豊明	パーキンソン病患者の療養生活への適応及び症状のセルフマネジメント評価尺度の開発 / 川村佳祐,戸ヶ里泰典	日本健康教育学会誌	2025年12月
		Health Literacy, Knowledge of HIV/AIDS, and Public Stigma Among General Citizens of Japan: An Online Cross-Sectional Survey (Taisuke Togari,Yoji Inoue,Sakurako Abe)	Journal of the International Association of Providers of AIDS Care	2026年1月
山内 豊明		ワクチンに関するリスクコミュニケーションを考える	公衆衛生	2025年10月
		Teaching Style and Educational Philosophy in Japan: Relationship and Validation of a Teaching Style Typology (Fumiko Yoshida,Gary J. Conti,Toyooki Yamauchi,Misa Kawanishi)	Journal of Education and Learning	2025年7月
		Validation of the Japanese version of the quality of life in life threatening illness- family carer version scale for caregivers of home-based patients with amyotrophic lateral sclerosis: A cross-sectional study (Kumi Uchiyama,Toyooki Yamauchi,Rie Hara)	Medicine	2025年10月
		教員が示す「充実した看護学実習カンファレンス」を構成する要素 - デルファイ法を用いた調査研究- / 渡邊佳奈,山内豊明	ヒューマンケア研究学会誌	2026年2月
山内 豊明		ICT を活用したWeb 上で呼吸音聴診教育ができるバーチャルシミュレータとインタラクティブトレーニングの開発と試行調査 / 後藤妃佐絵,三苫 里香,山内 豊明	ヒューマンケア研究学会誌	2026年2月

2025年度研究成果の発表・普及【論文】

所 属	氏 名	論文名、共著者	発表媒体等	発表(出版)年月
心理と教育	小林 祐紀	適応学習教材を用いた復習における学力層別の学習効果 / 津下哲也,佐藤幸江,小林祐紀,中川一史	AI時代の教育学会誌	2025年6月
		小中学校の校務におけるチャットツールの機能に対する認識 -Google Chat の各機能の認知度と校務における活用イメージに着目して / 黒羽 諒,富樫 大輔,小林 祐紀	AI時代の教育学会誌	2025年8月
		デジタル教科書の活用を学校研究に位置づけた小学校における教員の学習指導の特徴 -学習者主体の授業づくりに向けた校内研修を通して- / 小林祐紀,小内慶太	未来を拓く教育実践学研究	2025年12月
	進藤 聡彦	「思考力・判断力・表現力」を捉える教育心理学の視点 -「思考力」の育成と評価に焦点を当てて- / 楠見 孝,工藤 与志文,南風原 朝和,小林 一人,進藤 聡彦	教育心理学年報	2025年9月
		価格の規定因に関する不十分・不適切な認識と「知識操作」による改善 / 進藤聡彦,佐藤誠子,舩田弘子,工藤与志文	教授学習心理学研究	2025年10月
		「テキストからの学習」の結果は「講義からの学習」において再現されるかー学習方式の違いが課題解決に及ぼす影響ー / 工藤与志文,佐藤誠子,進藤聡彦	教授学習心理学研究	2025年10月
	高梨 利恵子	【痛み-脳-こころ Revisited】慢性疼痛とうつ不安,発達特性 認知行動療法の観点から / 田口 佳代子,高梨 利恵子,清水 栄司	精神医学	2025年8月
	中島 正雄	2024年度における学生相談界の動向	学生相談研究	2025年7月
	橋本 鉦市	職場内スーパーヴィジョンによる学生相談カウンセラーの成長プロセス / 中島正雄,吉武清貴,池田忠義,小島奈々恵,安保英勇,上埜高志	東北大学学生相談・特別支援センター年報	2025年10月
		実務家教員養成課程の学びとその成果ー養成と採用に着目してー / 日下田岳史,谷村 英洋,小島 佐恵子,橋本 鉦市	大学改革・学位研究	2026年1月
社会と産業	川出 良枝	Navigating Patriotism and Cosmopolitanism: Jean-Jacques Rousseau and Four Types of French Cosmopolitan Ideals in the Eighteenth Century (Yoshie Kawade)	History of European Ideas	2025年11月
		The Structure of Liberty in Montesquieu and Adam Smith (Yoshie Kawade)	Social Philosophy and Policy	2025年12月
	松井 美樹	Supply chain quality management and the triple bottom line: underlying relationship in a developing country (Minh Hue Nguyen,Anh Chi Phan,Yoshiki Matsui)	International Journal of Process Management and Benchmarking	2025年5月
		Rethinking creativity in professional football through organizational culture and belonging (Ha Thu Nguyen,Anh Chi Phan,Thuy Dam Luong Hoang,Quy Ngoc Nguyen,Yoshiki Matsui)	Discover Sustainability	2025年11月
		Unveiling the impact of cross-functionality and the fuzzy front end on performance outcomes (Ngoc-Anh Duong,Ryuichi Nakamoto,Anh Chi Phan,Ha Thu Nguyen,Yoshiki Matsui)	Journal of Advances in Management Research	2025年12月
	李 鳴	How soft TQM practices and IT adoption improve business performance in hotel service: Empirical evidence from developing countries (Chi Anh Phan,Thu Ha Nguyen,Hao Anh Nguyen,Truong Trong Hoang,Yoshiki Matsui)	E&M Economics and Management	2026年3月
		不正会計企業が発行する有価証券報告書の可読性に関する考察 - 経営者の問題行動が引き起こす非生産的職務行動 - / 中石昭夫,松井美樹	日本経営倫理学会誌	2026年3月
		他人の生命の共済契約における告知義務違反の主体	保険事例研究会レポート	2025年10月
	河原 温	特別条件決定後の承諾前死亡と保険契約の成立	法学研究『下級審商事判例評釈』第11巻（平成21年ー25年）	2025年10月
		第三者の故意による保険事故の招致と保険者の免責	法学研究『下級審商事判例評釈』第11巻（平成21年ー25年）	2025年10月
人間と文化	河原 温	告知義務および告知義務違反による解除をめぐる裁判例・学説の動向	法学研究	2026年1月
	小二田 章	都市と聖人崇敬ー中世ブルッヘの場合ー	聖人崇敬の歴史	2025年5月
情報	青木 久美子	抄本『咸淳臨安志』的抄者盧文昭和“宋代”	『宋学研究』	2025年6月
	加藤 浩	AIが拓く異文化間教育の未来ー教育現場におけるAI活用の可能性と課題ー	異文化間教育	2025年9月
芝崎 順司	鈴木 一史	大学の同期型ハイブリッド授業におけるオンライン受講の選択要因に関する検証 / 伏木田 稚子,大浦 弘樹,光永 文彦,吉川 遼,加藤 浩	学術情報処理研究	2025年11月
		ブレッドボード回路実装実験における 生成 AI を活用した実験スキル向上支援 / 森川一,三井聡,芝崎順司	工学教育	2026年1月
辻 靖彦	中川 一史	蛋白質立体構造の窪みに充填した球を用いた化合物構築手法の提案 / 岩瀬一彦,柳沼良知,鈴木一史	情報処理学会論文誌 ISSN:1882-7764	2025年11月
		コロナ禍におけるICTの強制的な利用が大学教員の認識と継続利用に与えた影響 / 田口 真奈,高比良 美詠子,稲葉 利江子,辻 靖彦	日本教育工学会論文誌	2025年10月
中谷 多哉子	仁科 エミ	コロナ禍前後の6時点における大学教員の授業形式別ICT利用量の変化 / 辻 靖彦,高比良美詠子,稲葉利江子,田口真奈	日本教育工学会論文誌	2025年12月
		Development and Initial Evaluation of an iOS Application for Real-Time Sound Visualization in Instrument Practice (Daisuke KANEKO,Megumi KURAYAMA,Hisayoshi KUNIMUNE,Takeshi MORISHITA,Tatsuki YAMAMOTO,Yasuhiko TSUJI)	Proceeding of Hawaii International Conference on Education, the 24th Annual Conference	2026年1月
中谷 多哉子	仁科 エミ	Examination of Factors Related to University Faculty Members' Willingness to Conduct Online Classes After the COVID-19 Pandemic (Yasuhiko Tsuji,Mieko Takahira,Rieko Inaba,Mana Taguchi)	Proceeding of Hawaii International Conference on Education, the 24th Annual Conference	2026年1月
		適応学習教材を用いた復習における学力層別の学習効果 / 津下哲也,佐藤幸江,小林祐紀,中川一史	AI時代の教育学会誌	2025年6月
仁科 エミ		後方追跡に基づくSRSとStRSの間の一貫性を向上させるための手法の提案 / 小林百恵,中谷多哉子	Proc. of the International Conference on AI-empowered Software Engineering – AIESE 2024	2025年10月
		Enhancing the regulatory function of the autonomic nervous system using sounds with inaudible high-frequency components (Koto Jogasaki,Norie Kawai,Emi Nishina,Manabu Honda)	Scientific Reports	2025年7月

2025年度研究成果の発表・普及【論文】

所 属	氏 名	論文名、共著者	発表媒体等	発表(出版)年月	
情報	平岡 斉士	DIRECTION FOR IMPROVING A PORTFOLIO SYSTEM FOCUSED ON THE READINGS AND EXPERIENCES FOR LIFELONG LEARNING (Naoshi Hiraoka,Chikako Nagaoka,Michiaki Omura)	EDULEARN Proceedings	2025年6月	
		救急初療看護の症例基盤型学習の「足場かけ」と「足場はずし」の設計と学習効果の検証 / 増山純二,都竹茂樹,戸田真志,平岡斉士,鈴木克明	医療職の能力開発	2025年6月	
		デザイン・コンペティションを活用した授業の設計と実践——デザイナー志望学生向けのメディア・情報デザイン分野での事例—— / 山本 文枝,久保田 真一郎,松葉 龍一,平岡 斉士,中野 裕司	教育システム情報学会誌	2026年1月	
		BEYOND PASSIVE DATA ACCUMULATION: DESIGNING AN AI-ASSISTED EPORTFOLIO FOR SUSTAINABLE REFLECTION AND LIFELONG KNOWLEDGE RESTRUCTURING (R.Matsuba,M.Omura,T. Nagai,A.Kai,S.I.Kubota,Y.Suzuki,N.Hiraoka)	INTED2026 Proceedings	2026年3月	
	柳沼 良知	A Method for Converting Lecture Videos into Microcontents and Visualizing Them (Masako Furukawa,Yoshitomo Yaginuma)	IIAI Letters on Informatics and Interdisciplinary Research, vol.6	2025年10月	
		蛋白質立体構造の窪みに充填した球を用いた化合物構築手法の提案 / 岩瀬一彦,柳沼良知,鈴木一史	情報処理学会論文誌	2025年11月	
	自然と環境	大森 聡一	富士山南東麓の地下水流動機構に関する研究: 水質に着目して / 神鳥徹也,松山洋,大森聡一	水文・水資源学会誌 38(4) 279-289	2025年11月
	飯田 圭	Tripling Fluctuations and Peaked Sound Speed in Fermionic Matter (Hiroyuki Tajima,Kei Iida,Toru Kojo,Haozhao Liang)	Physical Review Letters	2025年7月	
		Tunable Fujita-Miyazawa-type three-body force in ultracold atoms (Hiroyuki Tajima,Eiji Nakano,Kei Iida)	PHYSICAL REVIEW A	2026年1月	
	加藤 和弘	Urbanization made rivers as important movement corridors for waterbird species, Black-headed Gulls (Shiori Takeshige,Yusuke Sawa,Kazuhiro Katoh)	Landscape and Ecological Engineering	2025年6月	
		Fostering Students' Awareness and Attitudes toward River Environments: Development of a Diatom-Based Educational Program (MayamaS.,Satom iK.,KatohK.,KarthickB.,JuliusM. L.,OmoriH.,Saito-KatoM.)	Asian Journal of Biology Education,	2025年7月	
	岸根 順一郎	Electron-Chiral Phonon Coupling, Crystal Angular Momentum, and Phonon Chirality (Tomomi Tateishi,Akihito Kato,Jun-ichiro Kishine)	Journal of the Physical Society of Japan	2025年5月	
		Whitham's theory of envelope solitary waves in a monoaxial chiral helimagnet (I. G. Bostrem, A. S. Ovchinnikov, M. S. Malyutin, E. G. Ekomasov, J. Kishine)	PHYSICAL REVIEW B	2025年12月	
	二河 成男	Defensive fungal symbiosis on insect hindlegs. (Takanori Nishino,Minoru Moriyama,Hiromi Mukai,Masahiko Tanahashi,Takahiro Hosokawa,Hsin-Yi Chang,Shuji Tachikawa,Naruo Nikoh,Ryuichi Koga,Chih-Horng Kuo,Takema Fukatsu)	Science (New York, N.Y.)	2025年10月	
		Tryptophanase disruption promotes insect-bacterium mutualism (Yayun Wang,Minoru Moriyama,Ryuichi Koga,Kohei Oguchi,Takahiro Hosokawa,Hiroki Takai,Shuji Shigenobu,Naruo Nikoh,Takema Fukatsu)	Nature Microbiology	2026年2月	
	安池 智一	金属表面で変化する分子のポテンシャルエネルギー面とダイナミクス	表面と真空	2025年10月	
		グラフェンに担持した金属のプラズモン光学応答 / 渡邊一也,安池智一	表面と真空	2025年11月	
		Oleic Acid Transfer from Oil to Water as a Perspective of Water-Dispersible Corrosion Inhibitor (Susumu Hirano,Tatsuya Sei,Midori Kawasaki,Machie Otsuka,Tomokazu Yasuike)	Corrosion	2025年11月	
	群馬SC	工藤 貴子	Theoretical Study of Si/C Alternately Substituted Annulenes with a Belt Structure (T. Kudo,K.N.Ferreras,T. Nakamura,A. Imanishi,R. Ikutomo,M.S. Gordon)	Physical Chemistry Chemical Physics	2025年12月
	埼玉SC	川又 伸彦	「憲法異議」という名称について	『もう一つの憲法学 Ⅲ』信山社 433-453	2026年3月
	東京渋谷SC	植松 友彦	個別系列の無歪み符号化	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ Fundamentals Review	2025年10月
	新潟SC	大原 謙一	Search for Continuous Gravitational Waves from Known Pulsars in the First Part of the Fourth LIGO-Virgo-KAGRA Observing Run (A. G. Abac,R. Abbott,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,S. Adhicary,N. Adhikari,R. X. Adhikari,V. K. Adkins,D. Agarwal,M. Agathos,M. Aghaei Abchouyeh,O. D. Aguiar,I. Aguilar,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,T. Akutsu,S. Albanesi,R. A. Alfaidi,A. Al-Jodah,C. Alléné,A. Allocca,S. Al-Shammari,P. A. Altin et al.)	The Astrophysical Journal	2025年4月
			Search for Gravitational Waves Emitted from SN 2023ixf (A. G. Abac,R. Abbott,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,S. Adhicary,N. Adhikari,R. X. Adhikari,V. K. Adkins,D. Agarwal,M. Agathos,M. Aghaei Abchouyeh,O. D. Aguiar,I. Aguilar,L. Aiello,A. Ain,T. Akutsu,S. Albanesi,R. A. Alfaidi,A. Al-Jodah,C. Alléné,A. Allocca,S. Al-Shammari,P. A. Altin,S. Alvarez-Lopez et al.)	The Astrophysical Journal	2025年5月
GW250114: Testing Hawking's Area Law and the Kerr Nature of Black Holes (A. G. Abac,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,C. Adamcewicz,S. Adhicary,D. Adhikari,N. Adhikari,R.X. Adhikari,V.K. Adkins,S. Afroz,A. Agapito,D. Agarwal,M. Agathos,N. Aggarwal,S. Aggarwal,O. D. Aguiar,I.-L. Ahrend,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,T. Akutsu,S. Al-Kershí,S. Al-Shammari,S. Albanesi et al.)			Physical Review Letters	2025年9月	
GW231123: A Binary Black Hole Merger with Total Mass 190–265 $M_{\odot}$ (A. G. Abac,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,C. Adamcewicz,S. Adhicary,D. Adhikari,N. Adhikari,R. X. Adhikari,V. K. Adkins,S. Afroz,A. Agapito,D. Agarwal,M. Agathos,N. Aggarwal,S. Aggarwal,O. D. Aguiar,I.-L. Ahrend,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,T. Akutsu,S. Albanesi,W. Ali,S. Al-Kershí et al.)			The Astrophysical Journal Letters	2025年10月	
GW241011 and GW241110: Exploring Binary Formation and Fundamental Physics with Asymmetric, High-spin Black Hole Coalescences (A. G. Abac,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,C. Adamcewicz,S. Adhicary,D. Adhikari,N. Adhikari,R. X. Adhikari,V. K. Adkins,S. Afroz,A. Agapito,D. Agarwal,M. Agathos,N. Aggarwal,S. Aggarwal,O. D. Aguiar,I.-L. Ahrend,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,T. Akutsu,S. Albanesi,W. Ali,S. Al-Kershí et al.)			The Astrophysical Journal Letters	2025年10月	
Tests of general relativity with GWTC-3 (R. Abbott,H. Abe,F. Acernese,K. Ackley,N. Adhikari,R.X. Adhikari,V.K. Adkins,V.B. Adya,C. Affeldt,D. Agarwal,M. Agathos,K. Agatsuma,N. Aggarwal,O.D. Aguiar,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,T. Akutsu,P.F. de Alarcón,S. Albanesi,R.A. Alfaidi,A. Allocca,P.A. Altin,A. Amato,C. Anand et al.)			Physical Review D	2025年10月	
2025年度研究成果の発表・普及【論文】	新潟SC	大原 謙一	All-sky search for short gravitational-wave bursts in the first part of the fourth LIGO-Virgo-KAGRA observing run(A. G. Abac,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,C. Adamcewicz,S. Adhicary,D. Adhikari,N. Adhikari,R. X. Adhikari,V. K. Adkins, S. Afroz,A. Agapito,D. Agarwal,M. Agathos,N. Aggarwal,S. Aggarwal,O. D. Aguiar,I.-L. Ahrend,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,T. Akutsu,S. Albanesi,W. Ali,S. Al-Kershí et al.)	Physical Review D	2025年11月
			GWTC-4.0: An Introduction to Version 4.0 of the Gravitational-Wave Transient Catalog (A. G. Abac,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,S. Adhicary,D. Adhikari,N. Adhikari,R. X. Adhikari,V. K. Adkins,S. Afroz,D. Agarwal,M. Agathos,M. Aghaei Abchouyeh,O. D. Aguiar,S. Ahmadzadeh,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,S. Akcay,T. Akutsu,S. Albanesi,R. A. Alfaidi,A. Al-Jodah,C. Alléné,A. Allocca et al.)	The Astrophysical Journal Letters	2025年12月
			Black Hole Spectroscopy and Tests of General Relativity with GW250114 (A. G. Abac,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,C. Adamcewicz,S. Adhicary,D. Adhikari,N. Adhikari,R.X. Adhikari,V. K. Adkins, S. Afroz,A. Agapito,D. Agarwal,M. Agathos,N. Aggarwal,S. Aggarwal,O. D. Aguiar,I.-L. Ahrend,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,T. Akutsu,S. Albanesi,W. Ali,S. Al-Kershí et al.)	Physical Review Letters	2026年1月
			Equine herpesvirus myeloencephalopathy-related mutations in EHV-1 DNA polymerase allow EHV-1 to grow at elevated temperatures (Noriko Fukushima,Rikio Kirisawa,Fuka Nishimura,Koji Tsujimura,Hidetō Fukushi)	biorxiv	2025年8月
	岐阜SC	福士 秀人	Isolation of "pigeon-type" Chlamydia psittaci and detection of Chlamydia-related bacteria in Indian ring-necked parakeets (Psittacula krameri manillensis) in introduced flocks in urban area of Japan (Yukiko Sassa-O'Brien,Chien-Fu Wu,Satomi Matsunaga,Kenji Ohya,Hidetō Fukushi)	Veterinary Microbiology	2025年10月
			Mechanism of action of L-theanine on cerebellar granule cell migration via signaling pathways (Mai Ibrahim,Kenji Kuriya,Hayato Umekawa,Masahiro Nishio)	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry	2025年11月
	三重SC	梅川 逸人	Effect of L-theanine on cerebellar granule cell migration related to cognitive disorders (Mai Ibrahim,Matsuda Tomoko,Kuriya Kenji,Ōzeki Makoto,Abe Aya,Hayato Umekawa,Masahiro Nishio)	IBRO Neuroscience Reports	2025年12月
			Effects of autumn coloration of <i>Acer palmatum</i> leaves on their polyphenolic components and antioxidant activity (Kenji Kuriya,Shiho Matsuura,Shunto Araga,Yuichi Masuda,Masahiro Nishio,Hayato Umekawa)	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry	2026年1月
	京都SC	玉田 芳史	政党の攻防：大学、裁判、上院	タイ国情報	2025年5月
	兵庫SC	岡田 修一	Physical Activity Components that Determine Daily Life Satisfaction Among Older Adults: An Intensive Longitudinal Diary Study (Kazuhiro Harada,Kouhei Masumoto,Shuichi Okada)	International Journal of Behavioral Medicine	2025年10月
			清初における歸有光「愚子亭記」の受容——計東『甫草愚子亭卷子』が果たした役割	日本中國學會報	2025年10月
	奈良SC	野村 鮎子	Occurrence and characterization of vitamin B12 compounds in traditional Japanese sweet "kuzu-mochi" made from fermented wheat starch. (Fumio Watanabe,Kyohei Koseki,Tomohiro Bito)	Bioscience, biotechnology, and Biochemistry	2025年7月
	鳥取SC	渡邊 文雄	Quantification of total vitamin B12 and identification of vitamin B12 compounds in commercial fermented tofu (furu) products. (Kondo H.,Iino S.,Fukuda T.,Aoki M.,Yoshimura Y.,Isobe N.,Nii T.)	Poultry Science	2025年7月
			Effects of Aging on the Microbiota and Inflammatory Status of the Intestinal and Oviductal Mucosa in Laying Hens (Takahiro Nii,Takumi Sugiura,Naoki Suzuki,Naoki Isobe,Yukinori Yoshimura)	Journal of Poultry Science	2025年7月
			Unique Physiological Mechanisms of Sperm Storage and Prolonged Sperm Survival in Hen Oviducts: A Review (Yukinori Yoshimura,Takahiro Nii,Naoki Isobe)	The Journal of Poultry Science	2025年10月
			An Implementation of Delay Testable Boundary Scan and Post-Bond Test Results in a 3D IC (Hiroyuki Yotsuyanagi,Keigo Takami,Masaki Hashizume)	IEEE Journal on Emerging and Selected Topics in Circuits and Systems	2025年9月
			Temperature Dependence of Threshold Voltage for Interconnect IDDQ Testing in 3D Stacked ICs Using an Offset-Cancellation-Type Comparator (Haruto Ohmori,Masaki Hashizume,Fara Ashikin Binti Ali,Shyue-Kung Lu,Hiroyuki Yotsuyanagi)	2025 IEEE Electrical Design of Advanced Packaging and Systems (EDAPS)	2025年12月

2025年度研究成果の発表・普及【論文】

所 属	氏 名	論文名、共著者	発表媒体等	発表(出版)年月
新潟SC	大原 謙一	All-sky search for short gravitational-wave bursts in the first part of the fourth LIGO-Virgo-KAGRA observing run(A. G. Abac,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,C. Adamcewicz,S. Adhicary,D. Adhikari,N. Adhikari,R. X. Adhikari,V. K. Adkins,S. Afroz,A. Agapito,D. Agarwal,M. Agathos,N. Aggarwal,S. Aggarwal,O. D. Aguiar,I.-L. Ahrend,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,T. Akutsu,S. Albanesi,W. Ali,S. Al-Kershí et al.)	Physical Review D	2025年11月
		GWTC-4.0: An Introduction to Version 4.0 of the Gravitational-Wave Transient Catalog (A. G. Abac,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,S. Adhicary,D. Adhikari,N. Adhikari,R. X. Adhikari,V. K. Adkins,S. Afroz,D. Agarwal,M. Agathos,M. Aghaei Abchouyeh,O. D. Aguiar,S. Ahmadzadeh,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,S. Akcay,T. Akutsu,S. Albanesi,R. A. Alfaidi,A. Al-Jodah,C. Alléné,A. Allocca et al.)	The Astrophysical Journal Letters	2025年12月
		Black Hole Spectroscopy and Tests of General Relativity with GW250114 (A. G. Abac,I. Abouelfettouh,F. Acernese,K. Ackley,C. Adamcewicz,S. Adhicary,D. Adhikari,N. Adhikari,R.X. Adhikari,V. K. Adkins, S. Afroz,A. Agapito,D. Agarwal,M. Agathos,N. Aggarwal,S. Aggarwal,O. D. Aguiar,I.-L. Ahrend,L. Aiello,A. Ain,P. Ajith,T. Akutsu,S. Albanesi,W. Ali,S. Al-Kershí et al.)	Physical Review Letters	2026年1月
岐阜SC	福士 秀人	Equine herpesvirus myeloencephalopathy-related mutations in EHV-1 DNA polymerase allow EHV-1 to grow at elevated temperatures (Noriko Fukushima,Rikio Kirisawa,Fuka Nishimura,Koji Tsujimura,Hidetō Fukushi)	biorxiv	2025年8月
		Isolation of "pigeon-type" Chlamydia psittaci and detection of Chlamydia-related bacteria in Indian ring-necked parakeets (Psittacula krameri manillensis) in introduced flocks in urban area of Japan (Yukiko Sassa-O'Brien,Chien-Fu Wu,Satomi Matsunaga,Kenji Ohya,Hidetō Fukushi)	Veterinary Microbiology	2025年10月
三重SC	梅川 逸人	Mechanism of action of L-theanine on cerebellar granule cell migration via signaling pathways (Mai Ibrahim,Kenji Kuriya,Hayato Umekawa,Masahiro Nishio)	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry	2025年11月
		Effect of L-theanine on cerebellar granule cell migration related to cognitive disorders (Mai Ibrahim,Matsuda Tomoko,Kuriya Kenji,Ōzeki Makoto,Abe Aya,Hayato Umekawa,Masahiro Nishio)	IBRO Neuroscience Reports	2025年12月
		Effects of autumn coloration of <i>Acer palmatum</i> leaves on their polyphenolic components and antioxidant activity (Kenji Kuriya,Shiho Matsuura,Shunto Araga,Yuichi Masuda,Masahiro Nishio,Hayato Umekawa)	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry	2026年1月
京都SC	玉田 芳史	政党の攻防：大学、裁判、上院	タイ国情報	2025年5月
兵庫SC	岡田 修一	Physical Activity Components that Determine Daily Life Satisfaction Among Older Adults: An Intensive Longitudinal Diary Study (Kazuhiro Harada,Kouhei Masumoto,Shuichi Okada)	International Journal of Behavioral Medicine	2025年10月
奈良SC	野村 鮎子	清初における歸有光「愚子亭記」の受容——計東『甫草愚子亭卷子』が果たした役割	日本中國學會報	2025年10月
鳥取SC	渡邊 文雄	Occurrence and characterization of vitamin B12 compounds in traditional Japanese sweet "kuzu-mochi" made from fermented wheat starch. (Fumio Watanabe,Kyohei Koseki,Tomohiro Bito)	Bioscience, biotechnology, and Biochemistry	2025年7月
		Quantification of total vitamin B12 and identification of vitamin B12 compounds in commercial fermented tofu (furu) products. (Kyohei Koseki,Sayaka Yasuda,Tomohiro Bito,Fumio Watanabe)	Bioscience, biotechnology, and Biochemistry	2025年12月
		Vitamin B12 compounds in seafood: an update with a focus on traditional byproducts and fermented foods in Japan (Fumio Watanabe,Kyohei Koseki,Tomohiro Bito)	Fisheries Science	2026年3月
島根SC	出口 顕	南アフリカ社会人類学の母(1) / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2025年4月
		南アフリカ社会人類学の母(2) / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2025年5月
		南アフリカ社会人類学の母(3)ー構造主義の方から / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2025年6月
		島か大陸か / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2025年7月
		次の世代--エヴァンズ-ブリチャードとファース(1) / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2025年8月
		エヴァンズ-ブリチャードの「野宴」な経歴---エヴァンズ-ブリチャードとファース(2) / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2025年9月
		対照的背景から対立的立場へ---エヴァンズ-ブリチャードとファース(3) / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2025年10月
		「兄弟のー団」の亀裂--エヴァンズ-ブリチャードとファース(4) / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2025年11月
		統合と分裂 / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2025年12月
		破壊分子としての社会人類学者 / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2026年1月
エヴァンズ-ブリチャードとベルクソンが語る「未開心性」 / 出口顕	ミネルヴァ通信「究」	2026年3月		
広島SC	吉村 幸則	Time-course analysis of the effect of paraprobiotics ABG0050 on the intestinal immune system of broilers. (Kondo H.,Iino S.,Fukuda T.,Aoki M.,Yoshimura Y.,Isobe N.,Nii T.)	Poultry Science	2025年7月
		Effects of Aging on the Microbiota and Inflammatory Status of the Intestinal and Oviductal Mucosa in Laying Hens (Takahiro Nii,Takumi Sugiura,Naoki Suzuki,Naoki Isobe,Yukinori Yoshimura)	Journal of Poultry Science	2025年7月
		Unique Physiological Mechanisms of Sperm Storage and Prolonged Sperm Survival in Hen Oviducts: A Review (Yukinori Yoshimura,Takahiro Nii,Naoki Isobe)	The Journal of Poultry Science	2025年10月
徳島SC	橋爪 正樹	An Implementation of Delay Testable Boundary Scan and Post-Bond Test Results in a 3D IC (Hiroyuki Yotsuyanagi,Keigo Takami,Masaki Hashizume)	IEEE Journal on Emerging and Selected Topics in Circuits and Systems	2025年9月
		Temperature Dependence of Threshold Voltage for Interconnect IDDQ Testing in 3D Stacked ICs Using an Offset-Cancellation-Type Comparator (Haruto Ohmori,Masaki Hashizume,Fara Ashikin Binti Ali,Shyue-Kung Lu,Hiroyuki Yotsuyanagi)	2025 IEEE Electrical Design of Advanced Packaging and Systems (EDAPS)	2025年12月
福岡SC	久枝 良雄	Bright Tetra-BF2 Mechanophores in Elastomers: Reversible Bent-to-Planar Transitions and Mechanochromic Response (Momoka Maeda,Luxia Cui,Ayano Tani,Hyuga Shinjo,Yoshifumi Amamoto,Takumi Ehara,Kiyoshi Miyata,Ken Onda,Yoshio Hisaeda,Yu Hoshino,Toshikazu Ono)	ChemRxiv	2025年9月
長崎SC	山下 敬彦	Analysis of Ozone Decomposition Rate for Evaluating Surface Partial Discharge Activities in Large-Scale Industrial Motors (Tomohiro Furusato,Koki Matano,Tetsushi Okamoto,Ryuji Ikeda,Takuro Yamada,Takahiko Yamashita)	IEEE TRANSACTIONS ON DIELECTRICS AND ELECTRICAL INSULATION	2025年12月
沖縄SC	和田 浩二	Volatile Organic Components and MS-e-nose Profiles of Indonesian and Malaysian Palm Sugars from Different Plant Origins (Aldia Katherinatama,Yonathan Asikin,Ryo Amano,Siti Hajar-Azhari,David Yudianto,Dhina Aprilia Nurani Widyahapsari,I Wayan Rai Widarta,Kensaku Takara,Koji Wada)	Chemosensors	2025年4月
		The Effect of Raw Sugar Addition on Flavor and Retronasal Olfaction Profiles of Processed Brown Sugar. (Yonathan Asikin,Yuki Nakaza,Moena Oe,Eriko Arakaki,Goki Maeda,Hirota Kaneda,Kensaku Takara,Koji Wada)	Foods (Basel, Switzerland)	2025年4月
		Determination of sotolon, sotolon precursors, and minerals in Okinawan awamori (Kensaku Takara,Azusa Soga,Kotomi Irei,Shunpei Toguchi,Yonathan Asikin,Koji Wada)	Food Science and Technology Research	2025年5月

研究成果の発表・普及【講演・口頭発表等】

2025年度研究成果の発表・普及【講演・口頭発表等】				
所 属	氏 名	テーマ、共著者	主催等	開催年月日
生活と福祉	朝倉 富子	塩味伝達機構の解明と新規塩味関連分子	第29回 cQUEST セミナー(千葉大セミナー)	2025年8月19日
		ヒトの塩味感覚における塩化物イオンの寄与 / 村田百, 中貝美玖, 笠原洋一, 斉藤芳和, 林由佳子, 朝倉富子, 成川真隆	第 72 回日本食品科学工学会	2025年8月29日
		Workshop 6: Quality of Life: Food and Wellbeing Solutions for the Elderly (チリ・日本学術フォーラム), "Taste research to address excessive salt intake" (Tomiko Asakura,Yoichi Kasahara)	Chile-Japan Academic Forum in Kyoto	2025年10月1日
		食と健康～高齢社会の食と味覚	放送大学新潟学習センター公開講演会	2025年10月5日
		咀嚼・嚥下時の脳波による食品の嗜好性評価の検討 / 梅谷 華奈, 井上竜一, 朝倉 富子, 上田 玲子, 亀井 飛鳥, 三坂 巧	日本農芸化学会 2026 年度大会 同志社大学 (京都)	2026年3月10日
		TMC4 はマウスの味蕾において複数の味細胞型に発現する / 村田 百, 斉藤 芳和, 笠原 洋一, 藤井 涉, 三坂 巧, 朝倉 富子, 成川 真隆	日本農芸化学会 2026 年度大会 同志社大学 (京都)	2026年3月11日
		高濃度塩味受容に関与する TMC4 の機能解析と塩味増強物質の評価 / 笠原 洋一, 朝倉 富子, 斉藤 芳和, 成川 真隆	日本農芸化学会 2026 年度大会 同志社大学 (京都)	2026年3月11日
		乾燥ストレス下におけるトマト葉と果実の遺伝子発現の差異 / 朝倉 浩子, 田村 倫子, 朝倉 富子	日本農芸化学会 2026 年度大会 同志社大学 (京都)	2026年3月12日
		大豆由来 miRNA gma-miR4355 によるヒト結腸直腸癌細胞の増殖抑制とアポトーシス誘導 / 齊藤 芳和, 豊田 哲彰, 朝倉 富子	日本農芸化学会 2026 年度大会 同志社大学 (京都)	2026年3月12日
		地域在住中高年者における習慣的な歩行時間に関わる要因 / 五十嵐祐介, 井出訓	第 44 回 関東甲信越ブロック理学療法士学会	2025年11月16日
川島 聡	井出 訓	Some of the Challenges in Legal Advocacy for Disability Rights in Japan	Disability Rights Across the Lifespans in East Asian Democracies (George Washington University)	2025年4月11日
		障害とは何か、差別とは何か	岐阜美術館	2025年6月28日
		障害のある人の人権問題～特に障害者差別の解消について～	第 106 回法務局・地方法務局職員専門科 (人権) 研修	2025年7月9日
		障害学生支援 e-learning コンソーシアムの取組ー差別解消法の理解度テストー / 佐々木銀河, 村田淳, 竹田一則, 近藤武夫, 森千夏, 横井美緒, 川島聡	AHEAD JAPAN CONFERENCE 2025 (第 11 回全国大会)	2025年9月4日
		放送大学における障害学生支援の現状と課題 / 近紀子, 高里英江, 角田哲哉, 川島聡 (放送大学障がいに関する学生支援相談室)	AHEAD JAPAN CONFERENCE 2025 (第 11 回全国大会)	2025年9月4日
		「建設的対話」と「コンフリクト」について話してみる時間 / 村田淳, 川島聡	AHEAD JAPAN CONFERENCE 2025 (第 11 回全国大会)	2025年9月4日
		障害学生支援と障害者差別解消法	名城大学	2025年9月10日
		障害学生支援と差別禁止	流通経済大学	2025年9月16日
		職場での合理的配慮	日本生命保険相互会社	2025年11月7日
		市職員が知っておくべき障害者差別解消法のポイント	岡山市市民協働局市民協働部人権推進課	2025年11月13日
川原 靖弘	戸ヶ里 泰典	禁止される差別とは何か～「第三次まとめ」を踏まえて～	日本学生支援機構「令和7年度障害者差別解消法に関する理解・啓発セミナー (実践編)」	2025年11月18日
		事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供について	四国経済産業局令和7年度「人権教育・啓発活動支援委託事業」企業向け人権講演会 (高知市)	2025年12月8日
		社会通念としての健常者中心主義 (エイブリズム)	文部科学省「令和7年度 障害者理解の増進に関する研修」	2026年1月27日
		高等教育機関における合理的配慮の正しい理解ー改正差別解消法を踏まえて法学の視点からー	西九州大学	2026年1月29日
		パネルディスカッション「ビジネスと人権は当事者の課題にどう切り込めるか ～女性、子ども、LGBT、障害者、先住民族の視点から」『ビジネスと人権：政府・企業・ステークホルダーにとっての実効性』(オンラインセミナー) / 近江美保, 谷口洋幸, 岩附由香, 川島聡, 小坂田裕子	ヒューライツ大阪	2026年2月20日
		障害のある人への差別の解消をめぐる	高知市市民協働部 人権同和・男女共同参画課	2026年2月25日
		合理的配慮における「建設的対話」と「紛争」にどう向き合うか	成蹊大学	2026年3月11日
		後期高齢者はなぜ健康診査(健診)を受診するのか? なぜしないのか? / 荻原牧子, 川原靖弘, 酒井美保, 伊藤力, 高崎智行, 山田則子	日本老年社会科学会第 67 回大会	2025年6月29日
		Sustainable Life and Digital Asset: A Self-Sovereign Framework for Traceable and Incentivized Environmental Actions through Decentralized Tokens and Re-experienceable Civic Engagement (Junichi Suzuki,Yuki Minoda,Motoki Kodama,Theodore Achtem,Yasuhiro Kawahara)	SGEM International Scientific Conference on Earth & Planetary Sciences, Extended Scientific Sessions "Green Sciences for Green Life"	2025年12月3日
		乳児における Optical flow を用いた這う動作誘発への挑戦 / 細田 里南, 小田 翔太, 川原 靖弘†, 望月 典樹	HCG シンポジウム 2025	2025年12月11日
奈良 由美子	松井 美樹	人馬の関係構築はいかにして可能になるのか / 永田佳子, 川原靖弘	ヒトと動物の関係学会第 32 回学術大会	2026年3月14日
		ダイナミックな深部脳活動に基づく咀嚼認知機能に及ぼす効果 / 友田崇朗, 川原靖弘, 今井絵美子, 片桐祥雅	第 28 回日本ヒト脳マッピング学会	2026年3月20日
		経皮迷走神経刺激による深部脳活性化法の提案と検証 / 川原靖弘, 今井絵美子, 友田崇朗, 植村真帆, 片桐祥雅	第 28 回日本ヒト脳マッピング学会	2026年3月21日
		モノアミン神経系活動の終末糖化産物抑制効果 / 矢野美紀, 川原靖弘, 今井絵美子, 植村真帆, 片桐祥雅	第 28 回日本ヒト脳マッピング学会	2026年3月21日
		What promotes psychological and spiritual growth among PLWH, and what health outcomes does it bring? (Taisuke Togari,Yoji Inoue,Gaku Oshima,Sakurako Abe,Rikuya Hosokawa,Yosuke Takaku)	25th IUHPE World Conference on Health Promotion	2025年5月13日
		看護小規模多機能型居宅介護で看取りを希望した高齢者の死亡前 1 か月以降の看護ケア 看護師対象のフォーカスグループディスカッションの質的分析 / 山田正己, 戸ヶ里泰典	日本老年看護学会第 30 回学術集会	2025年6月28日
		リスクコミュニケーション総論ーワークチンとリスクコミュニケーションを考える基層としてー	第 40 回 日本環境感染学会総会・学術集会	2025年7月12日
		ネクストパンデミックを見据えて 都民に届く広報とはーリスクコミュニケーションの基礎ー	東京感染症対策センター (東京 iCDC) 職員向けオンラインセミナー	2025年10月27日
		東京都における新型コロナの後遺症に係る普及啓発の実施状況とその考察 / 古川恵, 小坂健, 立石清一郎, 土田知也, 花木秀明, 平畑光一, 堀越裕歩, 森岡慎一郎, 井上陽子, 奈良由美子, 賀来満夫, 西塚至, 成田友代	第 84 回日本公衆衛生学会総会	2025年10月29日

2025年度研究成果の発表・普及【講演・口頭発表等】				
所 属	氏 名	テーマ、共著者	主催等	開催年月日
生活と福祉	山内 豊明	リスクコミュニケーションの基本と要点ー感染症危機におけるリスクコミュニケーションの実際をふまえてー	滋賀県 感染症危機に備えるリスクコミュニケーション研修会	2025年11月10日
		リスクコミュニケーションの基本と要点	東京都病院協会 令和7年度 幹部職員セミナー	2025年12月12日
		科学的知見を政策に反映するために	JST-RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学」研究開発プログラム 最終シンポジウム	2025年12月15日
		リスクコミュニケーションの基本と要点	国立健康危機管理研究機構 感染症危機管理リーダーシップ研修	2025年12月18日
		平時のリスクコミュニケーションー平時の取組が有事への即応につながるー	東京感染症対策センター (iCDC) フォーラム	2026年1月25日
		感染症対策におけるリスクコミュニケーション	日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師講習会	2026年1月31日
		次の感染症危機への備えとしてのリスクコミュニケーションの重要性	内閣感染症危機管理統括庁主催シンポジウム	2026年2月9日
		リスクコミュニケーションの基本と実際	札幌市 感染症危機に備えた職域応援職員研修会	2026年2月20日
		A Survey of the Efforts of New Nursing Faculty Members to Develop Educational Competence (NAKAGAWA Nahoko,YAMAUCHI Toyoaki)	The 2nd International Nursing Research Conference "Future Nursing and Innovation for Sustainable Global Health"	2025年12月2日
		呼吸音聴診教育のためのバーチャルシミュレータおよび双方向性インタラクティブトレーナの開発と試行調査 / 山内豊明, 後藤妃佐絵, 三笠里香	第 45 回日本看護科学学会学術集会	2025年12月7日
心理と教育	山田 知子 岩崎 久美子	呼吸音聴診教育に対するインタラクティブトレーナーの効果検証ー新たなタイプのインターネット教材を卒後教育へ追加投入してー / 後藤妃佐絵, 山内豊明	第 45 回日本看護科学学会学術集会	2025年12月7日
		救護法における貧困妊産婦ーなぜ救護の対象となったのかー	東京市方面委員制度研究会	2025年11月26日
		これからの社会教育の在り方	群馬県生涯学習センター「社会教育推進セミナー」	2025年5月27日
		Early University Learning for High School Students Using Open Courseware at the Open University of Japan (Kumiko Iwasaki)	30th ICDE (The International Council for Open and Distance Education) World Conference 2025	2025年11月13日
		学校の労働安全衛生管理体制の現状と課題ー7自治体小中学校アンケート調査結果からー / 小川正人, 山本健也, 川上泰彦, 荒井英治郎, 植竹丘, 櫻井直輝, 青井拓司	日本教育行政学会第 60 回大会自由研究発表	2025年10月12日
		価格設定の規定因に関する不適切な認識ー修正のために必要な情報を巡ってー / 進藤聡彦, 佐藤誠子, 舩田弘子, 工藤与志文	日本教授学習心理学会第 21 回年会	2025年6月28日
		能登半島地震における福祉事業所管理職者の心理的ストレス / 高橋恵子, 中島正雄	日本心理臨床学会第 44 回大会ポスター発表	2025年9月6日
		心理臨床に活かすスピリチュアリティ / 松田真理子, 大村哲夫, 井原裕, 橋本朋広, 滝口俊子	日本心理臨床学会第 43 回大会自主シンポジウム	2025年9月28日
		病の苦悩と癒し	日本臨床心身体運動学会第 27 回大会ワークショップ	2025年12月20日
		村松 健司	一般社団法人日本心理臨床学会第 44 回大会	2025年9月5日
森 津太子	森 津太子	児童養護施設の高機能化に関する職員へのインタビュー調査 (1) / 柴田一匡, 坪井裕子, 米澤由美子, 三後美紀, 樋口亜瑞佐, 波多江洋介, 塩谷隼平, 村松健司	一般社団法人日本心理臨床学会第 44 回大会	2025年9月5日
		児童養護施設の高機能化に関する職員へのインタビュー調査 (2) / 柴田一匡, 坪井裕子, 米澤由美子, 三後美紀, 樋口亜瑞佐, 波多江洋介, 塩谷隼平, 村松健司	一般社団法人日本心理臨床学会第 44 回大会	2025年9月5日
		認知バイアス・アセスメント尺度 (CBA) の開発 (5) : 80 種類の認知バイアスの経験と自尊心および抑うつ気分・不安障害 / 高比良美詠子, 森津太子, 池田まさみ, 宮本康司	日本心理学会第 89 回大会	2025年9月5日
		認知バイアス・アセスメント尺度 (CBA) の開発 (6) : 80 種類の認知バイアスの経験と対人関係 / 池田まさみ, 高比良美詠子, 森津太子, 宮本康司	日本心理学会第 89 回大会	2025年9月5日
		認知バイアス・アセスメント尺度 (CBA) の開発 (7) : 80 種類の認知バイアスの経験と Big Five / 森津太子, 池田まさみ, 高比良美詠子, 宮本康司	日本心理学会第 89 回大会	2025年9月5日
		Thinking and Working Style Scale 日本語版の作成 (1) / 工藤恵理子, 大江朋子, 森津太子	日本心理学会第 89 回大会	2025年9月5日
		Thinking and Working Style Scale 日本語版の作成 (2) : 性別と年代での測定不変性ならびに収束的妥当性と弁別的妥当性の検討 / 大江朋子, 工藤恵理子, 森津太子	日本心理学会第 89 回大会	2025年9月5日
		異なる認知バイアス課題による二重過程モデルの精緻化の試み (1) : Thinking and Working Style Scale(TWS) と対応バイアスを用いた検討 / 工藤恵理子, 森津太子, 大江朋子	日本社会心理学会第 66 回大会	2025年9月20日
		異なる認知バイアス課題による二重過程モデルの精緻化の試み (2) : Thinking and Working Style Scale (TWS) と係留効果を用いた検討 / 森津太子, 工藤恵理子, 大江朋子	日本社会心理学会第 66 回大会	2025年9月20日
		異なる認知バイアス課題による二重過程モデルの精緻化の試み (3) : Thinking and Working Style Scale (TWS) と認知的熟慮課題 (CRT) を用いた検討 / 大江朋子, 工藤恵理子, 森津太子	日本社会心理学会第 66 回大会	2025年9月20日
社会と産業	桑田 学	エイジズムの対象と方向性:エイジズムを (年上世代/年下世代) × (に対する/から受ける) と捉え直しての検討 / 長谷川正史, 森津太子	日本社会心理学会第 66 回大会	2025年9月20日
		認知バイアス経験と情報処理に関わる個人差 (1) : 80 種類の認知バイアスの経験と認知的熟慮性検査および情報処理スタイルの関係 / 高比良美詠子, 森津太子, 池田まさみ, 宮本康司	日本教育心理学会第 67 回総会	2025年10月11日
		認知バイアス経験と情報処理に関わる個人差 (2) : 80 種類の認知バイアスの経験と知的謙虚さおよびメタ認知の関係 / 森津太子, 池田まさみ, 高比良美詠子, 宮本康司	日本教育心理学会第 67 回総会	2025年10月11日
		認知バイアス経験と情報処理に関わる個人差 (3) : 80 種類の認知バイアスの経験と推論の誤りの関係 / 池田まさみ, 高比良美詠子, 森津太子, 宮本康司	日本教育心理学会第 67 回総会	2025年10月11日
		安藤元博著『価値創造する市場』(勁草書房、2025) についてのコメント	経済学史学会経済理論史研究会	2025年8月17日
		エコノミーの脱自然化/再自然化: 思想史の視点から	2025 年度南山学会シンポジウム「人新世」の社会科学ー人類と地球の共生を目指してー	2025年11月5日
		エコノミーとエコロジーの思想史を再考する: 説人間中心的なエコノミーに向けて	明治大学大学院政治経済学研究科特別講義	2025年12月22日
		An Empirical Study on Unattended Delivery in Japan (Yoshiki Matsui)	35th Annual Conference of Production and Operations Management Society	2025年5月10日
		The Decision to Introduce an Unattended Delivery Option for the Last Mile (Yoshiki Matsui)	2025 Decision Sciences Institute Annual Conference	2025年11月24日
		李 鳴	放送大学オンライン講演会	2026年2月21日

2025年度研究成果の発表・普及【講演・口頭発表等】

所 属	氏 名	テーマ、共著者	主催等	開催年月日
人間と文化	河原 温	コメント：フランドルと南イタリア	都市史学会 シンポジウム：南イタ リアの都市性と地域性	2025年12月7日
	小二田 章	“How to Teach History by Distance Learning - Making Paper-based Studies Paperless” (Akira KONITA) 「地方志と周囲の地図：杭州を中心に」	38th AAOU (Asian Association of Open Universities) Annual Conference 学習院大学東洋文化研究所一般研究プロ ジェクト研究会「中国地図史の再検討」	2025年10月20日 2025年12月11日
	鶴見 英成	基調報告「東亞地方史誌：研究紹介と展望」 ペルー北部のボルボリン遺跡における石垣状構造物の発見と意義—古代 アンデスにおける土石流・落石導流堤の可能性 / 刈谷愛彦, 鶴見英成, 大谷博則, 縫村崇行, カルロス・モラレス 笛吹きボトルの形態と音色の変化に関する比較研究：エクアドル資料調 査を中心に / 真世士マウ, 吉田晃章, 鶴見英成, 森下矢須之 ペルー天野プレコロンビアン織物博物館資料に基づく笛吹きボトルのタ イプ分類の再考 / 吉田晃章, 真世士マウ, 鶴見英成, 森下矢須之 ペルー北部ヘケテベケ川における地形形成作用と文明形成期の土地利用に關 する調査 / 鶴見英成, 刈谷愛彦, 縫村崇行, 大谷博則, カルロス・モラレス ペルー北部ヘケテベケ谷はどう生きられたか：文明形成期、物理的環境を中心に ラウラ・シタレラ監督『トレンケ・ラウケン』をめぐって 対談・翻訳文学のこれから / 野崎歆, 斎藤真理子 小西国際財団日仏翻訳賞 30 回の歩み	東亞地方志的理論與實踐：台日學者交流座談會 日本山の科学会 2025 年 秋期研究大 会	2026年3月13日 2025年11月22日
			古代アメリカ学会第 30 回研究大会	2025年12月7日
			古代アメリカ学会第 30 回研究大会	2025年12月7日
			古代アメリカ学会第 30 回研究大会	2025年12月7日
	野崎 歆		マテリアマインド第 4 回全体会議 ユーロスペース 三鷹 UNITE トークイベント 小西財団日仏翻訳文学賞第 30 回記念 シンポジウム「日仏文芸翻訳の歩み — 古典から現代文学、Manga まで」 放送大学佐賀学習センター公開講演会 ルネ・ユイグの世界—ふたつの視座 から（東京富士美術館、日本 18 世 紀学会共催、日仏美術学会後援） アンドレ・フェリビアン「アカデミ ー講演録」とその後の王立絵画彫刻ア カデミー（日仏美術学会、近世美術研究会） 『フランス語圏を知るための 61 章』出版記念 シンポジウム（上智大学アジア文化研究所）	2026年1月10日 2025年4月25日 2025年7月9日 2025年11月1日
	船岡 美穂子	『星の王子さま』の誕生——サン＝テグジュペリとその時代 シャルダン作《デッサンの勉強》——18 世紀半ばの美術趣味をめぐっ て 低いジャンルと美術アカデミー 18 世紀フランス美術の国際的波及	放送大学佐賀学習センター公開講演会 ルネ・ユイグの世界—ふたつの視座 から（東京富士美術館、日本 18 世 紀学会共催、日仏美術学会後援） アンドレ・フェリビアン「アカデミ ー講演録」とその後の王立絵画彫刻ア カデミー（日仏美術学会、近世美術研究会） 『フランス語圏を知るための 61 章』出版記念 シンポジウム（上智大学アジア文化研究所）	2025年12月20日 2025年11月30日 2026年3月29日 2026年3月30日
	宮本 陽一郎 青木 久美子	1925——ギャツビーの年 マイクロクレデンシャルの 透明性と見える化にむけて Designing Digital Belonging: 2D Metaverse as a Social Hub for Distance Learners (Kumiko Aoki) Evaluating the Effectiveness of AI Avatars in Education: EEG-Based Insights into Engagement and Memory Activation (Kumiko Aoki) はじめての AI：対人支援に活かすための基礎と実践	英語英米文学科主催学術講演会 サイバーセキュリティ マイクロク レデンシャル検討 WG	2025年7月4日 2025年5月8日
			The 12th KNOU-OUC-OUJ International Seminar 5th International Conference on Educational Technology and Online Learning 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支 援機構 障害者職業総合センター職員研修	2025年5月29日 2025年8月27日 2025年9月8日
			The 38th Annual Conference of the Asian Association of Open Universities (AAOU) The GDN Network Annual Meeting	2025年10月21日 2025年10月29日
	秋光 淳生	Bridging the Social Gap in Distance Learning: Exploring 2D Metaverse Platforms at the Open University of Japan (Kumiko Aoki) 仕事着の着装基準の把握に向けた予備的分析 一般教養としての 衣生活リテラシーと着装行動基準に関する一考察 放送大学における 学習分析ダッシュボードの試作と 組織的展開に向けた検討 音楽の主観的時間に楽曲構造が与える効果 (2)：一対比較法および再生 法による検討 / 山口 星香, 小野 貴史, 大西 仁	ICDE2025	2025年11月12日
	大西 仁	Remote Robot Operation Using Visual-Haptic Fusion: Influence of Object Size (Yutaka Ishibashi, Pingguo Huang, Hitoshi Ohnishi, Konstantinos E. Psannis) 遠隔ロボットシステムにおける力調整制御に対するオンライン強化学習 の効果 / 黄 平国, 大西 仁, 石橋 豊 展示資料とデジタル技術の融合—その可能性と留意点 Supporting Mathematical Communication in Dietetics Vocational Education through Generative AI (Hiroto Akiba, Shibasaki Junji) Automated Generation of Synthetic 3D Gaussian Splatting Datasets for Shape and Texture Descriptor Analysis (Motofumi Suzuki)	日本繊維製品消費科学会 2025 年年次大会 ファッションビジネス学会 情報処理学会第 88 回全国大会 日本認知科学会第 42 回大会	2025年6月22日 2025年12月20日 2026年3月6日 2025年9月13日
	近藤 智嗣 芝崎 順司		2026 11th International Conference on Information and Network Technologies(ICINT 2026) 電子情報通信学会コミュニケーション 生オリティ研究会 生命の星・地球博物館展示のあり方検討会 ASEAN Stakeholder Summit on Generative AI for Education 2025	2026年3月7日 2026年3月17日 2026年2月4日 2025年11月18日
	鈴木 一史		The 11th International Conference on Information, INFORMATION Journal, ISSN:1343-4500 The 9th International Conference on Information and Computer Technologies (ICICT 206), Honolulu, Hawaii, USA The 12th International Symposium on Affective Science and Engineering (ISASE 2026), 2IS04-03, Japan 2026 The 9th International Conference on Information and Computer Technologies (Keynote Speech), Honolulu, Hawaii, USA 令和 7 年度全国大学入学者選抜研究 連絡協議会大会予稿集	2026年1月16日 2026年3月12日 2026年3月17日 2026年3月12日
	辰己 丈夫	EMIU 情報模試 2025 春の実施と結果速報 / 植原, 啓介, 角田, 博保, 箕, 捷彦, 高橋, 尚子, 辰己, 丈夫, 谷, 望一, 中野, 由章, 中山, 泰一, 西田, 知博, 萩原, 兼一, 坂東, 宏和, 安田, 豊 X(Twitter) における「いいね」の理由とアカウントに対する応援との 関係性の調査 / 大西真樹, 辰己丈夫 中小企業の DX の向上により地方創生に繋がるのか - 北海道道北, 金田 自動車から DX を考える - / 東海林寛朗, 辰己丈夫 X(Twitter) における「いいね」の理由とアカウントに対する応援との関 係性の調査 / 大西真樹, 辰己丈夫	情報処理学会研究報告 (Web)	2025年5月29日 2025年6月24日
	辻 靖彦	教員選書の効率化を目的とした生成 AI による授業に関連する図書抽出 の試みと実態調査 / 山田奈々, 赤石知香, 川内規会, 辻靖彦 高等教育機関における ICT 利活用の現状と展望～令和 5 年度調査の追加分析結果か ら～ / 酒井博之, 辻靖彦, 稲葉利江子, 平岡斉士, 伏木田稚子, 藤岡千也, 重田藤介	情報処理学会研究報告 (Web) 第 40 回医学情報サービス研究大会 抄録集 O-01.p.11 大学 ICT 推進協議会 2025 年次大会 企画セッション 2PM1D	2025年6月24日 2025年8月23日 2025年12月2日

2025年度研究成果の発表・普及【講演・口頭発表等】

所 属	氏 名	テーマ、共著者	主催等	開催年月日
情報	平岡 斉士	教材設計科目において ID 初学者が作成した課題分析図にみられる傾向の分析 / 天野慧, 天野慧, 平岡斉士, 平岡斉士, 鈴木克明, 鈴木克明 情報教科教科書の索引用語の変遷とその特徴：数学科及び公民科との比較分析 / 伊藤智子, 伊藤智義, 下馬場朋禄, 平岡斉士 生成 AI によるテスト問題・類題案作成と教員支援—ツールの設計とチェックリストの提案— / 平岡斉士, 徳永恵理子, 鈴木真保 オンライン環境でのインフォーマルコミュニケーションによる探究の共同体を支援するための Miro 機能の検討 / 鈴木真保, 平岡斉士 オンライン単位認定試験の問題形式と評価観点の実態調査 - 科目特性による違いの分析を中心に - / 平岡斉士, 徳永恵理子, 鈴木真保 知識・スキル単位での学習到達度の把握を支援するオンライン学習環境の試作 - 自律的学習が求められる児童を対象として - / 長岡千香子, 平岡斉士, 古川雅子 Designing a Long-Term Instructional Design Workshop to Facilitate Gradual Behavioral Change Among Subject Matter Experts (Kei Amano, Naoshi Hiraoka) 紙立体模型の観察により空間イメージを視 覚言語に変換する試み - 紙立体模型の意味づけ情報を視覚言語に変換するプロセスの分析 - / 井上順子, 伏見清香	日本教育工学会研究報告集 (Web) 情報科学技術フォーラム講演論文集 教育システム情報学会 2025 年度第 3 回研究会 日本教育工学会第 47 回秋季全国大会 日本教育工学会研究報告集 (Web)	2025年7月5日 2025年9月4日 2025年9月26日 2025年9月27日 2025年10月18日
		伏見 清香	日本教育工学会研究報告集 (Web) AECT international convention 2025 日本デザイン学会第 72 回春季研究発表大会 第 27 回理論化学討論会	2025年10月18日 2025年10月20日 2025年6月28日 2025年7月24日
自然と環境	安池 智一	ブレキシトン形成によるポテンシャル変形 インジウムナノクラスターによる遠紫外近接場とベンゼンの結合状態形成 / 川合功将, 長塚直樹, 小坂谷貴典, 奥山弘, 渡邊一也, 安池智一 有機基板上に担持された単一組成合金ナノクラスターのプラズモン光応答特性 / 時田実和, 井上朋也, 安池智一, 中嶋 敦 インジウムナノクラスターと小分子のブレキシトン形成 / 長塚直樹, 川合功将, 小坂谷貴典, 奥山弘, 渡邊一也, 安池 智一 腐食インヒビターの視点で見たオレイン酸添加デカンの水中分散 / 平野 奨, 瀬井達也, 安池智一 A note on hypertranscendancy with Nevanlinna theory (Ishizaki Katsuya) 都市における植栽林の 25 年経過後の群落構造とその変遷についての調査研究 / 小川脩子, 原田潤, 加藤和弘, 中村俊彦 東京都心に点在する自然の聖地により維持されてきた樹木の多様性 / 亀山郁花, 松本航汰, 加藤和弘, 中島一豪, 高田まゆら 放送大学における障害学生支援の現状と課題 / 近紀子, 高里英江, 角田哲哉, 川島聡 (放送大学障がいに関する学生支援相談) ちばの病弱教育～病気の子どもの学びと心のケア～	第 19 回分子科学討論会 第 19 回分子科学討論会 第 19 回分子科学討論会 第 19 回分子科学討論会 第 76 回コロイドおよび界面討論会 Mathematics Research Seminar, University of Eastern Finland 自然環境復元学会第 26 回全国大会 第 73 回日本生態学会大会	2025年9月10日 2025年9月10日 2025年9月12日 2025年9月24日 2025年10月8日 2026年2月20日 2026年3月14日
		角田 哲哉	AHEAD JAPAN CONFERENCE 2025 (第 11 回全国大会) ちば産学官連携プラットフォーム ちば学リレー講座 2025	2025年9月4日 2025年10月25日
栃木 SC	加藤 謙一	小学生男子の投動作における動作パターンの定量的分類とその動作的特徴 / 小林育斗, 加藤謙一, 阿江通良	日本発育発達学会第 24 回大会	2026年3月7日
群馬 SC	工藤 貴子	量子化学計算による新奇な分子の研究 -14 族元素化合物を主として -	放送大学群馬同窓会記念講演	2025年4月13日
東京渋谷SC	植松 友彦	シャノン理論とは何だろうか	第48回情報理論とその応用シンポジウム	2025年11月
山梨 SC	村松 俊夫	STEAMS (スティアムス) 教育」理念浸透のための啓発活動 - 触知体験型教育遊具を用いて - 美術と図学教育 (5) 東京芸術大学における図学関連講義の試験問題考 / 佐藤紀子, 齋藤綾, 面出和子, 村松俊夫 ブアタイ党は民主党のこの舞を踏むのか タイ：軍隊による領土紛争の政治利用 The Border Conflicts with Cambodia and its Impact upon De-democratization	日本基礎造形学会第 36 回香川大会 (サンポートホール高松) 日本図学会 2025 年度大会 (明星大学日野キャンパス) 日本タイ学会研究大会 東南アジア学会研究大会 Symposium on "Political De-Democratization in Southeast Asia: The Case of Thailand"	2025年8月24日 2025年11月8日 2025年7月12日 2025年12月7日 2025年12月14日
京都 SC	玉田 芳史	タイ：軍隊による領土紛争の政治利用 The Border Conflicts with Cambodia and its Impact upon De-democratization	日本心理学会第 89 回大会 第 27 回日本健康支援学会年次学術大会	2025年9月6日 2026年3月7日
兵庫 SC	岡田 修一	生涯学習を通じた高齢者のウェルビーイング形成 / 熊野道子, 岡田 修一 運動時間の長さと運動への感情的態度が精神的健康に及ぼす影響：運動実践中の高齢者を対象とした縦断検証 / 原田和彦, 増本康平, 岡田修一 辞板屋従屈子：王華姜從古原到番禺的生命歷程		
奈良 SC	野村 鮎子	銭謙益の天殤哀悼 行旅即画：屈大均贈妻詩的南帰図景	「守正与创新：新時代中国文学研究学术検討会」於寧夏師範大学 「千面文宗：銭謙益と十七世紀の文学世界」, 於浙江大学中国古代文学与文化研究所 シンガポール南洋理工大学中文系「文図学と東亜文化交流」オンライン講演会 東アジアにおける識字研究の現在 -- 第 36 回獨協インターナショナルフォーラム 放送大学鳥根学習センター公開講演会	2025年7月16日 2025年11月15日 2026年3月10日 2025年12月13日 2026年1月17日
鳥根 SC	出口 顕	文字と権力及び触覚 / 出口顕	第 3 8 回 アジア 公開大学 年次大会 2 0 2 5 放送大学福岡同窓会所長講演会 日産化学富山工場講演会	2025年10月21日 2026年3月1日 2026年3月4日
福岡 SC	久枝 良雄	学びの継続を支える：放送大学における若年学生の定着促進戦略 / 久枝良雄, 合屋伸一, 小山内康人, 富松潔, 黒岩由美, 田中利幸, 水野和彦, 石井美美子 分子が描く生命と色：ノーベル賞研究と花の色の科学 ビタミン B12- 酸化チタン系ハイブリッド触媒		

2025年度研究成果の発表・普及【受賞】

所 属	氏 名	受賞内容	受賞年月
心理と教育	岩崎 久美子	放送大学 / 教育功績賞	2026年3月
	小林 祐紀	AI時代の教育学会 / AI時代の教育学会第7回年次大会 優秀研究賞 / 生成 AI による要約・分類機能を組み込んだアプリを用いた教育実践の「活用の意図」に着目した類型化 / 渡辺杏二, 小林祐紀, 森下純一, 鈴木広則, 中川一史	2025年10月
		AI時代の教育学会 / AI時代の教育学会第7回年次大会 優秀研究賞 / 情報活用能力育成を重視する学校の教員における学習指導に関する意識の変容 / 北濱康裕, 小林祐紀, 秋元大輔, 稲垣忠, 佐藤幸江, 佐和伸明, 渡辺浩美, 中川一史	2025年10月
自然と環境	岸根 順一郎	日本物理学会 / 注目論文賞	2025年5月
徳島SC	橋爪 正樹	IEEE Circuits and Systems Society Shikoku Chapter / 2023 IEEE CASS Shikoku Chapter Best Paper Award / Open Defect Detection in Assembled Circuit Boards with Built-in Relaxation Oscillators / M.Hashizume, H. Yotsuyanagi	2025年12月

2025年度研究成果の発表・普及【その他】

所 属	氏 名	題名、共著者	誌名	出版年月
生活と福祉	糸川 昌成	統合失調症に関連する新規ペントシジン合成経路の同定【JST機械翻訳】川 / 鳥海和也, 鮎野響歌,小澤有都菜,宮下光弘,宮下光弘,須川日加里,糸川昌成,永井竜児,上口英則,新井誠	日本解剖学会総会・全国学術集会抄録集(CD-ROM)	2025年4月
		東京都の精神保健福祉センターによる短期宿泊事業に対するニーズについて - 支援記録調査と保健師調査から - / 内山美根子, 白井有美, 白井有美, 近藤拓郎, 川上洋史, 遠藤久美子, 今井恵美子, 高倉信一, 東出香, 西いつみ, 糸川昌成, 熊谷直樹, 熊谷直樹	日本社会精神医学会雑誌	2025年5月
		実践に学ぶ遺伝カウンセリングのコツ 精神疾患領域の遺伝カウンセリング / 堀内泰江, 石黒浩毅, 糸川昌成, 糸川昌成	遺伝子医学	2025年9月
		臍に落ちる物語が回復をもたらすー承認欲求とからめてー	心の元気+	2025年12月
		評者へのリプライ「特集 障害学研究 20 号『障害学の展開』合評会」/ 山下幸子, 川島 聡, 岡部 耕典	障害学研究 22号213-217頁	2025年11月
	川原 靖弘	私生活の尊重・アクセシビリティ・合理的配慮ー車椅子利用者が公共の建物にアクセスできないことが「私生活」の範囲に含まれたが、[均衡を失したまたは過度の負担] ゆえに差別として認定されなかった事件ーラウルソン判決インタビュー	人権判例報 11号26-33頁	2025年12月
		基礎収入の算定における聴覚障害者差別（大阪高等裁判所第5 民事部 3B 係宛ての意見書：再録）	毎日新聞	2026年2月
		筋力回復動作におけるオノマトベが及ぼす筋活動への影響 / 川原靖弘, 真下英明	整形外科疾患（筋・関節・骨）（別冊 BIO Clinica 慢性炎症と疾患）	2025年5月
		筋力回復リハビリテーションにおけるかけ声活用の意味 / 川原靖弘, 真下英明	地域ケアリング	2025年6月
		Sustainable Life and Digital Asset: A Self-Sovereign Framework for Traceable and Incentivized Environmental Actions Through Decentralized Tokens and Re- Experienceable Civic Engagement (Junichi Suzuki,Yuki Minoda,Motoki Kodama,Theodore Achtem,Yasuhiro Kawahara)	SGEM International Multidisciplinary Scientific Conference EXPO Proceedings	2025年12月
心理と教育	戸ヶ里 泰典	HIV 陽性者参加のフォーカス・グループ・インタビューを通じて得られた、免疫機能障害による身体障害者手帳制度の認定基準改正と早期治療開始に対する意向と課題 / 井上洋士, 高久陽介, 大島岳, 細川陸也, 戸ヶ里泰典	日本エイズ学会誌	2025年11月
	岩崎 久美子	未来に向けた国社研の存在意義	社会教育	2025年7月
		いま、「学び直し」を問い直す	都市問題	2025年9月
	小林 祐紀	情報活用能力を育てる	先生と教育行政のための ICT 教育環境整備ハンドブック 2025	2025年6月
		情報活用能力を育む授業づくりや校務の情報化の推進に向けた副校長・教頭の役割	Educasphere	2025年6月
		初等教育におけるデジタル教科書の段階的活用とその教育的意義の検討	学習情報研究	2025年8月
		動画視聴と作成を通した小学 6 年生のキャリア教育実践の評価ー遅延ふり返り活動の分析を通してー / 阿部純也, 齋藤玲, 白井健大, 小林祐紀, 菅原弘一	日本教育工学会 2025 年秋季全国大会（第 47 回大会）講演論文集	2025年9月
		幼児期におけるプログラミング的思考を育むアンブラグド形式のカリキュラムの提案 / 村山達哉, 小林祐紀	AI 時代の教育学会第 7 回年次大会発表集録	2025年10月
		情報活用能力育成を重視する学校の教員における学習指導に関する意識の変容 / 北濱康裕, 小林祐紀, 秋元大輔, 稲垣忠, 佐藤幸江, 佐和伸明, 渡辺浩美, 中川一史	AI 時代の教育学会第 7 回年次大会発表集録	2025年10月
		主題の収集・言語表現の工夫の意識が高い高校生のバイモダル・テキストの創作における意味生成のプロセスの概要に関するー考察 / 石田年保, 小林祐紀, 佐藤幸江, 中川一史	AI 時代の教育学会第 7 回年次大会発表集録	2025年10月
		社会科における「筋道を立てて考える力」を支援する思考ツールの比較検討 / 石井芳生, 小林祐紀, 佐藤幸江, 中川一史	AI 時代の教育学会第 7 回年次大会発表集録	2025年10月
		生成 AI による要約・分類機能を組み込んだアプリを用いた教育実践の「活用の意図」に着目した類型化 / 渡辺杏二, 小林祐紀, 森下純一, 鈴木広則, 中川一史	AI 時代の教育学会第 7 回年次大会発表集録	2025年10月
		採用 20 年目の教員を対象とした学び続ける教員の育成を目指す探究型の研修プログラムの開発 / 上岡美保, 小林祐紀	第 51 回全日本教育工学研究協議会全国大会論文集	2025年11月
		学習者の見え方に応じて授業者が制作した静止画と音声を組み合わせたスライド資料の有用性 / 藤原 諒, 郡司竜平, 小林祐紀, 後藤大介, 白井健大, 中川一史	第 51 回全日本教育工学研究協議会全国大会論文集	2025年11月
		外国にルーツのある生徒の学習への参加を意図した防災学習の実践 / 河田麻佑, 郡司竜平, 小林祐紀, 後藤大介, 白井健大, 中川一史	第 51 回全日本教育工学研究協議会全国大会論文集	2025年11月
		番組制作者の意図を考えさせる指導者の問いかけが低学年児童の学習成果に与える影響 / 堀川紘子, 木村明憲, 小林祐紀, 白井健大, 後藤大介, 中川一史	第 51 回全日本教育工学研究協議会全国大会論文集	2025年11月
		小学校第 1 学年におけるデジタル連絡帳の活用に関する保護者の評価 / 菅井愛一郎, 北濱 康裕, 串田裕也, 小林祐紀	第 51 回全日本教育工学研究協議会全国大会論文集	2025年11月
		学習の自己調整場面を取り入れた高等学校英語科授業の実践と評価 - 学習者の自己調整・学習の動機づけに関する意識に着目して - / 岩崎啓子, 小林祐紀, 白土瑞樹, 北濱康裕, 西岡 遼, 小内慶太, 中川一史	第 51 回全日本教育工学研究協議会全国大会論文集	2025年11月
		児童が自発的に学習伴走型 AI を活用する教育実践の試行 - 約 2 ヶ月間の取組による児童の活用に対する意識に着目して - / 直井裕紀, 石原健太郎, 松末育美, 石黒広信, 小林祐紀	第 51 回全日本教育工学研究協議会全国大会論文集	2025年11月
		学習の自己調整および学習習慣の定着を意図してアプリを用いて継続的に家庭学習の振り返りに取り組む教育実践 / 渡辺杏二, 小林祐紀, 森下 純一, スズキ教育ソフト, 鈴木 広則, スズキ教育ソフト, 中川 一史	第 51 回全日本教育工学研究協議会全国大会論文集	2025年11月
		自己調整に焦点を当てた振り返り活動の実践とその効果 - 中学校数学科「平方根」を事例として - / 篠永克哉, 市立橋北, 筒井千晶, 北濱康裕, 小林 祐紀	第 51 回全日本教育工学研究協議会全国大会論文集	2025年11月
		小学校低学年における学校放送番組を活用した AI プログラムの授業の開発と実践 / 小池翔太, 木村明憲, 小林祐紀, 三宅倅平, 白井健大, 中川一史	2025 年度日本教育メディア学会第 32 回年次大会発表集録	2025年11月
		個人探究における探究課題設定時に NHK for School「ドスルコスル」を視聴した児童の探究課題設定に対する意識の変容 / 三宅倅平, 木村明憲, 小林祐紀, 白井健大, 中川一史	2025 年度日本教育メディア学会第 32 回年次大会発表集録	2025年11月

2025年度研究成果の発表・普及【その他】

所 属	氏 名	題名、共著者	誌名	出版年月
心理と教育	小林 祐紀	小学校社会科における学校放送番組の個別視聴の実態と視聴方略の類型化 / 齊田俊平, 木村明憲, 小林祐紀, 白井健大, 中川一史	2025 年度日本教育メディア学会第 32 回年次大会発表集録	2025年11月
		動画視聴と作成を通して小学 6 年生のキャリア教育実践の評価ー遅延ふり返り活動の分析を通してー / 阿部純也, 齋藤玲, 白井健大, 小林祐紀, 菅原弘一	2025 年度日本教育メディア学会第 32 回年次大会発表集録	2025年11月
		適応学習教材によらない算数科指導を俯瞰的にみる教師の指導方略の抽出と記述 ーハッティの学力向上に関するメタ研究の分析を元にしてー / 津下哲也, 佐藤幸江, 小林祐紀, 中川一史	AI 時代の教育学会研究会予稿集	2026年3月
		解決！創造！プログラミング的思考 / 小林祐紀（監修）	iikoto with ICHIJO	2026年3月
		生成 AI による方法知に関するフィードバックを受けた児童の振り回りの特徴 / 坂本成斗, 石田年保, 小林祐紀, 鈴木広則, 中川一史	AI 時代の教育学会研究会予稿集	2026年3月
		情報活用能力ベーシックを活用した校内研修パッケージの評価 / 岩崎有朋, 佐和伸明, 小内慶太, 渡辺浩美, 小林祐紀	AI 時代の教育学会研究会予稿集	2026年3月
		丸山 広人	臨床知の継承と省察の実践：学習者・実践者・指導者として / 山田美穂, 中島宙宇, 久羽康, 丸山広人, 難波愛	日本心理臨床学会 第 44 回大会プログラム
社会と産業	村松 健司	世界のプレイセラピストの養成状況 / 鵜飼奈津子, 小川裕美子, 森, 真佐子, 村松健司, 山中康裕	遊戯療法学研究	2025年8月
	北川 由紀彦	書評 八嶽加容子著『「ビッグイシュー」の社会学——ホームレスの対抗的公共圏をめぐって』	社会と調査	2026年3月
	齋藤 正章	『グローバル内部監査基準』が日本企業に与える影響ードメインⅡ・Ⅲを中心としてー	日本内部監査研究所紀要『内部監査（第 11 号）』	2025年10月
人間と文化	松井 美樹	Issues in Last-Mile Delivery for e-Commerce: Discussion around Unattended Home Delivery (MATSUI Yoshiki)	Yokohama Business Review	2025年9月
	河原 温	新刊紹介：シャロン・キノシタ著『マルコ・ポーロと彼の世界』/ シャロン・キノシタ	西洋中世研究	2025年11月
	小二田 章	『慈溪黄氏日抄分類』申明訳注その五 卷七二申明三 第三任分司鎮江條陳轉般倉事（上）/ 宋代史ゼミナール（近藤一成, 小二田章, 高井康典行, 見城光威, 梅村尚樹, 吉野正史, 金子孝太, 村田岳	史滴	2025年12月
		岡本隆司「東アジアの近代と「中国」の成立」ディスカッション	国際文化研究所編『近代以降の周辺諸国の対中国観』	2026年3月
	杉森 哲也	新刊紹介 秋元せき他著『京都秦家：町家の暮らしと歴史』	都市史研究	2025年10月
	鶴見 英成	ペルー北部、ヘケベケテ川中流域の形成期神殿建築の立地・形態に関する環境史的検討への着手状況	マテリアマインド：物心共創人類史学の構築 2024 年度研究活動報告書	2025年9月
	野崎 歓	あこのろの面影——仏文回想記（2025 年 4 月より毎月連載中）	群像	2025年4月
		菅野昭正さんのいた場所 / 野崎歓, 塚本昌則	すばる	2025年4月
		巨匠の軌跡をたどる サタジット・レイ レトロスペクティブ	すばる	2025年7月
		サン＝テグジュペリ『夜間飛行 人間の大地』を翻訳して	東京新聞夕刊	2025年7月
		サン＝テグジュペリ翻訳余滴	図書	2025年9月
		翻訳の旅は終わらない	ふらんす	2025年10月
		悦ばしき知識——七〇年代『ユリイカ』の輝き	『夢の明るい鏡 三浦雅士と 1970 年代の輝き——『ユリイカ』『現代思想』の軌跡』前橋文学館	2025年10月
		本の星が輝く空へ「夜間飛行」	『読書推進運動』（読書推進運動協議会）	2025年11月
		純粋な驚異——『赤い風船』賛	「映像詩人アルペール・ラモリスの知られざる世界」パンフレット（セテラ・インターナショナル）	2025年11月
		メタモルフォーズの快楽——『モンテ・クリスト伯』、小説から映画へ	『モンテ・クリスト伯』パンフレット（ツイン）	2025年11月
	夜になっても遊びつづける——カーソン・ランド監督『さよならはスローボールで』	すばる	2025年11月	
	フランス映画の無邪気な愉しみ	ふらんす	2026年1月	
	やわらかな抵抗の器としての小説	群像	2026年1月	
情報	近藤 智嗣	私と視聴覚教育ー 1980 年代の出会い	視聴覚教育	2026年2月
	辰己 丈夫	EMIU 情報模試 2025 春の実施と結果速報 / 植原, 啓介, 角田, 博保, 寛, 捷彦, 高橋, 尚子, 辰己, 丈夫, 谷, 聖一, 中野, 由章, 中山, 泰一, 西田, 知博, 萩原, 兼一, 坂東, 宏和, 安田, 豊	令和 7 年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会予稿集	2025年5月
	平岡 斉士	知識・スキル単位での学習到達度の把握を支援するオンライン学習環境の試作 - 自律的学習が求められる児童を対象として - / 長岡千香子, 平岡斉士, 古川雅子	日本教育工学会研究報告集 (Web)	2025年10月
	伏見 清香	紙立体模型の観察により空間イメージを視 覚言語に変換する試み - 紙立体模型の意味づけ情報を視覚言語に変換するプロセス の分析 - / 井上 順子, 伏見 清香	日本デザイン学会第 72 回研究発表大会	2025年6月
自然と環境	飯田 圭	Phase and equation of state of finite density QC2D at lower temperature (Etsuko Itou,Kei Iida,Kotaro Murakami,Daiki Suenaga)	Proceedings of The 41st International Symposium on Lattice Field Theory — PoS(LATTICE2024)	2025年12月
京都 SC	玉田 芳史	歴史学界と政治体制に挑んだ知の巨人ニティ・イオシーウォン（1940 年 5 月 23 日～ 2023 年 8 月 7 日）	アジア・マップ Vol.03	2025年9月
島根 SC	出口 顕	自らの当たり前を見直す — 文化人類学からの視点 / 出口顯	アド・スタディーズ	2026年3月
長崎 SC	山下 敬彦	大形モータの絶縁劣化診断開発に向けた環境要因を考慮したオゾン分解時定数の解析 / 俣野光稀, 吉田佳祐, 古里友宏, 山下敬彦, 岩永拓実, 池田竜志, 岡本徹志	電気学会電力・エネルギー部門大会論文集 (Web)	2025年9月
沖縄 SC	和田 浩二	食品のおいしさとその科学：（2）食品の色とその成分 / 和田浩二,Yonathan Asikin	日本食品安全協会会誌	2025年4月
		食品のおいしさとその科学：（3）食品の味とその成分 / 和田浩二,Yonathan Asikin	日本食品安全協会会誌	2025年7月
		食品のおいしさとその科学：（4）食品の香りとその成分 / 和田浩二,Yonathan Asikin	日本食品安全協会会誌	2025年10月

国際交流への取り組み

協定校の教職員を研修生として受け入れたほか、加盟団体による国際会議に現地参加した。また、協定校だけに限らず海外の大学や機関からの来訪を積極的に受け入れたことにより、相互交流を一層深めるとともに、本学の教育研究推進に有意義な情報を収集することができた。さらに、2026年度第1学期からの海

外在住学生受け入れ開始に向け、出願受付を開始するとともに、全科履修生の受け入れに向けた検討や制度設計を行った。本学の国際交流事業は、将来を見据えた新たな展開に向けて着実に前進した一年となった。

第12回日中韓セミナー参加報告

韓国放送通信大学校主催により、2025年5月28日から29日にかけて、第12回日中韓セミナーが「New Challenges and Opportunities for Open Universities in the Age of AI」をテーマとし開催された。本セミナーは本学と国際交流協定を締結している中国国家開放大学（OUC）および韓国放送通信大学校（KNOU）の三校間で2009年から持ち回りで開催されている。



日中韓セミナー参加者

AAOU年次大会、ICDE World Conferenceへの参加

2025年10月20日から23日にかけて、38th Asian Association of Open Universities Annual Conference (AAOU 2025) が中国・北京で開催された。本学から、岩永雅也学長をはじめ7名の教職員が参加した。“Advancing the Transformation of Open and Distance Education & Building a Sustainable Lifelong Learning Society”（開かれた遠隔教育の変革を推進し、持続可能な生涯学習社会を構築する）のメインテーマのもと、11の詳細な分野に分かれてパラレルセッションが構成された。2026年度のAAOU年次大会はフィリピン・マニラで開催される予定である。

また、2025年11月10日から14日にかけて、ICDE World Conference 2025がジュネーブで開催された。本学からは、青木久美子教授、岩崎久美子教授、石田裕美審議役が参加した。“Exchanging ideas for inclusive, scalable, and sustainable

education”（包摂的で拡張可能、持続可能な教育をめざしたアイデアの交流）というテーマのもとで、全体会や分科会が行われた。次回のICDE World Conference 2027はフィリピンで開催される予定である。



AAOU年次大会参加者

公開大学等からの来訪およびJICA研修の受け入れ

2025年度は中国国家開放大学、マレーシア公開大学をはじめ海外の公開大学や通信制高校等から14件の来訪を受け入れた。2025年11月には、JICAパレスチナから研修生20名を受け入れ、アラビア語を交えた資料により、芝崎順司教授より放送大

学の概要説明が行われ、安池智一教授からオンライン教育や実際の講義動画等の説明が行われた。いずれの来訪対応においても、国際委員長をはじめとした細やかな対応および活発な意見交換により、訪問者から高い満足度を得た。

2025年度放送大学国際シンポジウムの開催

2025年12月3日に放送大学東京文京学習センターで国際シンポジウムを開催した。シンポジウムでは「平等な学習機会を実現するデジタルバッジの可能性」（英語名：“Potential of Digital Badges for Equitable Learning Opportunities”）をテーマとし、海外からJeanne Kitchens氏（アメリカ）、Serge Ravet氏（フランス）、国内から中崎孝一氏、野田文香氏の4名の専門家を講演者として招いた。パネルディスカッションでは、4名の講演者と司会の青木久美子教授が登壇し、「デジタルバッジで広がる学習機会とその信頼性」をテーマとして活発な意見交換が行われた。対面・Zoom合わせて約90名が参加し、盛んに質疑応答がなされ、大変有意義なシンポジウムとなった。



国際シンポジウム参加者

海外在住者への教育サービスの提供を検討

本学ではインターネットを利用した単位認定試験を導入したことにより、日本国外からも本学のコンテンツを受講できる環境が整いつつある。これらに加え、創設以来約40年間に渡り築き上げてきた質の高い遠隔教育・生涯学習の強みを活かし、海外在住者への教育サービスの提供を開始した。2026年度から開始する海外在住学生受け入れに先立ち、

2025年度第2学期に先行受け入れを実施した。過去に実施した海外受講モニター調査の参加者や協力機関を通じた募集活動を行い、教養学部・大学院を合わせて、31か国93名の学生が入学した。また、全科履修生等の受け入れに向けた制度設計を進めるとともに、国内外における広報活動の充実に取り組んだ。

本学との協力交流協定を締結している海外の大学（2026年3月時点）			
機関名	国・地域	締結年月日	
Royal University of Bhutan ブータン王立大学	ブータン	2017/8/18	
Universidade Federal de Mato Grosso (UFMT) マトグロッソ連邦大学	ブラジル	2018/9/28	
Athabasca University アサバスカ大学	カナダ	1992/9/19	
The Open University of China 国家開放大学	中国	2009/5/7	
Hellenic Open University ギリシャ公開大学	ギリシャ	2023/9/26	
Korea National Open University 韓国放送通信大学校	韓国	2008/9/22	
National University of Mongolia (NUM) モンゴル国立大学	モンゴル	2019/10/15	
Universitat Oberta de Catalunya カタルーニャ公開大学	スペイン	2014/8/1	
National Open University 国立空中大学	台湾	1993/4/16	
Sukhothai Thammathirat Open University (STOU) スコータイ・タマティラート公開大学	タイ	2012/5/15	
Anadolu University アナドル大学	トルコ	2024/1/26	
The Open University オープン・ユニバーシティ	英国	2008/8/26	
University of Maryland Global Campus メリーランド大学グローバルキャンパス校	米国	2009/11/15	

教員による社会貢献

本学は「開かれた大学」として、建学以来、熱心に社会貢献に取り組んできた。

日本学術会議

日本学術会議は、科学が文化国家の基礎であるという考えのもと、行政、産業及び国民生活に科学を反映、浸透させることを目的として、政府から独立した「特別の機関」として1949年に設立された。

日本学術会議の役割は、主に①政府・社会に対して日本の科学者の意見を直接提言、②市民社会との対話を通じて科学への理解を深める、③地域社会の学術振興や学協会の機能強化に貢献、④日本を代表するアカデミーとして国際学術交流を推進である(日本学術会議ホームページより抜粋)。

学会、国、地方公共団体等での活動

所 属 氏 名	団体名、役職名
生活と福祉	
朝倉 富子	公立研究開発法人科学技術振興機構内 / 井上春成賞選考委員会 委員 公益財団法人東洋食品研究所 / 研究助成選考委員
井出 訓	社会福祉法人 桜秀会 / 理事 北海道認知症グループホーム協会 / 外部理事 日本老年看護学会 / 評議員 日本老年社会科学会 / 評議員 日本老年看護学会 / 評議員 日本老年社会科学会 / 評議委員 日本老年社会科学会 / 査読委員 日本認知症ケア学会 / 評議員、監事
川島 聡	日本障害法学会 / 理事 日本障害法学会 / 企画委員会 / 委員長 障害学会 / 理事 国際人権法学会 / 理事 全国高等教育障害学生支援協議会 / 理事 全国高等教育障害学生支援協議会 / 法務委員会 / 委員長 文部科学省 / 障害のある学生の修学・就職支援促進事業委員会 / 委員 日本学生支援機構 / 障害学生支援委員会 / 委員 日本学生支援機構 / 障害学生支援委員会 / 専門部会長 岡山県人権政策審議会 / 副会長
川原 靖弘	電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ拡大運営委員会 / 編集幹事 電子情報通信学会行動と認知時限研究専門委員会 / 副委員長 人間情報学会 / 理事, 編集委員
下夷 美幸	日本家族社会学会理事
関根 紀子	日本体力医学会 / プログラム委員会委員 日本体力医学会 / 学術委員会委員 日本体力医学会 / 評議員 文部科学省 / 体力・運動能力調査に関する検討委員会協力員
田城 孝雄	豊島区在宅医療推進会議 / 会長 厚生労働省医政局 在宅医療普及啓発推進支援事業企画書等評価委員会 / 委員 厚生労働省医政局 在宅医療普及啓発企画委員会 / 委員

本学の教員は、多岐にわたる社会貢献活動を行っており、その中から活動の一部を紹介する。

本学の教員は、下表の会員加入状況が示すように連携会員に選ばれ活動に貢献している。

日本学術会議での会員(連携会員)加入状況

所 属	氏 名	職 名	専門分野
社会と産業コース	玉野 和志	教授	社会学
社会と産業コース	山岡 龍一	教授	政治学・哲学
大阪SC	金水 敏	所長	言語・文学

所 属 氏 名	団体名、役職名
田城 孝雄	文京区在宅医療推進協議会 / 会長 文京区地域医療連携推進協議会 / 副会長 厚生労働省医政局 地域医療再生計画に係る有識者会議 / 委員 内閣官房 地域活性化統合本部健康・医療のまちなかづくりに関する有識者・実務者会合 / 座長 内閣官房 構造改革特別区域推進本部 評価・調査委員会 医療・福祉・労働部会 / 専門委員 内閣官房 地域活性化統合本部 地方の元気応援人材ネットワーク 国立長寿医療センター 在宅医療推進会議作業部会 (医療連携) / 部会長 板橋区乳がんの地域連携パス検討委員会 / 委員 足立区糖尿病対策協議会 / 委員 (アドバイザー) 世田谷区地域保健福祉審議会 高齢者福祉・介護保険部会 / 委員
戸ヶ里 泰典	日本保健医療社会学会 / 機関誌編集委員 日本保健医療社会学会 / 評議員 日本エイズ学会 / 代議員 日本健康教育学会 / 編集委員長 日本健康教育学会 / 理事 日本健康教育学会代議員 日本創傷・オストミー失禁管理学会査読委員 日本社会医学会 / 評議員
奈良 由美子	科学技術振興機構 社会技術研究開発センターSDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム / プログラム総括 国立健康危機管理研究機構 / 外部理事 厚生労働省 厚生科学審議会 / 臨時委員 東京都新型インフルエンザ等対策有識者会議 / 委員及び社会機能部会部会長 東京都感染症予防医療対策審議会 / 委員 日本原子力研究開発機構 経営顧問会議 / 議長 東京都新型コロナウイルス感染症医療体制戦略ボード / 構成員 株式会社 NTT データ AI アドバイザリーボード / 委員 内閣府「防災スペシャリスト養成」企画検討会 / 委員 内閣官房 新型インフルエンザ等対策推進会議 / 委員

学会、国、地方公共団体等での活動

所 属 氏 名	団体名、役職名
奈良 由美子	環境省中央環境審議会 / 臨時委員 東京 iCDC (東京感染症対策センター) 専門家ボード リスクコミュニケーションチーム / チーム長 土木学会原子力土木委員会 リスクコミュニケーション小委員会 / 委員長 土木学会原子力土木委員会 / 委員 日本リスクマネジメント学会 / 理事 株式会社ベイエフエム番組審議会 / 委員 社会・経済システム学会 / 理事 環境省 エコチル調査戦略広報委員会 / 委員 名古屋大学 / 客員教授 内閣官房 サイバーセキュリティ戦略本部 重要インフラ専門調査会 / 委員
山内 豊明	日本看護学教育学会 / 理事・評議員 日本医療機能評価機構 教育研修事業運営委員会 / 委員 厚生労働省 医道審議会 / 委員 日本臨床看護マネジメント学会 / 理事 日本看護管理学会 / 評議員 日本看護科学学会 / 評議員 日本学術振興会 / 専門委員 日本医療機能評価機構 医療事故等収集事業専門分析班 / 委員 日本医療機能評価機構 医療事故等収集事業総合評価部会 / 委員 日本看護医療学会 / 理事 文部科学省 科学技術・政策研究所 科学技術予測・政策基盤調査研究センター / 専門調査員 日本医療マネジメント学会 / 理事
山田 知子	コープみらい / 理事 (学識経験者) 社会福祉法人サンフレンズ / 社会福祉法人理事、評議員 日本社会福祉学会 / 日本社会福祉学会関東ブロック運営委員
心理と教育	
岩崎 久美子	文部科学省 / 政策評価に関する有識者会議委員 公益財団法人武蔵野市子ども協会 / 評議員 公益財団法人育てる会 / 評議員 内閣府 / 構造改革特別区域評価・調査委員会委員 千葉県教育委員会 / スーパーサイエンスハイスクール (千葉県立長生高等学校) 運営指導協議会委員 日本生涯教育学会 / 理事 神奈川県川崎市 / 政策評価審査委員会 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 / 国立大学教育研究評価委員会専門委員 東京都武蔵野市教育委員会 / 教育委員 独立行政法人国立科学博物館 / 独立行政法人国立科学博物館評価有識者会合委員 国立教育政策研究所 / 令和7年度 社会教育指導者の育成・資質向上のための調査研究事業社会教育主事講習の充実に資する動画教材等の開発に関する調査研究委員会【生涯学習概論】委員 千葉県千葉市 / 第15期千葉市生涯学習審議会委員 神奈川県川崎市 / 政策評価審査委員会委員 千葉県千葉市教育委員会 / 事務点検・評価委員 東京都福生市教育委員会 / 事務点検・評価委員
岩永 雅也	学校法人十文字学園 / 十文字学園女子大学外部評価委員 足立区文化・読書・スポーツ推進会議 / 会長 筑波大学附属駒場中・高等学校 / 学校評議員 一橋大学 森有礼高等教育国際流動化機構 / 客員研究員 東アジア共同体評議会 / 東アジア共同体評議会 有識者議員
苑 復傑	

所 属 氏 名	団体名、役職名
小林 祐紀	常陸太田市 / 常陸太田市 GIGA スクール構想推進委員会アドバイザー 大日本図書株式会社 / 教科書編集委員 (小学校算数) 軽井沢町教育委員会 / 軽井沢町 ICT 推進事業研修統括者 一般社団法人 日本教育情報化振興会 / 情報活用能力育成調査研究事業委員 那珂市教育委員会 / 那珂市学校教育情報化推進委員 日本教育工学協会 (JAET) / 理事 公益財団法人 パナソニック教育財団 / 専門委員 AI 時代の教育学会 / 理事 年次大会委員長 NHK for School 教育番組「アクティブ10 しごととく」(キャリア教育) 番組委員 / 番組委員 文部科学省委託事業 / 令和7年度学習者用 デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業
櫻井 直輝	日本教育事務学会 / 紀要編集委員 日本教育行政学会 / 事務局幹事 日本教育経営学会第66回大会大会準備委員会 / 委員 日本教育経営学会 / 国際交流委員会委員兼幹事 千葉県教育委員会 / 教育委員 豊田市教育行政計画審議会 / 委員 大熊町奨学資金制度検討委員会 / 委員長 日本教育行政学会第60回大会実行委員会 / 副委員長
進藤 聡彦	日本心理学会 / 資格認定委員会 (委員) 甲府市社会福祉審議会 / 児童福祉専門分科会 (計画部会長・施設審査部会長) 甲斐市 / いじめ防止連携協議会 (議長) 山梨県 / 教員のキャリアアップ研修審議委員会 (委員長) 日本教授学習心理学会 / 第22回準備委員会 (委員) 日本教授学習心理学会 / (理事長) 日本心理学諸学会連合 / (委員) 日本教育心理学会 / 研究委員会 (委員長)
中島 正雄	日本学生相談学会 / 特別委員会委員 日本学生相談学会 / 代議員 日本学生相談学会 / 理事 日本学生相談学会 / 全国学生相談研修会準備委員長 日本学生相談学会 / 研修委員会副委員長
橋本 鈺市	日本高等教育学会 / 代議員
波田野 茂幸	大東学園高等学校 / 評議員 港区子ども家庭支援部 / 港区児童館等における障害児に関する協議会 会長 立川市教育委員会 / 立川市就学支援等検討委員会委員
丸山 広人	公益財団法人 茨城カウンセリングセンター / 評議員 茨城県社会福祉協議会 / 茨城県社会福祉審議会委員
向田 久美子	日本パーソナリティ心理学会 / 理事 公益社団法人日本心理学会 / 地域別代議員
村松 健司	日本臨床心理士養成大学院協議会 / 理事 一般社団法人日本心理学諸学会連合 / 理事 一般社団法人日本遊戯療法学会 / 理事長 一般社団法人日本心理学諸学会連合 / 心理学検定局副局長 一般社団法人日本心理臨床学会 / 編集協力委員

学会、国、地方公共団体等での活動

所 属 氏 名	団体名、役職名
森 津太子	日本パーソナリティ心理学会 / 常任理事（経 常的研究交流委員会委員長） 日本心理学会 / 地域別代議員（関東） 日本心理学会 / 認定心理士資格認定委員会委員
社会と産業	
川出 良枝	（公益財団法人）日仏会館 / 常務理事 （公益財団法人）東京大学新聞社 / 理事長 社会思想史学会 / 幹事（常任） 社会思想史学会 / 非常任幹事 経済学史学会 / 幹事
桑田 学	社会思想史学会 / 非常任幹事 経済学史学会 / 幹事
白鳥 潤一郎	霞山会 / 講演企画委員会委員 外務省 / 外交記録公開推進委員会常任委員 日本国際問題研究所 / 国際政治史研究会委員
玉野 和志	社会調査協会 / 事務局長 コミュニティ政策学会 / 理事 地方自治学会 / 理事 日本社会学会 / 監事
原田 順子	公益財団法人 B（非公開）/ 授賞選考委員会 一般財団法人 A（非公開）/ 授賞選考委員会 横浜市 / 横浜市物流等関連施設等指定管理者 選定評価委員会 人材育成学会 / 選挙管理委員会
松井 美樹	オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー 学会 / オペレーションズ・マネジメント&ストラ テジー学会論文誌エリア編集委員 オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー 学会 / 理事・財務委員長 The 13th International Conference on Emerging Challenges: BUSINESS DYNAMICS IN DISRUPTIVE ECONOMY / Scientific Committee オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー 学会 / 第 17 回全国研究発表大会実行委員 オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー 学会 / 学会賞審査委員
松原 隆一郎	毎日新聞社 / 毎日文化賞選考委員 国際日本文化研究センター / 運営委員 東京都広告物審議会 / 委員 杉並芸術会館 / 運営評価委員会座長 毎日新聞 / 書評委員
山岡 龍一	政治思想学会 / 理事 日本イギリス哲学会 / 理事
人間と文化	
大橋 理枝	国際行動学会 / 学会誌編集委員会委員長 日本コミュニケーション学会 / 学術局運営委員 （学会誌担当） 国際行動学会 / 理事
河原 温	都市史学会 / 副会長 メトロポリタン史学会 / 副会長 比較都市史研究会 / 代表 都市史学会 / 常任委員 比較都市史研究会 / 編集幹事 メトロポリタン史学会 / 委員
滝浦 真人	日本言語学会 / 学会賞選考委員長 日本言語学会 / 常任委員 日本語用論学会 / 評議員 国立国語研究所 / 運営会議 委員 文化審議会 / 国語分科会 国語課題小委員会 副査 文化審議会 / 国語分科会 国語課題小委員会 委員 日本言語学会 / 評議員
野崎 歓	サントリー文化財団 / サントリー学芸賞選考委員 （芸術・文学部門） 一般社団法人青少年読書推進機構 / 10 代がえ らぶ海外文学大賞選考委員 小西国際交流財団 / 評議員

所 属 氏 名	団体名、役職名
船岡 美穂子	日本 18 世紀学会 / 委員
宮本 徹	中国出土資料学会 / 理事
宮本 陽一郎	筑波アメリカ文学会 / 会長
情報	
青木 久美子	日本マイクロレデンシャル機構 / レジストリ構 築委員会委員 Credential Engine / Issuer Identity Registry Governance & Integration Advisory Group Member 日本理容美容教育センター / IT に関する検討会 委員
浅井 紀久夫	International Journal of Virtual and Personal Learning Environments / Associate Editors
大西 仁	電子情報通信学会通信行動工学時限専門委員 会 / 委員
加藤 浩	日本教育工学会 / 監事 情報処理学会 / 代表会員 情報処理学会 / 情報処理教育委員会
近藤 智嗣	日本オープンオンライン教育推進協議会 / 理事
辰己 丈夫	情報処理学会 / 一般情報教育委員会 委員長 電子情報通信学会 / 「技術と社会・倫理」研究 専門委員会 委員長 情報処理学会 / 広報広聴戦略委員会 副委員長 情報処理学会 / 教科書委員会 委員 情報処理学会 / 情報処理教育委員会 委員 情報処理学会 / 初等中等教育委員会 委員
辻 靖彦	the 9th International Conference on Computational Thinking and STEM Education (CTE-STEM 2025) / International Programme Committee 日本教育工学会 ショートレター編集委員会 / 委 員 教育システム情報学会関東支部 / 副支部長 教育システム情報学会関東支部 / 幹事 教育システム情報学会関東支部 / 役員 大学 ICT 推進協議会 (AXIES) ICT 利活用調査 部会 / 研究員
中川 一史	中央教育審議会初等中等教育分科会 / デジタ ル学習基盤特別委員会（委員） 中央教育審議会初等中等教育分科会 / デジタ ル学習基盤特別委員会デジタル教科書推進ワー キンググループ（主査代理） AI 時代 of 教育学会 / 会長 子ども家庭庁 / 青少年インターネット環境の整 備等に関する検討会（座長代理） 日本 STEM 教育学会 / 副会長 中央教育審議会初等中等教育分科会 / 個別最 適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け た学校教育の在り方に関する特別部会（委員）
中谷 多哉子	情報処理学会技術士委員会 / 主査 情報処理学会 / 企業認定審査委員 りそな中小企業振興財団 / 中小企業優秀新技 術・新製品賞 専門審査委員 日本技術者教育認定機構 / JABEE ソウル協定 プログラム対応部会委員 ソフトウェア技術者協会 / 幹事 知能ソフトウェア工学研究会 / 研究専門委員会 委員
広瀬 洋子	一般社団法人全国高等教育障害学生支援協議 会 / 監事
伏見 清香	日本デザイン学会 / 第 2 支部支部長 日本展示学会 / 理事 愛知県児童総合センター / 「2025 汗かくメディ ア」選考委員

学会、国、地方公共団体等での活動

所 属 氏 名	団体名、役職名
山田 恒夫	一般社団法人大学 ICT 推進協議会 / 大学 ICT 推進協議会 学術・教育コンテンツ流通部会主査 日本オープンコースウェアコンソーシアム (JOCW) / 監事 一般社団法人「オープンバッジ・ネットワーク」/ 理事・審査委員長 一般社団法人 大学 ICT 推進協議会 / 情報教育 部会および情報倫理ビデオ制作タスクフォース メンバー（放送大学指名）
自然と環境	
大森 聡一	文部科学省 / 教科用図書検定調査審議会専門委員
加藤 和弘	千代田区 / ちよだ生物多様性大賞選定委員会 副座長 千代田区生物多様性推進会議 / 副座長 一般社団法人 環境情報科学センター / 理事
岸根 順一郎	Journal of Physical Society of Japan / 編集 委員 固体物理 / 編集委員
公認心理師教育推進室	
桑原 知子	臨床心理士資格認定協会 / 評議員
宮城 SC	
八鍬 友広	教育史学会 / 代表理事 教育史学会 / 理事
秋田 SC	
倉林 徹	秋田県第三セクターの運営状況評価に係る外部 有識者委員会 / 委員（委員長） 秋田県地方独立行政法人評価委員会 / 評価委 員（委員長） IEEE / member
茨城 SC	
小野寺 淳	茨城地理学会 / 会長 茨城県教育委員会（教育庁文化課）/ 文化財保 護審議会委員（2018 年 3 月より副会長，2024 年 3 月 4 日より会長）
栃木 SC	
加藤 謙一	（一財）栃木陸上競技協会 / 評議員 日本発育発達学会 / 理事・編集委員 栃木県競技力向上対策本部タレント発掘・育成 事業検討部会 / 栃木県競技力向上対策本部タ レント発掘・育成事業検討部会委員 北関東体育学会 / 理事・編集委員 栃木県教育委員会 / 次期栃木県教育振興基本 計画懇談会委員（委員長）
群馬 SC	
工藤 貴子	ケイ素化学協会 / 理事 公益財団法人 群馬大学科学技術振興会 / 評議員 放送大学教育振興会 / 評議員
埼玉 SC	
川又 伸彦	川島桶川資源循環組合行政不服及び情報公開・ 個人情報保護審査会 / 委員 関東信越地方社会保険医療協議会埼玉部会 / 委員 さいたま市民大学運営委員会 / 委員 埼玉県立大学評価委員会 / 委員 上尾、桶川、伊奈衛生組合行政不服及び情報 公開・個人情報保護審査会 / 委員 桶川市行政不服及び情報公開・個人情報保護 審査会 / 委員
東京渋谷 SC	
植松 友彦	電子情報通信学会 / 会長 国立研究開発法人科学技術振興機構 / 先端国 際共同研究推進事業 アドバイザー 公益財団法人電気通信普及財団 / 審査委員会 表彰専門委員 総務省 / 情報通信審議会 専門委員 電子情報通信学会 / 次期会長

所 属 氏 名	団体名、役職名
東京足立 SC	
最上 善広	足立区 / 足立区生涯学習振興公社理事 東京都 / 東京都地方独立法人評価委員会委員
神奈川 SC	
大谷 英雄	総務省消防庁 / 消防防災科学技術研究推進評 価委員 総務省消防庁 / 危険物等事故防止対策情報連 絡会主査
石川 SC	
千木 昌人	大学コンソーシアム石川 / 理事 小松市環境審議会 / 委員 有機合成化学協会 / 関西支部評議員
奈良 SC	
野村 鮎子	日本中国学会 / 評議員
岡山 SC	
田仲 洋己	公益財団法人 吉備路文学館 / 理事
高知 SC	
益本 俊郎	一般社団法人 MEL（マリン・エコラベル・ジャ パン）協議会 / 配合飼料認証規格委員、魚粉 魚油認証規格委員
福岡 SC	
久枝 良雄	九州大学 / 藤井徳夫賞 選考委員会委員 公益社団法人日本工学アカデミー / 理事 文部科学省 / 学術変革領域研究 (A)「化学構 造リプログラミング」評価委員 九州大学 / 若手女性研究者・女子大学院生優 秀研究者賞（伊藤早苗賞）選考委員会委員 公益財団法人宗像ユリックス / 評議員 公益社団法人日本工学アカデミー / 九州支部理 事 錯体化学会 / 研究公正倫理推進委員会 委員 九州錯体化学懇談会 / 会長 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総 合開発機構 / ビアレビューア
長崎 SC	
山下 敬彦	電気学会 / 社会連携委員会 電気学会 / 有識者会議委員 電気協同研究会 / 「架空送電用ポリマーがいし 技術専門委員会」委員長 電気学会 / 論文委員会（A 3グループ）委員 電気協同研究会 / 「架空送電用ポリマーがいし の現状と今後の展望」委員会
宮崎 SC	
石川 千佳子	美術教育研究会 / 会長 日向市文化振興推進委員会 / 委員長 公益財団法人宮崎文化振興協会 / 評議員 公益財団法人人生頼範義記念みやざき文化推進 協会 / 理事 宮崎県伝統的工芸品に関する専門委員会 / 専 門委員 都城市立美術館作品収集審査委員会 / 審査委 員 宮崎県立美術館美術作品等収集審査委員会 / 委員 宮崎県文化財保護審議会 / 会長 美術教育研究会 / 副会長
鹿児島 SC	
高津 孝	九州中国学会 / 理事
沖縄 SC	
和田 浩二	日本油化学会 / 代議員 日本食品安全協会 / 副理事長 日本食品保蔵科学会 / 理事

社会貢献活動			
所 属 氏 名	社会貢献活動内容		
生活と福祉	川島 聡	公益財団法人 人権教育啓発推進センター / 特任講師 特定非営利活動法人 岡山 NPO センター「障がいのある人などへの合理的配慮の普及と実装を促進するための調査啓蒙活動」／相談役	社会と産業
戸ヶ里 泰典		順天堂大学大学院看護医療学研究科 / 「応用統計学」講義 東京医科歯科大学教養部 / 「スポーツ・健康科学」講義「健康生成論」担当 東海大学医療技術短期大学 / 教員研究支援 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科高齢社会看護システム管理学 / 大学院「高齢社会看護システム管理学特論Ⅰ」講義 沖縄県立看護大学 / 大学院「ヘルスプロモーション・健康教育Ⅱ」講義 山梨県立大学 / 大学院「基礎看護学Ⅲ」講義	
奈良 由美子		全国大学生協共済生活協同組合連合会 / 「大学生の生活リスク講座」プロジェクト	
山田 知子		社会福祉法人恩賜財団済生会 / 中央治験審査委員会委員	
心理と教育	苑 復傑	一橋大学・森有礼高等教育国際流動化センター / 客員研究員	
小林 祐紀		四日市市教育委員会 / 教職員研修会 (ICT コーディネーター研修及び情報化推進リーダー養成講座) 岡山市教育委員会 / 令和7年度 岡山市教職員研修講座 (研究主任研修講座)	
櫻井 直輝		全日本教職員組合事務職員部 / 2025 年 (第 34 回) 全国学校事務研究集会第 3 分科会研究分担者	
進藤 聡彦		八王子市立小学校 / 校内研究会指導助言講師	
高橋 秀明		東京家政大学大学院人間生活総合研究科 / 非常勤講師	
波田野 茂幸		大東学園高等学校 / 学校精神保健コンサルタント 東京都教育庁指導部特別支援教育指導課 東京都特別支援教育推進室 / 令和7年東京都障害のある児童・生徒の就学相談担当者講習会 豊島区子ども若者課 / 令和7年度豊島区子ども研修 港区子ども家庭支援部 / 港区児童館等における障害児への巡回相談講師 立川市教育委員会教育部教育支援課 / 教育相談事例検討会講師 平塚市子ども教育相談センター / 令和7年度所内研修会講師 板橋区子ども家庭部保育運営課 / 令和7年度板橋区保育の質ガイドライン研修 練馬区教育委員会事務局 こども家庭部 / 令和7年度 練馬区保育園研修 (園長・副園長対象) 中野区子ども教育部保育園・幼稚園課 / 令和7年度中野区保育の質ガイドライン研修	
村松 健司		東京都立中野特別支援学校 / 外部専門員 (心理の専門家) 公益財団法人 東京都福祉保健財団 / 現代の若者の特徴と育て方 東京都社会福祉協議会 / 生活場面における子どもの理解と支援 東京都立中野特別支援学校しいの木分教室 / 障碍児・者の人権 台東区教育支援館 / 台東区立教育支援館 教育相談所内研修会 ケーススーパービジョン 東京都社会福祉協議会 / 児童養護施設における専門的対応とは 生活場面における子どもの理解と支援 二日目(グループワーク) / 講師	
森 津太子		かわさき市民アカデミー / 人間学講座 生・老・病・死を考えるー人間学再論	

所 属 氏 名	社会貢献活動内容
川出 良枝	(株)イマジニア / 政治思想史の古典『法 の 精神』と『社会契約論』を学ぶ(全11話) / テンミッツ TV (現テンミッツアカデミー) 明治学院大学 / 政治思想史 1B (非常勤講師)
	世田谷市民大学 / 「世田谷市民サマーフォーラム」講師 ([住民活動の曲がり角――町内会とコミュニティ・ユニオン]) 名取市館腰公民館講座 / 「町内会ってなんだろう?」講師
	大妻女子大学社会情報学部 / 「経営組織論」 / 非常勤講師
	慶応義塾大学法科大学院 / 非常勤講師 市川中央老壮塾 / 日本の法文化の歩み～～法の成り立ちから現代の仕組みまで～
北川 由紀彦	世田谷市民大学 / 「世田谷市民サマーフォーラム」講師 ([住民活動の曲がり角――町内会とコミュニティ・ユニオン]) 名取市館腰公民館講座 / 「町内会ってなんだろう?」講師
	大妻女子大学社会情報学部 / 「経営組織論」 / 非常勤講師
原田 順子	大妻女子大学社会情報学部 / 「経営組織論」 / 非常勤講師
	慶応義塾大学法科大学院 / 非常勤講師 市川中央老壮塾 / 日本の法文化の歩み～～法の成り立ちから現代の仕組みまで～
李 鳴	慶応義塾大学法科大学院 / 非常勤講師 市川中央老壮塾 / 日本の法文化の歩み～～法の成り立ちから現代の仕組みまで～
	慶応義塾大学法科大学院 / 非常勤講師 市川中央老壮塾 / 日本の法文化の歩み～～法の成り立ちから現代の仕組みまで～
人間と文化	東京大学東洋文化研究所・班研究 / 「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究協力者 東京女子大学大学院人間科学研究科・現代教養学部 / 非常勤講師
	東京大学東洋文化研究所・班研究 / 「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究協力者 東京女子大学大学院人間科学研究科・現代教養学部 / 非常勤講師
宮本 徹	東京大学東洋文化研究所・班研究 / 「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究協力者 東京女子大学大学院人間科学研究科・現代教養学部 / 非常勤講師
	東京大学東洋文化研究所・班研究 / 「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究協力者 東京女子大学大学院人間科学研究科・現代教養学部 / 非常勤講師
情報	東京大学東洋文化研究所・班研究 / 「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究協力者 東京女子大学大学院人間科学研究科・現代教養学部 / 非常勤講師
	東京大学東洋文化研究所・班研究 / 「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究協力者 東京女子大学大学院人間科学研究科・現代教養学部 / 非常勤講師
青木 久美子	TCCHAWAII.org / Board of Directors Asuka Academy / 理事
	TCCHAWAII.org / Board of Directors Asuka Academy / 理事
大西 仁	朝日大学経営学研究科 / 博士論文審査
	朝日大学経営学研究科 / 博士論文審査
加藤 浩	熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻
	熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻
辻 靖彦	日本女子大学人間社会学部教育学科 / 教育方法・技術 (中高) (非常勤講師)
	日本女子大学人間社会学部教育学科 / 教育方法・技術 (中高) (非常勤講師)
中谷 多哉子	情報処理学会 / 代表会員
	情報処理学会 / 代表会員
平岡 斉士	静岡県立大学 FD 研修会 / 「学びの設計」をしていますか?ー授業改善のためのインストラクショナルデザイン入門 講師
	静岡県立大学 FD 研修会 / 「学びの設計」をしていますか?ー授業改善のためのインストラクショナルデザイン入門 講師
広瀬 洋子	一般社団法人 全国高等教育障害学生支援協議会 / 監事 NPO 法人 FirstStep : 引きこもり支援 / 理事
	一般社団法人 全国高等教育障害学生支援協議会 / 監事 NPO 法人 FirstStep : 引きこもり支援 / 理事
山田 恒夫	NPO 実務能力認定機構 / 理事 国 際 NPO 「Global Learning Object Brokered Exchange (GLOBE)」 / Business/Stewardship Council Member 国際共同研究 : eASEM プロジェクト (アジア欧州会合、生涯学習研究ポータル構築、白書作成プロジェクト) / メンバー 国際共同研究 : ASEM 生涯学習ハブ (ASEM Education and Research Hub for Lifelong Learning / ASEM-LLL Hub) 研究ネットワーク investigator e-Learning Awards フォーラム実行委員会 / 委員 日本オープンオンライン教育推進協議会 (JMOC) / 事務局次長 大学 ICT 推進協議会 (AXIES) / 研究員・国際連携室長 AAOU Asian MOOCs Steering / Committee Member 一般社団法人 日本 IMS 協会 / 理事・運営委員会委員長・IMS Japan 賞選定委員長
	NPO 実務能力認定機構 / 理事 国 際 NPO 「Global Learning Object Brokered Exchange (GLOBE)」 / Business/Stewardship Council Member 国際共同研究 : eASEM プロジェクト (アジア欧州会合、生涯学習研究ポータル構築、白書作成プロジェクト) / メンバー 国際共同研究 : ASEM 生涯学習ハブ (ASEM Education and Research Hub for Lifelong Learning / ASEM-LLL Hub) 研究ネットワーク investigator e-Learning Awards フォーラム実行委員会 / 委員 日本オープンオンライン教育推進協議会 (JMOC) / 事務局次長 大学 ICT 推進協議会 (AXIES) / 研究員・国際連携室長 AAOU Asian MOOCs Steering / Committee Member 一般社団法人 日本 IMS 協会 / 理事・運営委員会委員長・IMS Japan 賞選定委員長
自然と環境	Zentralblatt MATH. / Reviewer Aequationes Math. / Editor Mathematical Review / Reviewer Analysis Math. / Editor
	Zentralblatt MATH. / Reviewer Aequationes Math. / Editor Mathematical Review / Reviewer Analysis Math. / Editor
石崎 克也	Mathematical Review / Reviewer Analysis Math. / Editor
	Mathematical Review / Reviewer Analysis Math. / Editor
隈部 正博	Mathematical Reviews / アメリカ数学会
	Mathematical Reviews / アメリカ数学会
安池 智一	東京大学 / 構造化学
	東京大学 / 構造化学
公認心理師教育推進室	中央区いじめ問題再調査委員会 / 委員 町田市教育委員会 / いじめ問題対策委員会
	中央区いじめ問題再調査委員会 / 委員 町田市教育委員会 / いじめ問題対策委員会
伊藤 匡	中央区いじめ問題再調査委員会 / 委員 町田市教育委員会 / いじめ問題対策委員会
	中央区いじめ問題再調査委員会 / 委員 町田市教育委員会 / いじめ問題対策委員会

社会貢献活動	
所 属 氏 名	社会貢献活動内容
障がいに関する学生支援相談室	国立病院機構下志津病院倫理審査委員会 / 外部委員 四街道市特別支援連携協議会 / 委員 (座長) 千葉県教育委員会 / 学校運営協議会委員 (四街道特別支援学校)
	国立病院機構下志津病院倫理審査委員会 / 外部委員 四街道市特別支援連携協議会 / 委員 (座長) 千葉県教育委員会 / 学校運営協議会委員 (四街道特別支援学校)
	国立病院機構下志津病院倫理審査委員会 / 外部委員 四街道市特別支援連携協議会 / 委員 (座長) 千葉県教育委員会 / 学校運営協議会委員 (四街道特別支援学校)
	国立病院機構下志津病院倫理審査委員会 / 外部委員 四街道市特別支援連携協議会 / 委員 (座長) 千葉県教育委員会 / 学校運営協議会委員 (四街道特別支援学校)
栃木 SC	北関東体育学会 / 理事・編集委員 日本発達学会 / 理事・編集委員 栃木県教育委員会 / 次期栃木県教育振興基本計画懇談会 (一財) 栃木陸上競技協会 / 評議員 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 中学 1 ～ 3 年生及び保護者対象 栃木県競技力向上対策本部 / タレント発掘・育成事業検討部会 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 小学 5・6 年生保護者対象 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 小学 4 年生保護者対象
	北関東体育学会 / 理事・編集委員 日本発達学会 / 理事・編集委員 栃木県教育委員会 / 次期栃木県教育振興基本計画懇談会 (一財) 栃木陸上競技協会 / 評議員 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 中学 1 ～ 3 年生及び保護者対象 栃木県競技力向上対策本部 / タレント発掘・育成事業検討部会 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 小学 5・6 年生保護者対象 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 小学 4 年生保護者対象
	北関東体育学会 / 理事・編集委員 日本発達学会 / 理事・編集委員 栃木県教育委員会 / 次期栃木県教育振興基本計画懇談会 (一財) 栃木陸上競技協会 / 評議員 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 中学 1 ～ 3 年生及び保護者対象 栃木県競技力向上対策本部 / タレント発掘・育成事業検討部会 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 小学 5・6 年生保護者対象 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 小学 4 年生保護者対象
	北関東体育学会 / 理事・編集委員 日本発達学会 / 理事・編集委員 栃木県教育委員会 / 次期栃木県教育振興基本計画懇談会 (一財) 栃木陸上競技協会 / 評議員 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 中学 1 ～ 3 年生及び保護者対象 栃木県競技力向上対策本部 / タレント発掘・育成事業検討部会 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 小学 5・6 年生保護者対象 栃木県競技力向上対策本部 / とちぎ未来アスリートプロジェクト発育発達プログラム : 小学 4 年生保護者対象
千葉 SC	習志野市 / 教育委員会委員
	習志野市 / 教育委員会委員
奈良 SC	神戸学院大学男女共同参画推進室 / 神戸学院大学 2025 年度管理職者研修 (男女共同参画推進研修) 京都新聞社デジタル記事 / 京都 VS 奈良、古都同士が火花散らした「誘致合戦」衆議院採決までもった理由とは?
	神戸学院大学男女共同参画推進室 / 神戸学院大学 2025 年度管理職者研修 (男女共同参画推進研修) 京都新聞社デジタル記事 / 京都 VS 奈良、古都同士が火花散らした「誘致合戦」衆議院採決までもった理由とは?
島根 SC	島根県立松江南高校運営協議会 / 委員 島根県立大学 / 看護栄養学部非常勤講師 山陰日本アイルランド協会 / 会長 国立民族学博物館外部評価委員会 / 委員 島根大学 / 法文学部非常勤講師 岡山県立大学 / 非常勤講師
	島根県立松江南高校運営協議会 / 委員 島根県立大学 / 看護栄養学部非常勤講師 山陰日本アイルランド協会 / 会長 国立民族学博物館外部評価委員会 / 委員 島根大学 / 法文学部非常勤講師 岡山県立大学 / 非常勤講師
	島根県立松江南高校運営協議会 / 委員 島根県立大学 / 看護栄養学部非常勤講師 山陰日本アイルランド協会 / 会長 国立民族学博物館外部評価委員会 / 委員 島根大学 / 法文学部非常勤講師 岡山県立大学 / 非常勤講師
	島根県立松江南高校運営協議会 / 委員 島根県立大学 / 看護栄養学部非常勤講師 山陰日本アイルランド協会 / 会長 国立民族学博物館外部評価委員会 / 委員 島根大学 / 法文学部非常勤講師 岡山県立大学 / 非常勤講師
長崎 SC	長崎海洋産業クラスター形成推進協議会 / 助言・指導, 運営参加・支援 電気学会 / 九州支部 九電みらいエナジー令和 6 年度潮流発電技術実用化推進事業開発検討会 / 令和 6 年度潮流発電技術実用化推進事業 電気学会 / 運営参加・支援
	長崎海洋産業クラスター形成推進協議会 / 助言・指導, 運営参加・支援 電気学会 / 九州支部 九電みらいエナジー令和 6 年度潮流発電技術実用化推進事業開発検討会 / 令和 6 年度潮流発電技術実用化推進事業 電気学会 / 運営参加・支援
山下 敬彦	長崎海洋産業クラスター形成推進協議会 / 助言・指導, 運営参加・支援 電気学会 / 九州支部 九電みらいエナジー令和 6 年度潮流発電技術実用化推進事業開発検討会 / 令和 6 年度潮流発電技術実用化推進事業 電気学会 / 運営参加・支援
	長崎海洋産業クラスター形成推進協議会 / 助言・指導, 運営参加・支援 電気学会 / 九州支部 九電みらいエナジー令和 6 年度潮流発電技術実用化推進事業開発検討会 / 令和 6 年度潮流発電技術実用化推進事業 電気学会 / 運営参加・支援

学習センター・学生の活動

周年記念式典

学習センター及びサテライトスペースでは、開設を記念した周年記念式典が開催されている。

群馬学習センターは開設40周年を迎えました

放送大学群馬学習センターは1985年に開設され、40年の節目の年を迎えました。これを記念して、9月14日(日)県立図書館ホールにて、オンライン参加も含むハイブリッド形式で40周年記念式典及び記念講演会を開催しました。式典では、ご来賓を含む計72名(対面57名、オンライン15名)の方にご参加頂きました。岩永雅也放送大学長の式辞に始まり、主催者である工藤貴子所長の挨拶に続き、来賓である石崎泰樹群馬大学長、平田郁美群馬県教育委員会教育長、簗輪欣房放送大学群馬同窓会会長の3名の方からご祝辞を賜りました。続いて記念講演会では、群馬大学名誉教授で寄生虫学の世界的権威である嶋田

淳子先生を講師にお迎えし、「学びと創造でその先へ」と題してご講演頂きました。ご講演では、中米エルサルバドルとの国際共同研究のお話を主として、学びから創造(研究)への繋がりや女性研究者ならではの経験談等もあり、92名の視聴者(対面66名、オンライン26名)は熱心に聞き入っていました。その後の質疑応答の時間にも、会場とオンライン参加者からの多くの質問があり、盛況のうちに閉会となりました。更に、ホール外のスペースにて同時開催された学生サークル及び群馬同窓会活動の紹介も、当学習センターの活発な学生生活の様子を外部的の方々にアピールする絶好の機会となりました。



岩永学長式辞



記念講演会

2025年度 周年一覧

SC/SS	北海道	山形	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京文京
設置年度 (西暦)	平成2 (1990)	平成7 (1995)	平成7 (1995)	昭和60 (1985)	昭和60 (1985)	昭和60 (1985)	昭和60 (1985)
2025年度	35周年	30周年	30周年	40周年	40周年	40周年	40周年
SC/SS	神奈川	浜松SS	岡山	広島	愛媛	福岡	沖縄
設置年度 (西暦)	昭和60 (1985)	平成12 (2000)	平成7 (1995)	平成2 (1990)	平成7 (1995)	平成2 (1990)	平成2 (1990)
2025年度	40周年	25周年	30周年	35周年	30周年	35周年	35周年

入学者の集い・学位記授与式

3月下旬～4月上旬及び9月下旬～10月上旬に各学習センターで開催された。
開催した東京文京学習センター及び愛媛学習センターの様子を紹介する。

東京文京学習センター

2025年度第1学期 卒業証書・学位記授与式

2025年度第1学期「卒業証書・学位記授与式」を9月20日(土)に、東京文京学習センターで開催しました。当日は54名の卒業生が参加し、熊野所長が一人ずつ名前を読み上げ、学位記の授与を行いました。所長をはじめ、客員の先生方から、専門を交えながら卒業生への温かいメッセージがあり、熱心にメモをとる方々の姿もありました。

2025年度第1学期東京文京学習センター卒業生156名

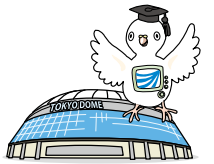
≪教養学部≫生活と福祉コース29名、心理と教育コース62名、社会と産業コース20名、人間と文化コース21名、情報コース14名、自然と環境コース10名

2025年度第2学期入学者の集い

2025年度第2学期「入学者の集い」を10月5日(日)に開催しました。当日は、75名の参加がありました。所長や客員の先生から専門を交えながら、新しく入学された皆さんの学びを心から応援する言葉があり、メモをとる学生の姿もありました。

2025年度第2学期東京文京学習センター入学者

教養学部958名、大学院修士課程78名、計1,036名



愛媛学習センター

2025年度第1学期 卒業証書・学位記授与式

9月28日(日)13時から愛媛学習センター4階講義室にて「卒業証書・学位記授与式」が挙行され、卒業生26名のうち12名が出席されました。

式典では、岩永学長からのメッセージ上映に続き、吉田所長から卒業生一人ひとりに卒業証書・学位記の授与と式辞の後、卒業生を代表し、松本正さんより謝辞が述べられました。

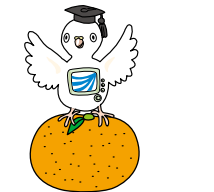
2025年度第1学期愛媛学習センター卒業生26名

≪教養学部≫生活と福祉コース9名、心理と教育コース8名、社会と産業コース3名、人間と文化コース3名、情報コース3名

2025年度第2学期入学者の集い

9月28日(日)14時30分より、愛媛学習センター4階講義室にて「入学者の集い」を開催しました。

新入生6名が参加し、学長メッセージ上映、吉田所長挨拶、客員教員紹介、オリエンテーション、施設案内を行いました。そのあと、「愛媛にぎたつ同窓会」主催によるサークル紹介が行われ、新入生と在学生在が交流を行い、親睦を深められました。



文化祭

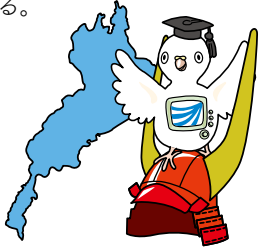
毎年、多くの学習センターで文化祭を開催し、学生の学習成果や学生団体(サークル)活動の成果を発表、披露している。文化祭は学生同士の交流の場であると同時に、教職員、そして地域の人々も参加し、交流を深める機会となっている。

滋賀学習センター「かいつぶり文化祭」

今年のかいつぶり文化祭は、2日間にわたって開催されました。初日の11月1日(土)は午後から、「折り紙作り」や「百人一首大会」でスタートしました。そして、「学友・同窓会の活動紹介」や「お茶タイム」と続き、「カリンバ演奏」「輪投げ」「合唱」などの体験活動も行われました。

2日目の11月2日(日)は、「作品・収集品展示」「映画観賞会」「昼食懇談会」「図書リサイクル市」などの催しが行われました。滋賀学習センター所長や公開講演会講師と「お茶しましょう」の企画も行われました。

往年のころより参加人数は少なくなってきたようですが、参加されている方々の親密度は高く、笑顔がとっても素敵でした。



学生研修旅行

学習センターでは、学習活動の一つとして、研修旅行を年1回程度開催している。研修旅行は、学生・教職員の親睦のよい機会ともなっている。訪問先は、学術機関、地域の名所・旧跡、体験学習など多彩である。

岩手学習センター学生研修旅行

10月8日(水)、学生研修旅行を実施しました。毎年お世話になっているバスガイドの福島さんの案内で、焼走り溶岩流や旧松尾鉱山を訪れました。

最初の目的地は焼走り溶岩流。小雨の中を歩いた後、バスは霧に包まれた道を進み、旧松尾鉱山へと向かいました。山頂に到着した頃には、一転して雲が晴れ、青空が広がるというドラマチックな展開に、参加者一同感動の声を上げていました。その後は快晴に恵まれ、絶好の研修日和となりました。

今回の旅行のメインとも言える中和処理施設では、年間約7億円をかけて、1日あたり約900m³もの坑廃水が処理されているとのこと。もし施設の稼働が止まれば、年間500億円もの被害が出ると試算されているそうです。汚水はバクテリアや中和剤を用いて処理され、生成された中和沈殿物は貯泥ダムに堆積。その上澄み水が赤川へと放流される仕組みについて、丁寧な説明を受けました。

昼食は八幡平マウンテンホテルにて。なんと、シェフの方が放送大学にご縁のある方で、心のこもったおもてなしをしてくれました。

午後は、日本初の地熱発電所である松川地熱発電所を見学。今後2～3年かけて新しい施設へと生まれ変わる予定で、シンボルである冷却塔も撤去されとのこと。今回見学できたのは貴重な機会でした。地熱トンネルが開通した瞬間の映像や、地熱を利用した発電の仕組みについても詳しく学ぶことができました。

どの施設でも活発な質疑応答が行われ、予定時間を少しオーバーしてしまいましたが、実り多い充実した一日となりました。



公開講演会

学習センターでは、誰でも参加できる公開講演会、公開講座、シンポジウム等を多数開催している。本学教員に加え、各地域や分野で活躍する多彩な方々を講師にお招きし、本学学生に限らず、地域の人々に役立つ様々な話題について最新の知識が得られ、共に考える機会を提供した。

神奈川
学習センター

テーマ 美しい文字を書く

開催日 2025年11月16日(日)

講師 青山 浩之(横浜国立大学教授)

2025年11月16日、横浜市大岡地区センター大会議室にて、横浜市大岡地区センターと放送大学神奈川学習センターの共催で、青山 浩之横浜国立大学教授による講演会「美しい文字を書く」が開催されました。

青山先生は「美文字王子」の愛称で知られ、テレビなどのメディアに多く出演しており、ご存じの方も多いと思います。美文字に関する著書なども多数出版され、今回も「美しく見える文字のポイントとは？」をテーマにご講演いただきました。

講演では、実際に文字(お手本)を書きながら、読みやすく美しい文字の原理・原則について解説し、美文字を書くためのポイントをやさしく教えていただきました。

今回の講演で強調されていたことは、線と線の余白部分のバランスに着目して文字を書くということで、特に横画の多い文字を例に、バランス良く美しい文字を書くためのポイントを解説され、参加者も実際に文字を書きながら熱心に聞き入っていました。

青山先生の明るく優しい人柄が相まって、講演終了後も多くの参加者から質問や相談が寄せられており、活発で和やかな雰囲気での講演会となりました。青山先生の文字を書く時の姿勢の美しさが、とても印象的な講演でした。

沖縄
学習センター

テーマ 世代を超えて学び合う沖縄の行事「盆の行事と供え物」

開催日 2025年8月31日(日)

講師 稲福 政斉(放送大学沖縄学習センター非常勤講師)

2025年8月31日(日)うるま市立中央図書館との共催により「放送大学公開講演会2025～世代を超えて学び合う沖縄の行事～」をうるま市立中央図書館で開催しました。

当学習センターや沖縄国際大学・沖縄大学でも非常勤講師を務める稲福政斉先生に「盆の行事と供え物」についてご講演いただきました。

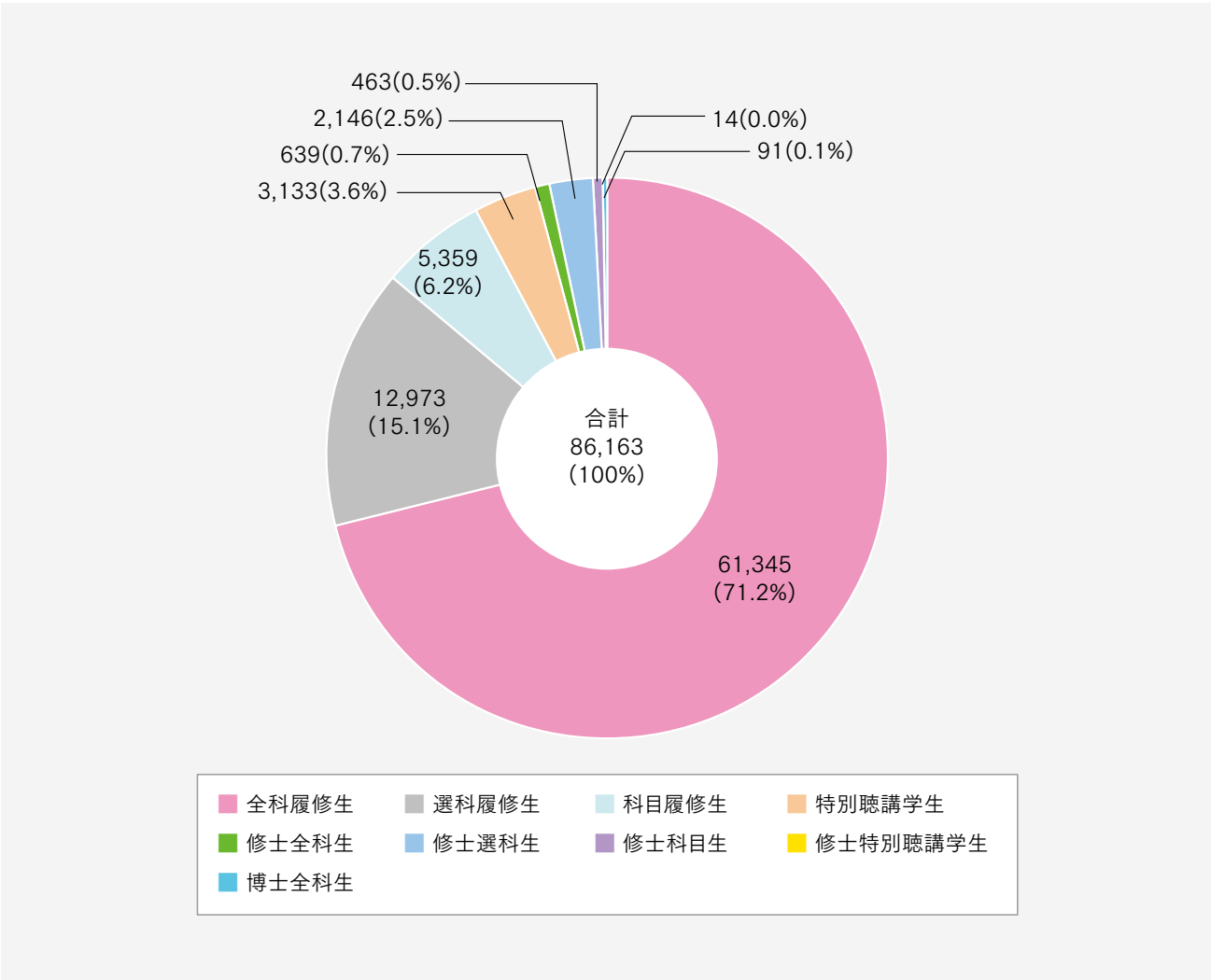
旧盆前の講演ということもあり、会場には60名ものご参加がありました。参加者からのアンケートでは、『本土のお盆との相違点や諸々の由来を学ぶことができた』『中国、日本、仏教等取り入れ、ほんとの琉球の先祖供養等、特にお盆の行事に関して知らない事も多くて、今日の講話たいへん勉強になりました。感謝します。』『お供えている理由や由来を知ることができておもしろかった。面倒がらずにきちんと準備してお供えしようと思った』など多くの感想が寄せられました。

《学生研修旅行行程》
岩手学習センター出発(八幡平市へ)→焼走り溶岩流→旧松尾鉱山新中和処理施設→昼食(八幡平マウンテンホテル)→松川地熱発電所、松川地熱館→道の駅もりおか浜民たみっと→岩手学習センター到着

データで見る放送大学

在学生数			単位：人		
▶教養学部	学生の種別等	在学生	▶大学院	学生の種別等	在学生
	全科履修生	61,345		修士全科生	639
	選科履修生	12,973		修士選科生	2,146
	科目履修生	5,359		修士科目生	463
	特別聴講学生	3,133		修士特別聴講学生	14
	合 計	82,810		博士全科生	91
			合 計	3,353	
(2025年度第2学期)					

(注)特別聴講学生とは、他の大学等の学生で当該大学等と放送大学との協定に基づき、本学において科目の履修を行っている学生です。



入学者数				単位：人
▶教養学部	学生の種別等	1学期	2学期	合 計
	全科履修生	8,672	5,219	13,891
	選科履修生	8,389	4,530	12,919
	科目履修生	4,540	5,359	9,899
	特別聴講学生	1,010	3,133	4,143
	合 計	22,611	18,241	40,852
▶大学院	学生の種別等	1学期	2学期	合 計
	修士全科生	233	—	233
	修士選科生	1,518	596	2,114
	修士科目生	355	463	818
	修士特別聴講学生	8	14	22
	博士全科生	15	—	15
	合 計	2,129	1,073	3,202
(2025年度)				

集中科目履修生		単位：人
学校図書館司書教諭講習		799
(2025年度)		

学部卒業者数			単位：人
1学期	2学期	合 計	累 計
2,101	3,711	5,812	149,618
(2025年度)			

大学院修士課程修了者数			単位：人
1学期	2学期	合 計	累 計
2	191	193	7,540
(2025年度)			

大学院博士後期課程修了者数			単位：人
1学期	2学期	合 計	累 計
—	7	7	59
(2025年度)			

単位互換協定締結校数		単位：校
学校の種別	校 数	
大学院	16	
大 学	331	
短 大	88	
高 専	17	
合 計	452	
(2026年3月31日現在)		

連携協力校数		単位：校
学校の種別	校 数	
専門学校	82	
高等学校	13	
看護師学校養成所	15	
合計	110	
(2026年3月31日現在)		

教職員数		単位：人
役員	7	
教員	88	
学習センター所長	50	
事務職員	248	
合計	393	
(2025年4月1日現在)		



〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11
<https://www.ouj.ac.jp/>